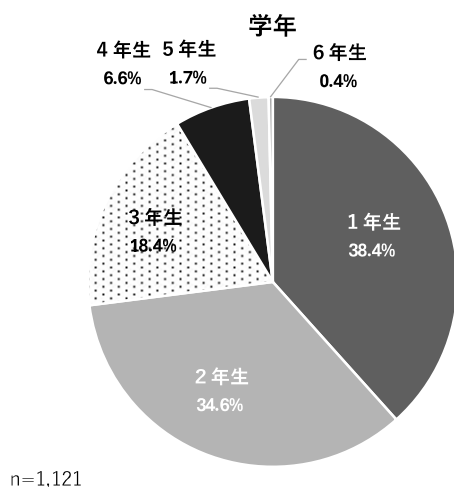


IV 調査結果（放課後児童クラブ）

1 属性

(1) 学年



(2) 子どもの国籍

日本国籍 99.8%、その他 0.2% (n=1, 118)

*その他の国籍：中国、フィリピン

(3) 両親の国籍

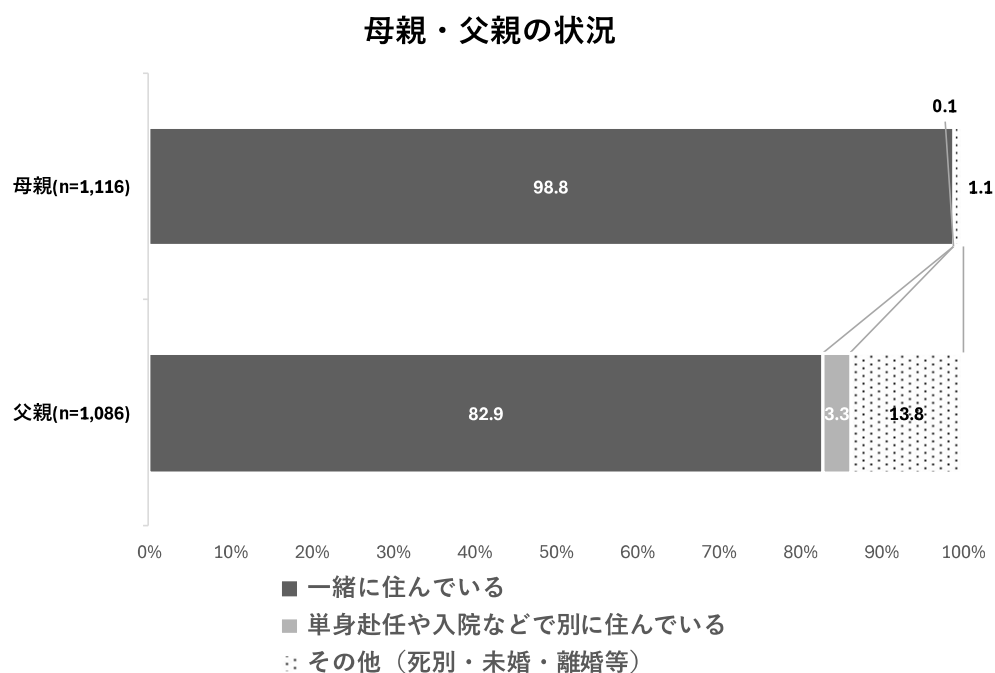
母親：日本国籍 99.6%、その他 0.4% (n=1, 115)

*その他の国籍：中国、韓国、フィリピン

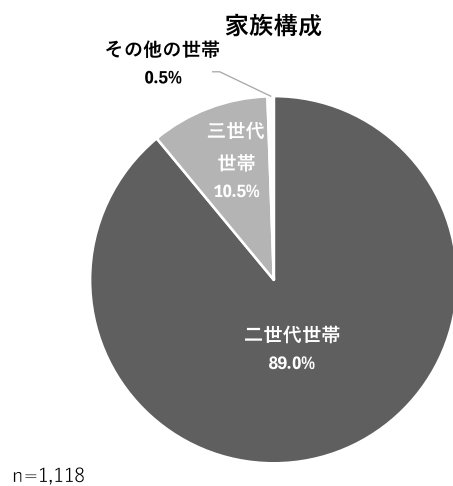
父親：日本国籍 99.2%、その他 0.8% (n=1, 095)

*その他の国籍：中国、韓国、フィリピン、マレーシア、英国

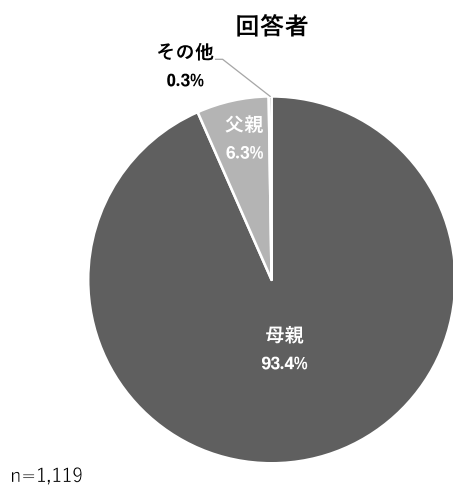
(4) 両親の状況



(5) 家族構成



(6) 調査票回答者



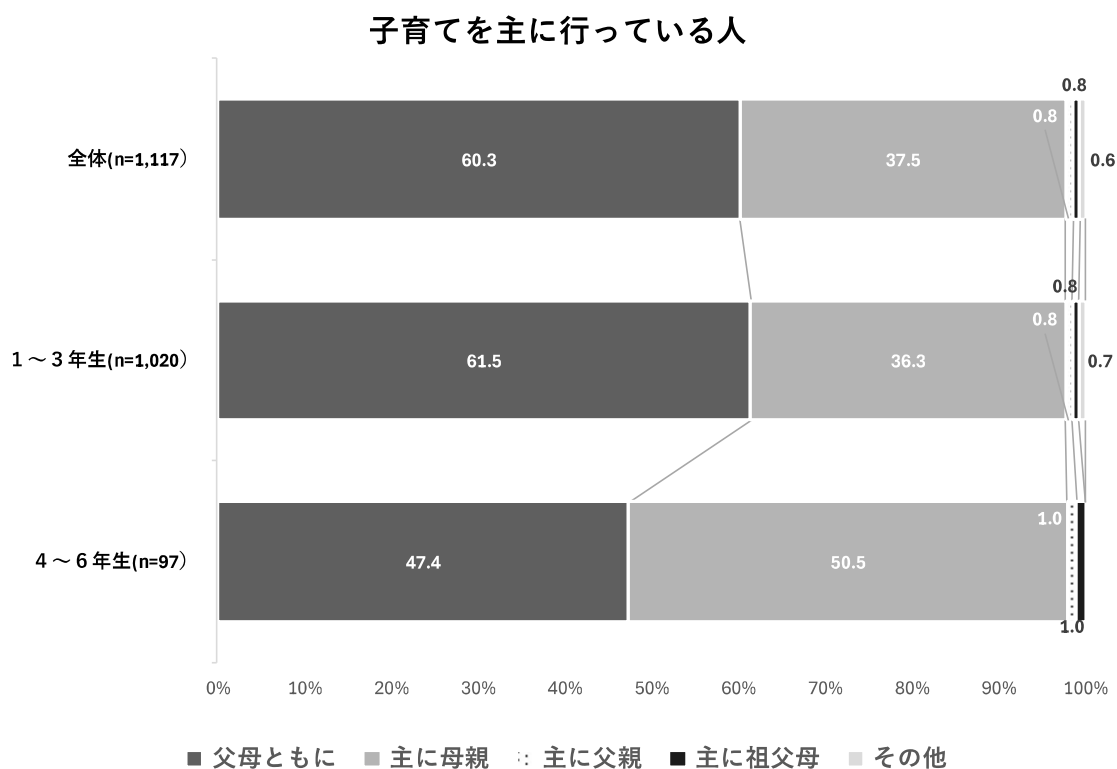
2 家族の状況

(1) 子育てを主に行っている人

問9 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係で回答してください。【〇は1つ】

子育てを主に行っている人については、「父母ともに」と回答した割合が60.3%と最も多く、次いで「主に母親」が37.5%となっている。

学年別にみると、「父母ともに」と回答した割合は1～3年生で61.5%、4～6年生で47.4%となっている。



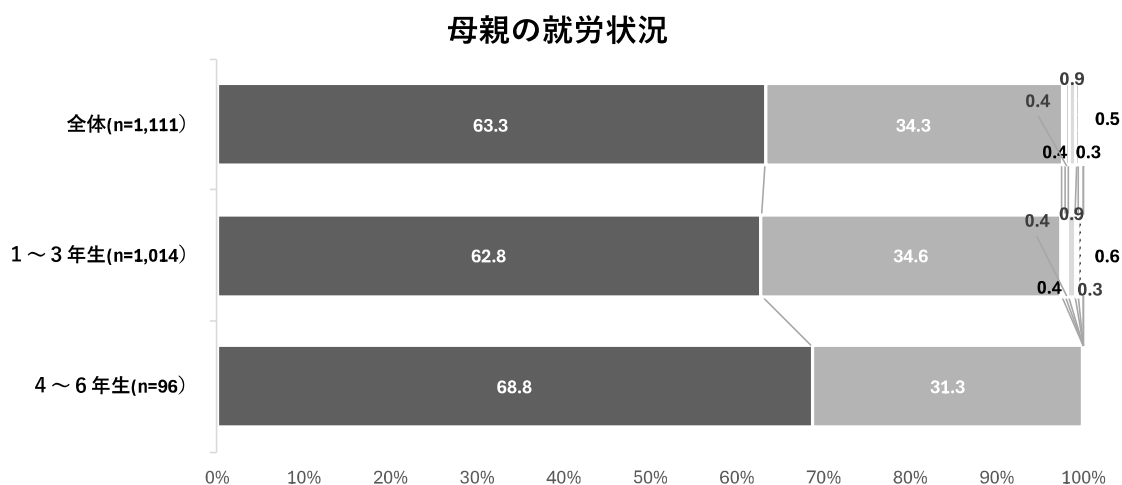
3 両親の就労状況

(1) 就労状況

問 10 入会申請時のお母さんの状況を回答してください。【○は1つ】

入会申請時の母親の就労状況については、「フルタイムで就労している」と回答した割合が63.3%、「パート・アルバイト等で就労している」と回答した割合が34.3%となっている。

学年別にみると、「フルタイムで就労している」と回答した割合は1～3年生で62.8%、4～6年生で68.8%、「パート・アルバイト等で就労している」と回答した割合は1～3年生で34.6%、4～6年生で31.3%となっている。

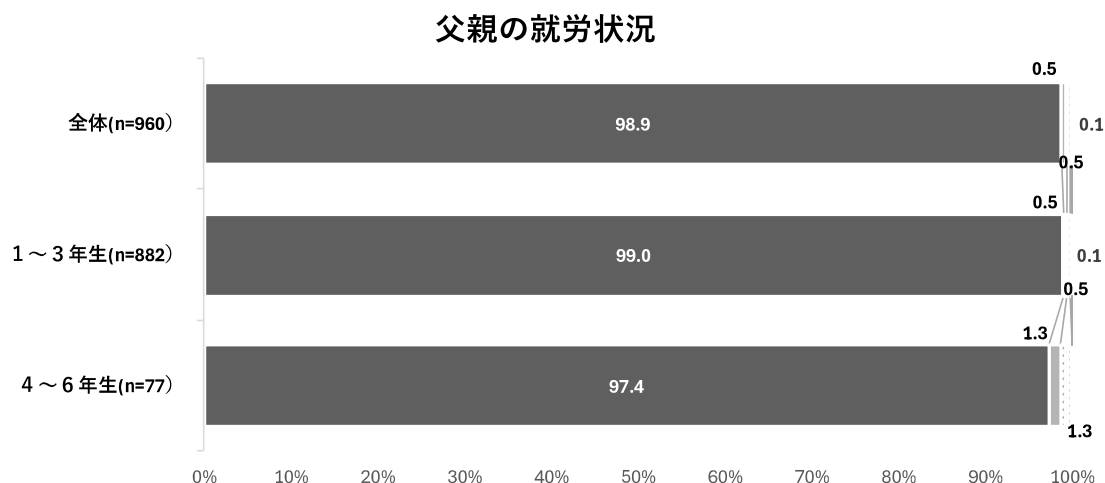


- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労している
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労している
- ⦿ 居宅内でお子さんと離れて日常の家事以外の労働をすることを常態としている
- 妊娠中又は出産後間がない状況である
- 疾病にかかり、若しくは負傷し、又は精神若しくは身体に障害を有している
- 長期にわたり疾病の状態にある又は精神若しくは身体に障害を有する同居の親族を常時介護している
- ⦿ 就業を目的とした職業訓練、学校への就学をしている
- 震災、風水害、火災その他の災害の復旧に当たっている

問 11 入会申請時のお父さんの就労状況を回答してください。【○は1つ】

入会申請時の父親の就労状況については、「フルタイムで就労している」と回答した割合が98.9%となっている。

学年別にみると、「フルタイムで就労している」と回答した割合は1～3年生で99.0%、4～6年生で97.4%となっている。



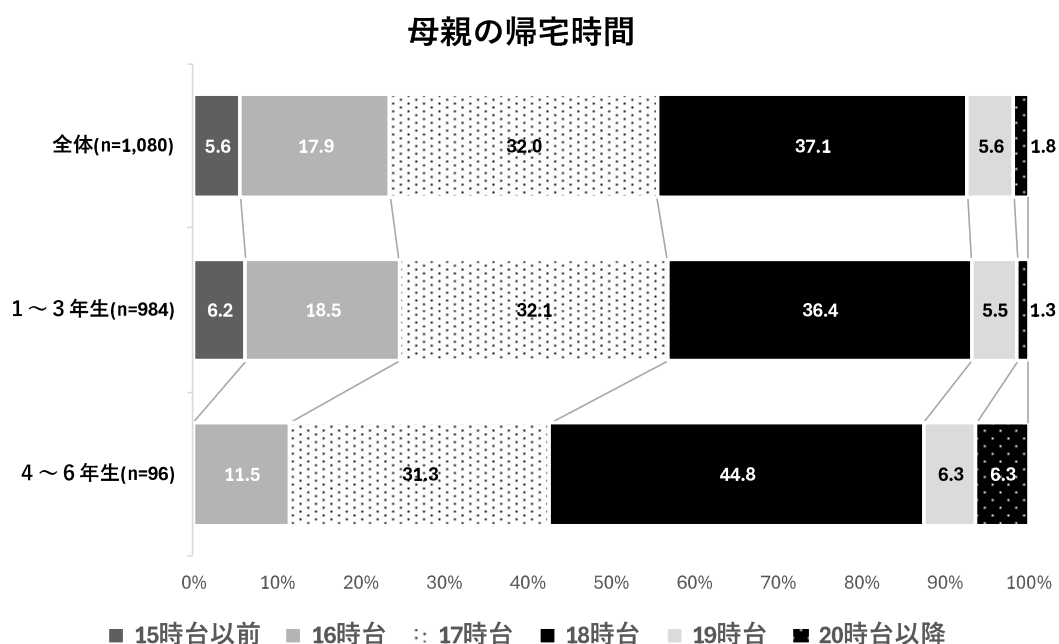
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労している
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労している
- ⋮ 居宅内でお子さんと離れて日常の家事以外の労働をすることを常態としている
- 疾病にかかり、若しくは負傷し、又は精神若しくは身体に障害を有している
- 長期にわたり疾病の状態にある又は精神若しくは身体に障害を有する同居の親族を常時介護している
- 就業を目的とした職業訓練、学校への就学をしている
- 〃 震災、風水害、火災その他の災害の復旧に当たっている

(2) 帰宅時間

問 12 保護者の方の通常の帰宅時間について回答してください。

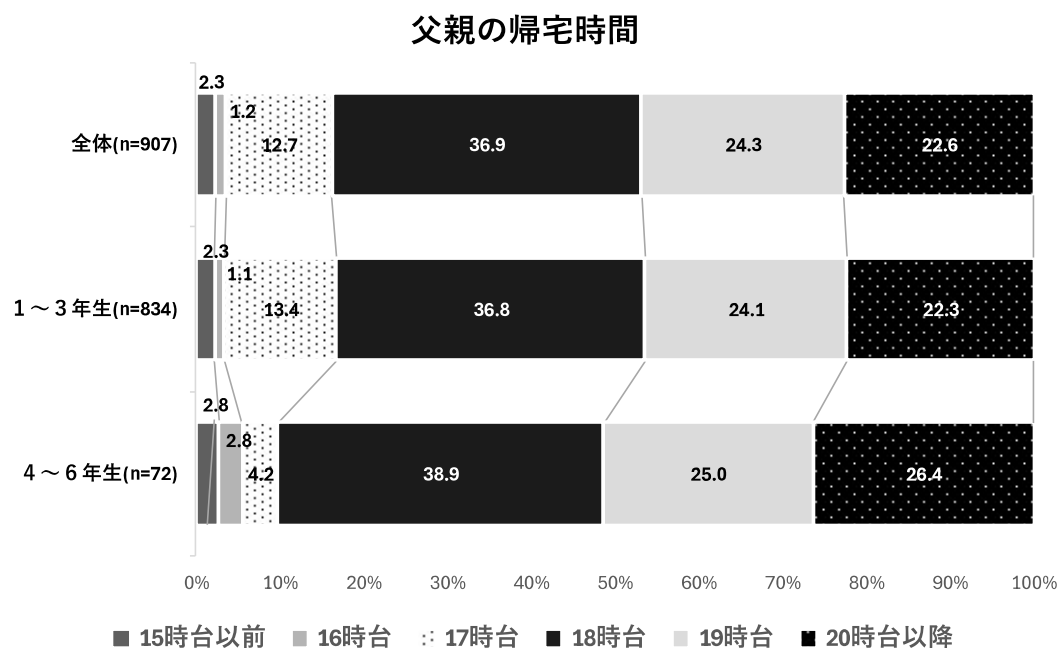
母親の帰宅時間については、「18 時台」と回答した割合が 37.1%、「17 時台」と回答した割合が 32.0%となっている。

学年別にみると、4～6 年生で「18 時台」と回答した割合が 44.8%と、1～3 年生を 10 ポイント近く上回っている。



父親の帰宅時間については、「18 時台」と回答した割合が 36.9%、「19 時台」と回答した割合が 24.3%となっている。

学年別にみると、4～6 年生で「20 時台以降」と回答した割合が 26.4%と、1～3 年生を 5 ポイント近く上回っている。



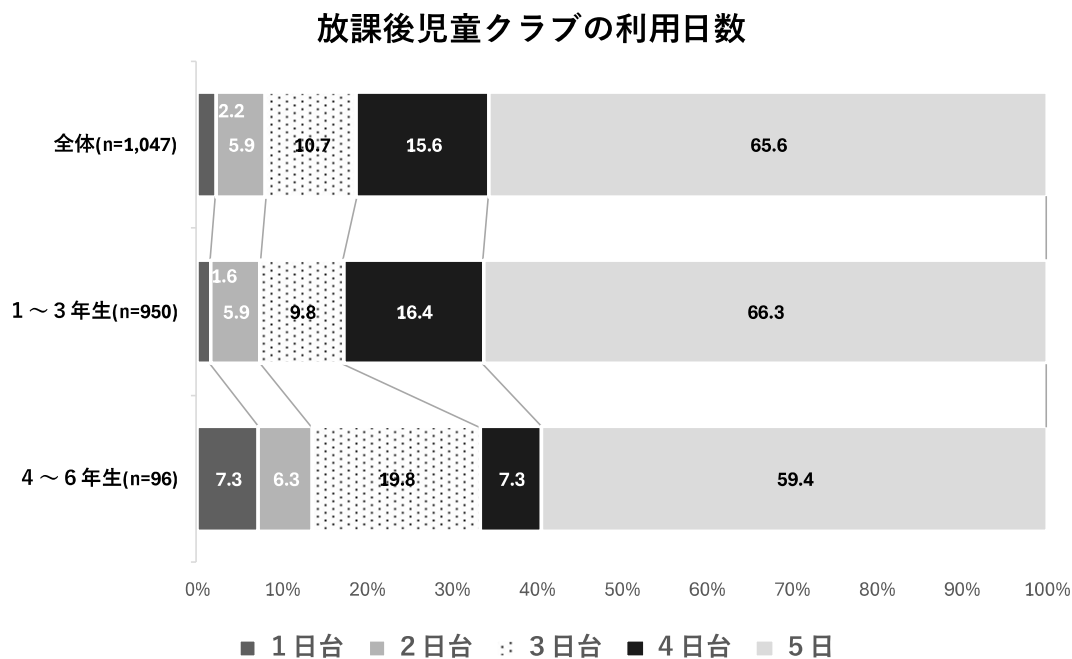
4 放課後児童クラブの利用状況

(1) 放課後児童クラブの利用状況

問 13 現在の放課後児童クラブの利用状況を回答してください。【数字を記入】

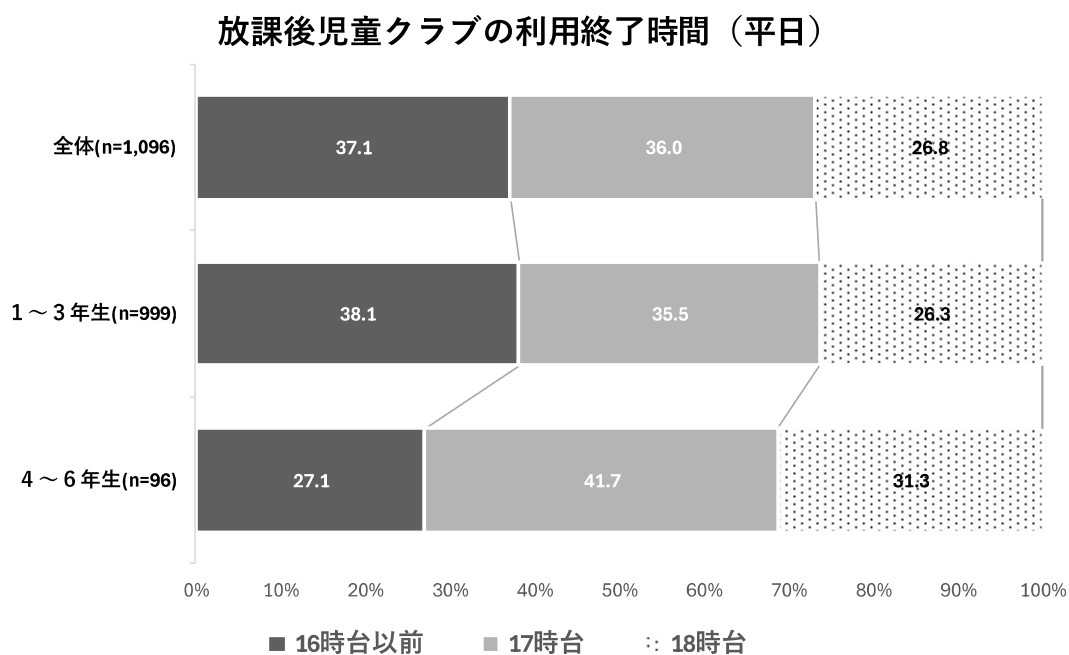
利用日数（平日）については、「5 日」と回答した割合が 65.6%となっている。

学年別にみると、「5 日」と回答した割合は 1～3 年生が 4～6 年生よりも高くなっている。



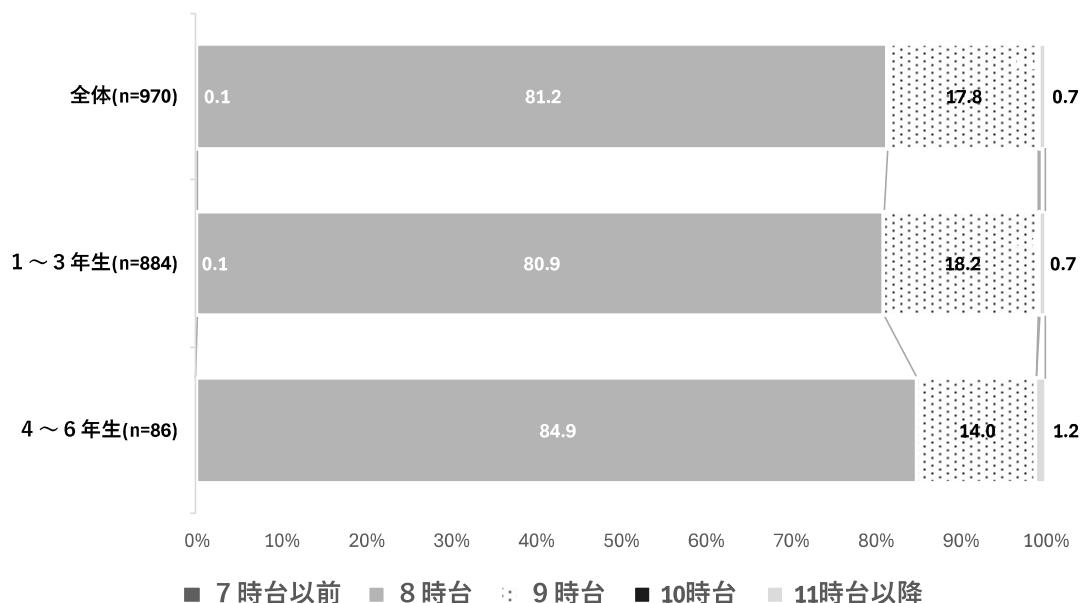
平日の利用終了時間については、「16 時台以前」と回答した割合が 37.1%、「17 時台」と回答した割合が 36.0%となっている。

学年別にみると、4～6 年生で「17 時台」と回答した割合が 41.7%と、1～3 年生を 6 ポイント程度上回っている。



長期休暇中の利用開始時間については、「8 時台」と回答した割合が 81.2%となっている。
 学年別にみると、4～6 年生で「8 時台」と回答した割合が 84.9%と、1～3 年生を 4 ポイント上回っている。

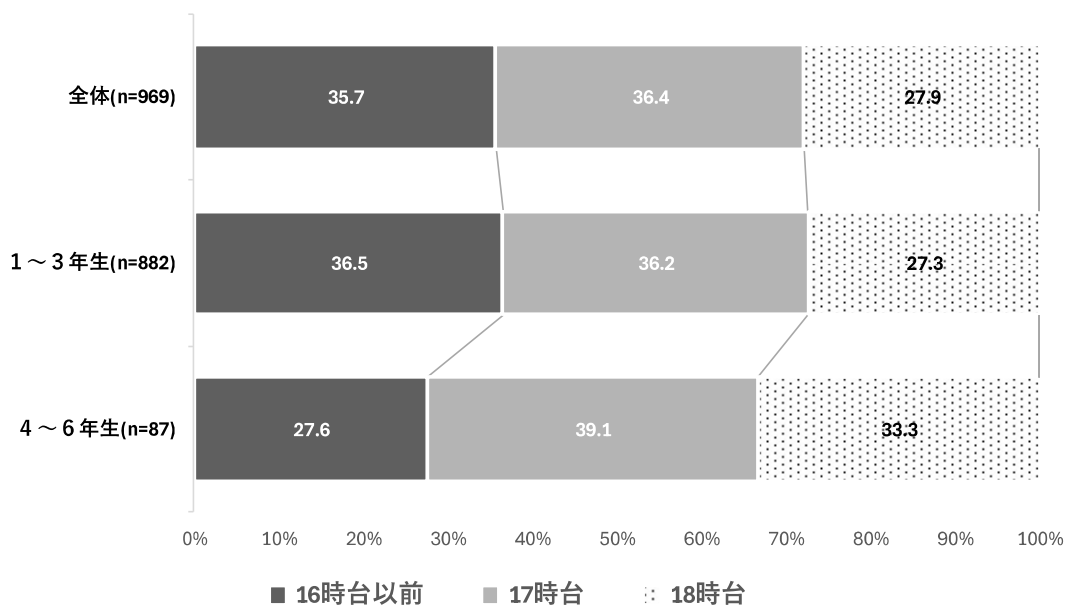
放課後児童クラブの利用開始時間（長期休暇中）



長期休暇中の利用終了時間については、「17 時台」と回答した割合が 36.4%、「16 時台以前」が 35.7%となっている。

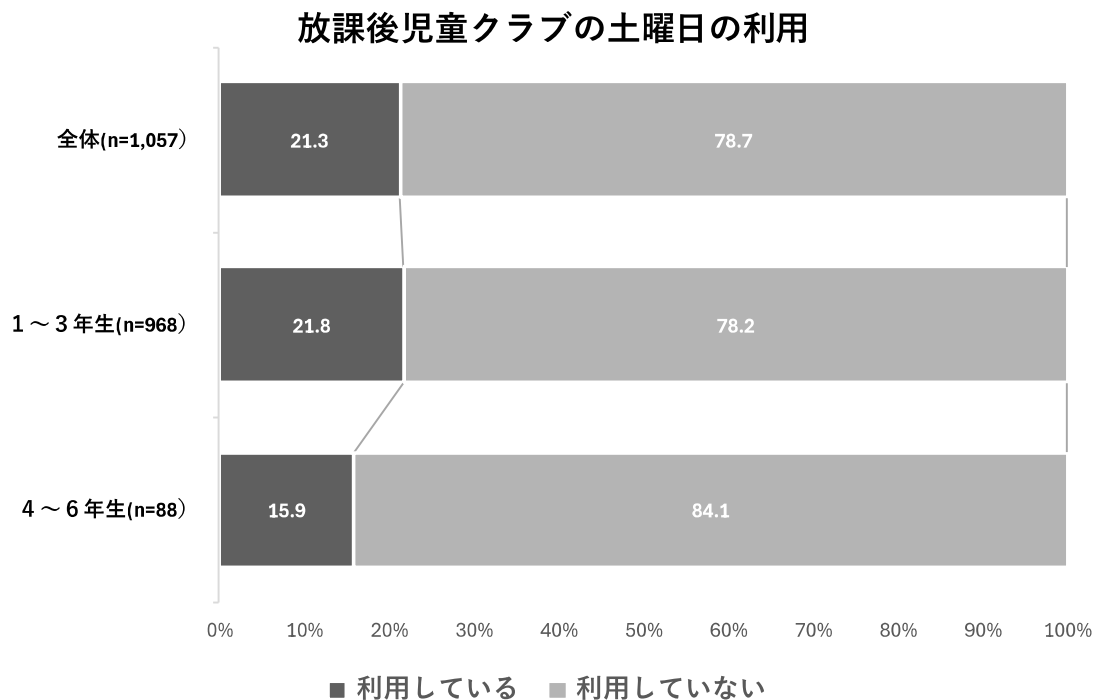
学年別にみると、4～6 年生で「17 時台」と回答した割合が 39.1%と、1～3 年生を 3 ポイント近く上回っている。

放課後児童クラブの利用終了時間（長期休暇中）



土曜日の利用について、「利用している」と回答した割合が 21.3%、「利用していない」と回答した割合が 78.7%となっている。

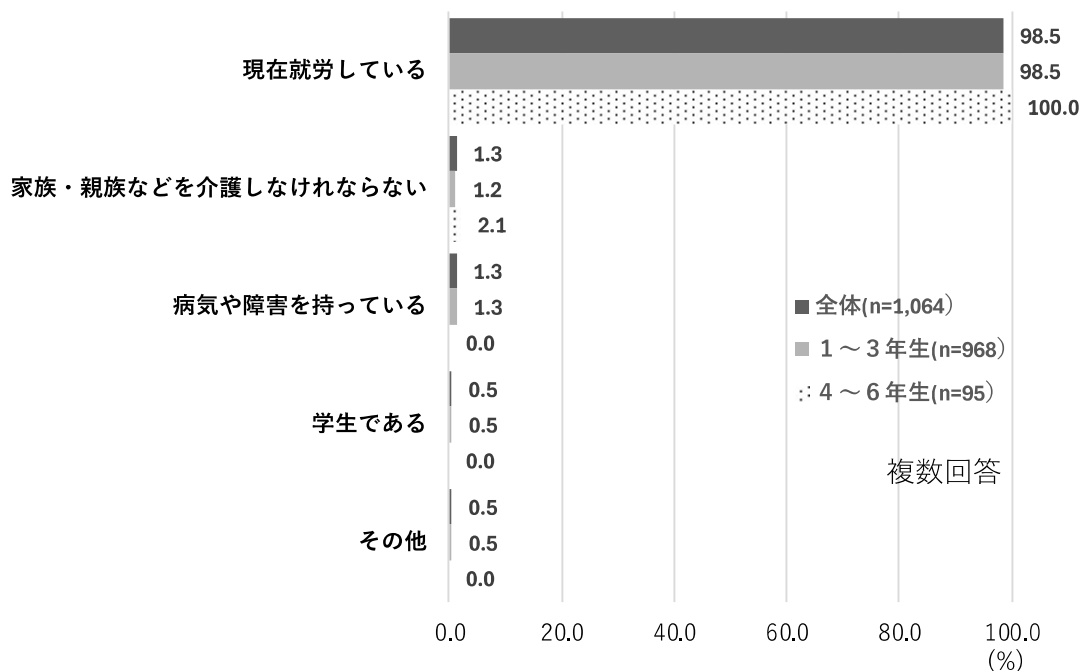
学年別にみると、「利用していない」と回答した割合は 4～6 年生が 1～3 年生よりも高くなっている。



放課後児童クラブを利用している理由（子どもの身の回りの世話をしている者の状況）については、「現在就労している」と回答した割合が 98.5%となっている。

学年別にみると、いずれも「現在就労している」と回答した割合が最も高くなっている。

放課後児童クラブ利用理由 (お子さんの身の回りの世話をしている者の状況)

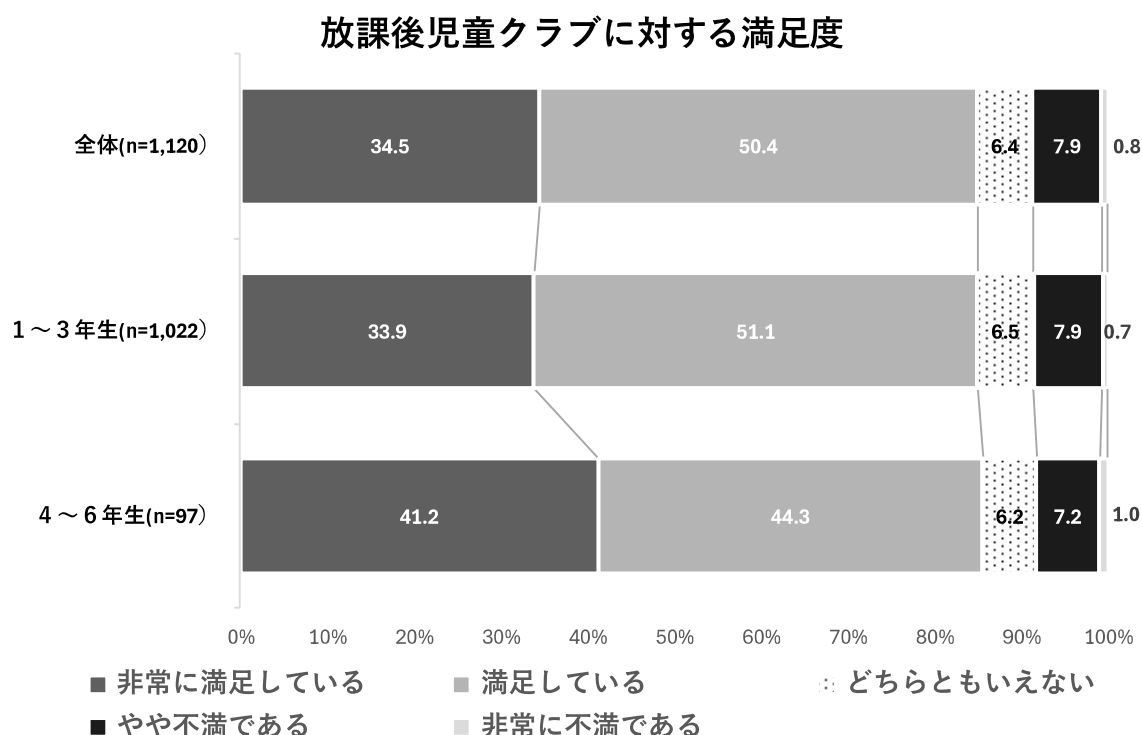


(2) 放課後児童クラブの満足度

問 14 現在の児童クラブの利用について満足していますか。【○は1つ】

放課後児童クラブの満足度については、『満足している』（「非常に満足している」＋「満足している」）と回答した割合が 84.9%、『不満である』（「やや不満である」＋「非常に不満である」）と回答した割合が 8.7%となっている。

学年別にみると、『満足している』と回答した割合は1～3年生で 85.0%、4～6年生で 85.5%、『不満である』と回答した割合は1～3年生で 8.6%、4～6年生で 8.2%となっている。4～6年生における「非常に満足している」の割合が 41.2%と、1～3年生を7ポイント程度上回っている。



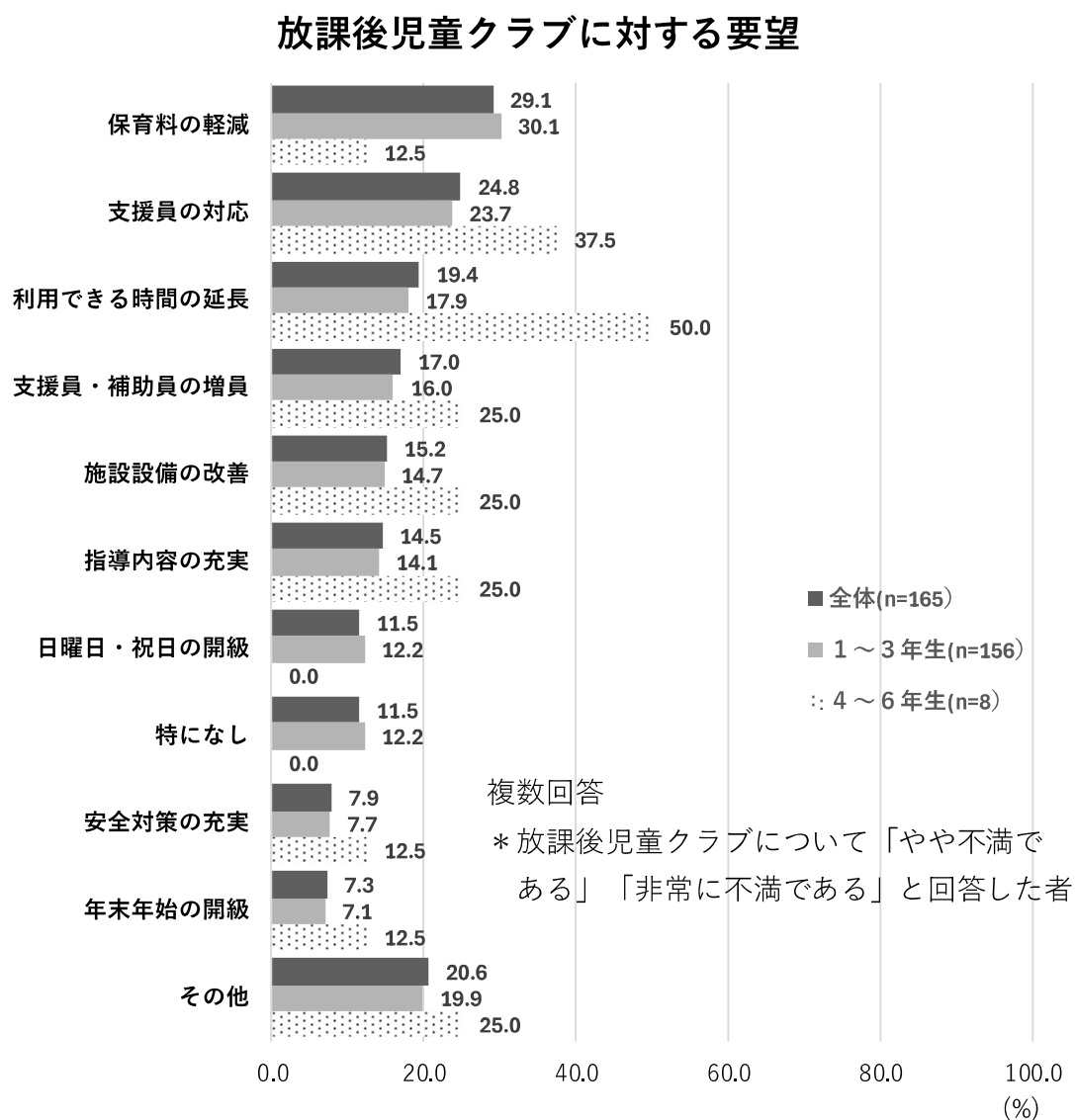
(3) 放課後児童クラブへの要望

問 14 で「4 やや不満である」、「5 非常に不満である」と回答した人のみ回答

問 14-1 今後の利用にあたり、どのような要望がありますか。【〇は3つまで】

放課後児童クラブへの要望については、「保育料の軽減」と回答した割合が 29.1%と最も高く、次いで「支援員の対応」24.8%、「利用できる時間の延長」19.4%の順となっている。

学年別にみると、4～6年生では全体の回答数が少ない（8件）ものの、「利用できる時間の延長」と回答した割合が 50.0%と最多である。



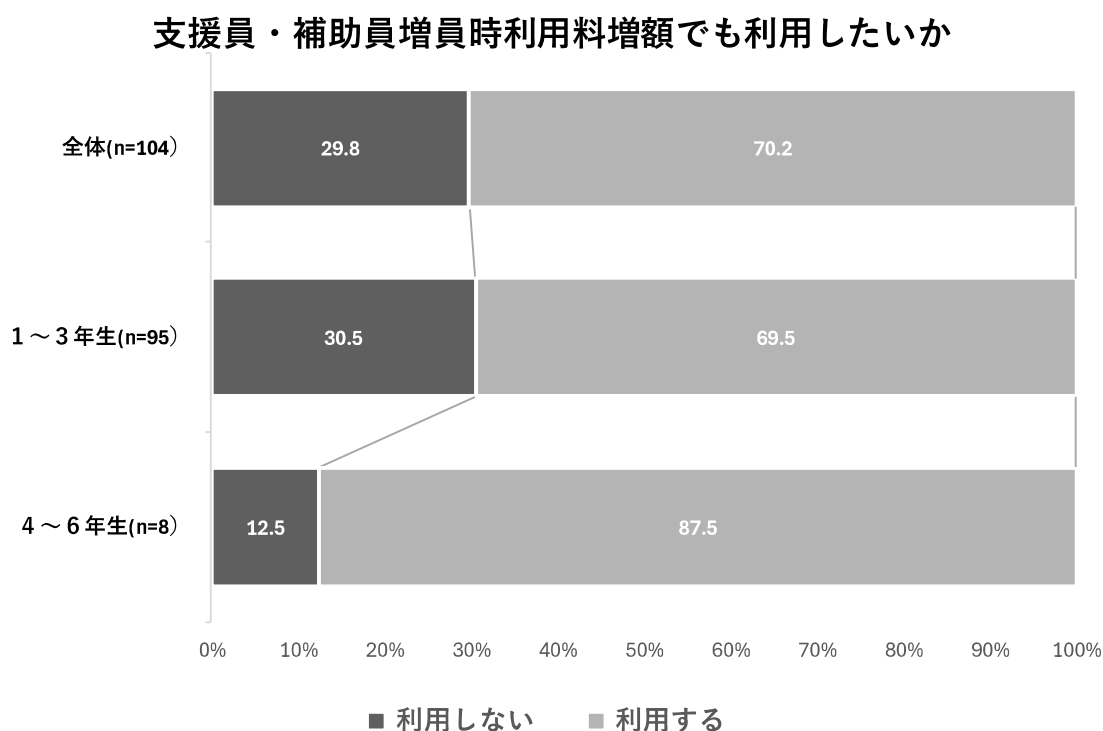
(4) 支援員・補助員を増員した場合に利用料が増額となる場合の利用希望

問 14-1 で「2 支援員・補助員の増員」と回答した人のみ回答

問 14-2 支援員・補助員を増員した場合、現在の利用料が増額となっても利用したいですか。
【○は1つ】

支援員・補助員を増員した場合、現在の利用料が増額となる場合の利用希望については、「利用する」と回答した割合が 70.2%、「利用しない」と回答した割合が 29.8%となっている。

学年別にみると、「利用する」と回答した割合が 4～6 年生（回答数は 8 件のみ）では 87.5%であるのに対して、1～3 年生では 69.5%となっている。

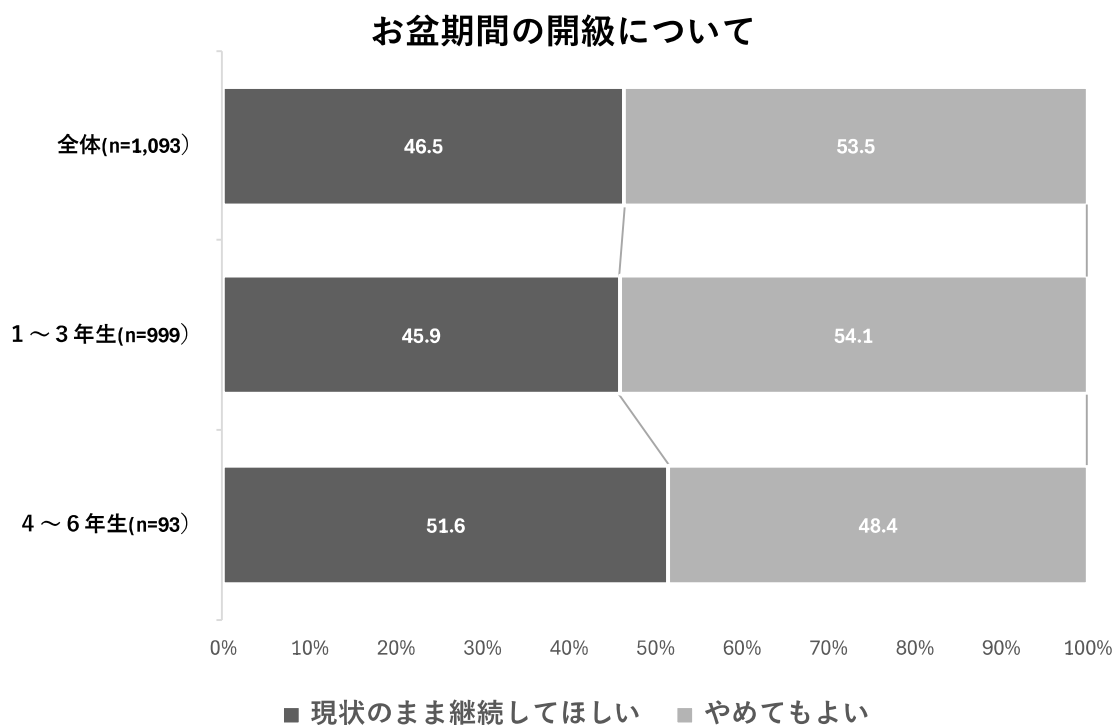


(5) お盆期間の開級について

問 15 現在、お盆期間（8/13～15）に5クラブのみ開級していますが、利用者も少なく、学校も完全閉庁しています。お盆期間の開級についてのお考えを回答してください。
【〇は1つ】

お盆期間の開級について、「現状のまま継続してほしい」と回答した割合が 46.5%、「やめてもよい」と回答した割合が 53.5%となっている。

学年別にみると、「現状のまま継続してほしい」と回答した割合は4～6年生が 51.6%と、1～3年生を5ポイント程度上回っている。

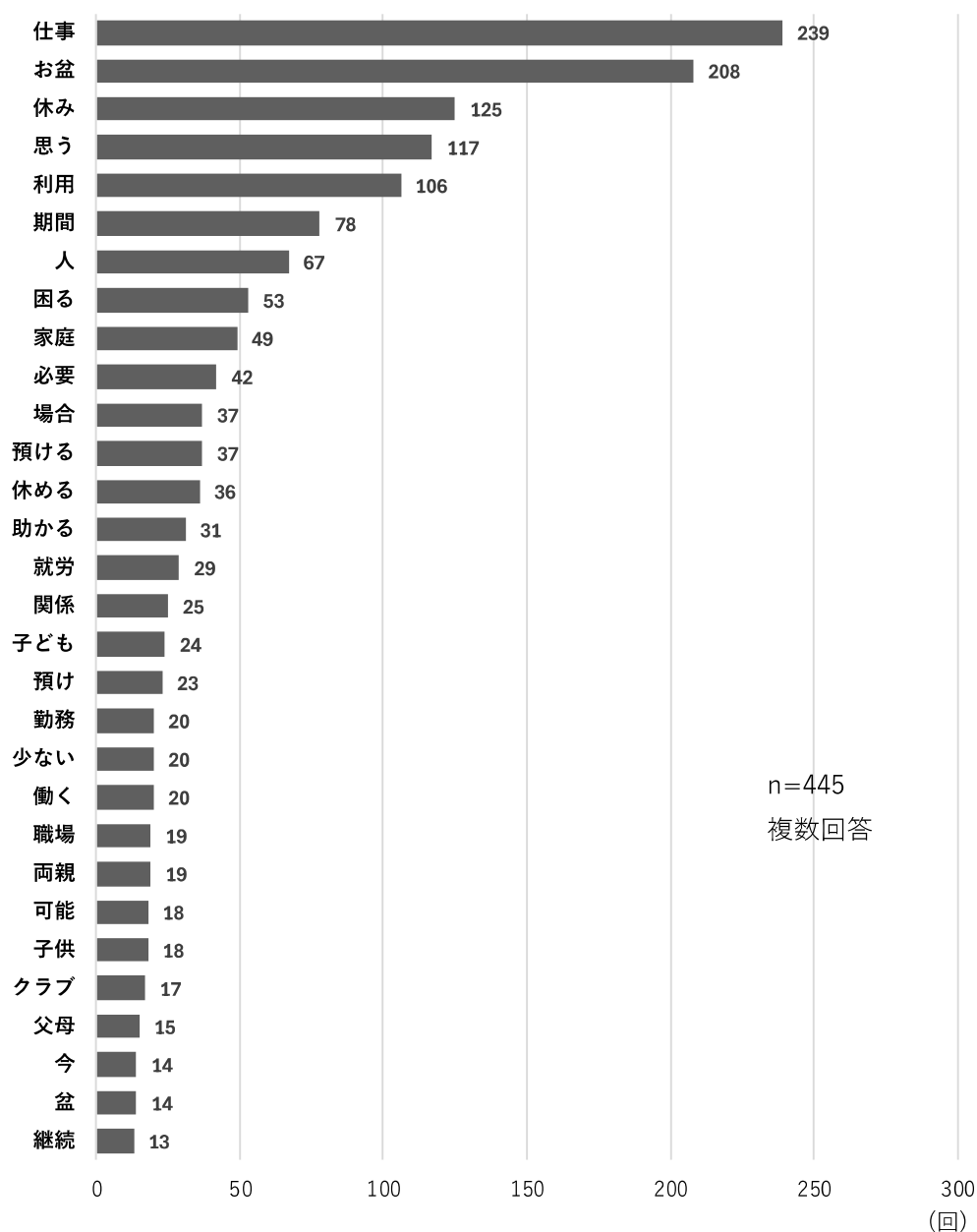


問 15-1 上記の選択についてうかがいます。その理由を記入してください。

お盆期間の開級希望に関する理由を自由記述式で尋ね、このうち「現状のまま継続してほしい」と回答した理由（445 件）に関して、テキストマイニングの手法により、出現頻度の高い語句を抽出したところ、以下のとおりとなった。

結果をみると、「仕事」「お盆」「休み」や「困る」「必要」といった、盆休みが仕事のため利用したいといった意向を示す語句の出現回数が多かった。

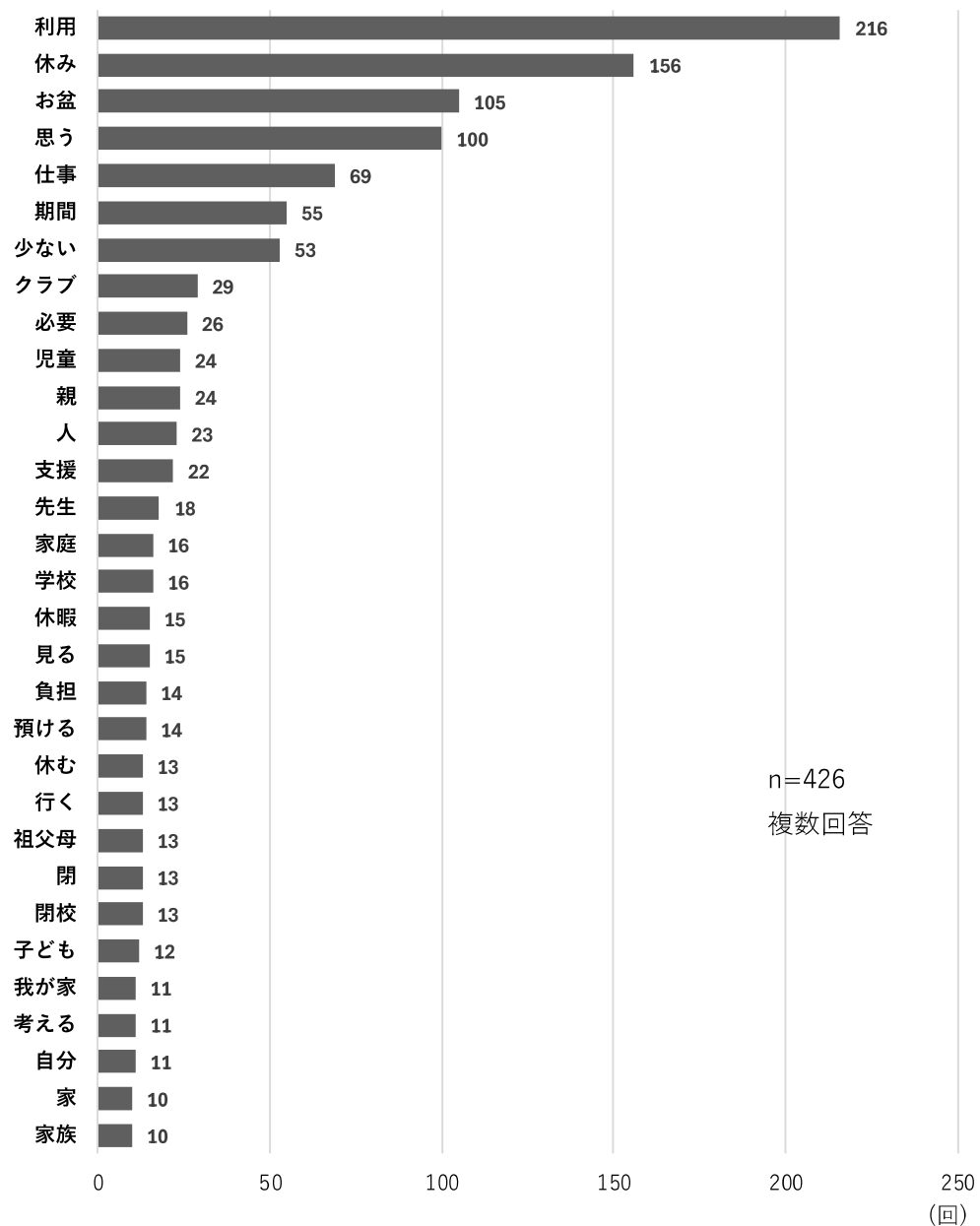
お盆期間の開級希望理由における 出現頻度の高い語句（上位30件）



一方、「やめてもよい」と回答した理由（426 件）に関して、テキストマイニングの手法により、出現頻度の高い語句を抽出したところ、以下のとおりとなった。

結果をみると、「休み」「お盆」「仕事」といった、盆休みは仕事も休みのため利用しないといった意向を示す語句の出現回数が多かった。

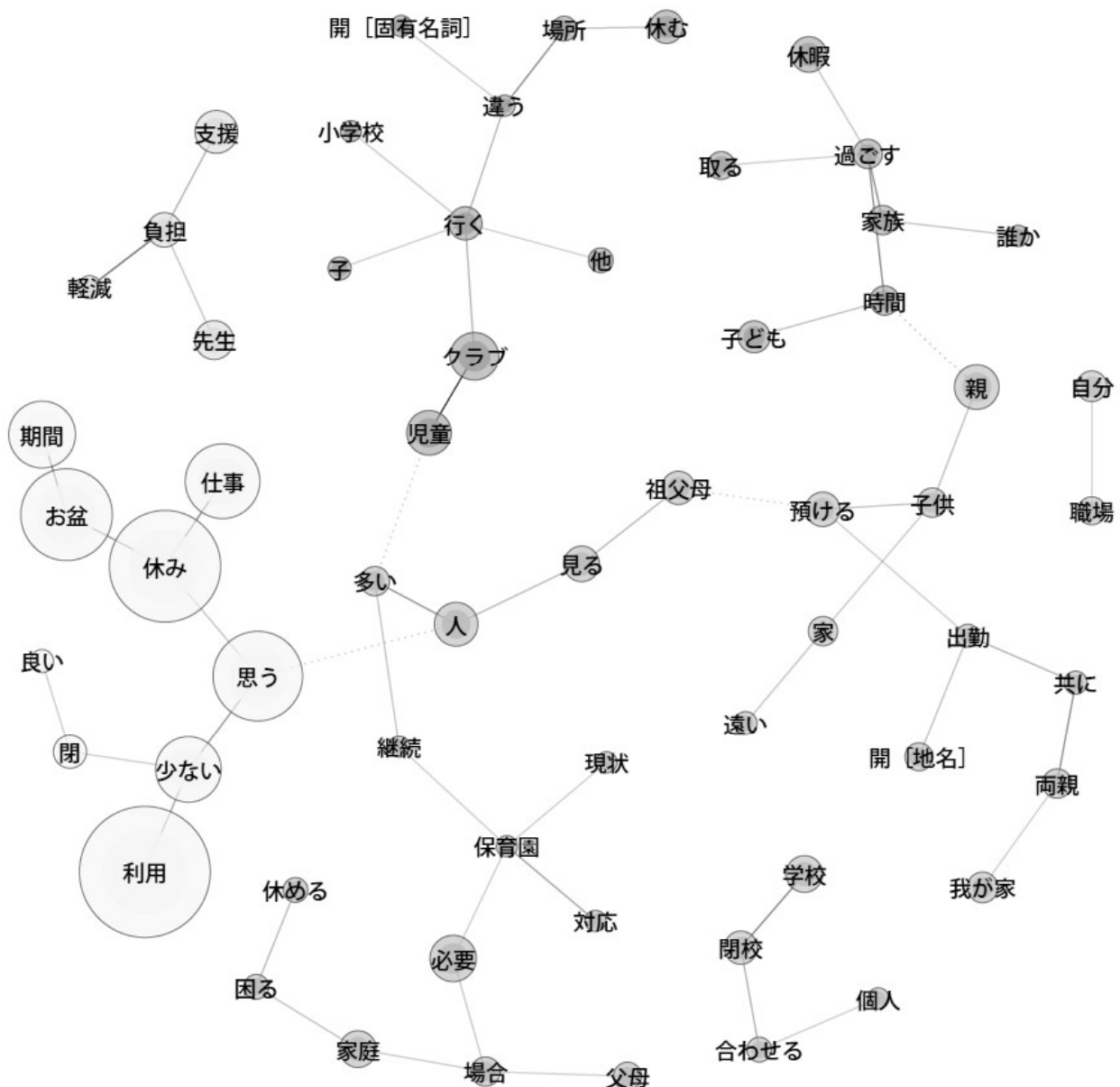
お盆期間の開級を希望しない理由における 出現頻度の高い語句（上位30件）



前述で分析した語句の出現状況に関して、出現回数や語句同士のつながりを視覚的に表す「共起ネットワーク」という手法で分析したところ、以下の図のとおりとなった（丸の大きさは出現回数の多さを表す）。

結果をみると、「お盆」と「休み」、さらには「利用」と「少ない」といった語句との関係が強く、盆休みは仕事も休みのため利用しないといった意向が窺える。また、「先生」と「負担」、「軽減」との関係は、放課後児童クラブのスタッフの負担を軽減するため、開級を希望していないことを示すものといえる。

お盆期間の開級を希望しない理由における出現語句同士の関係

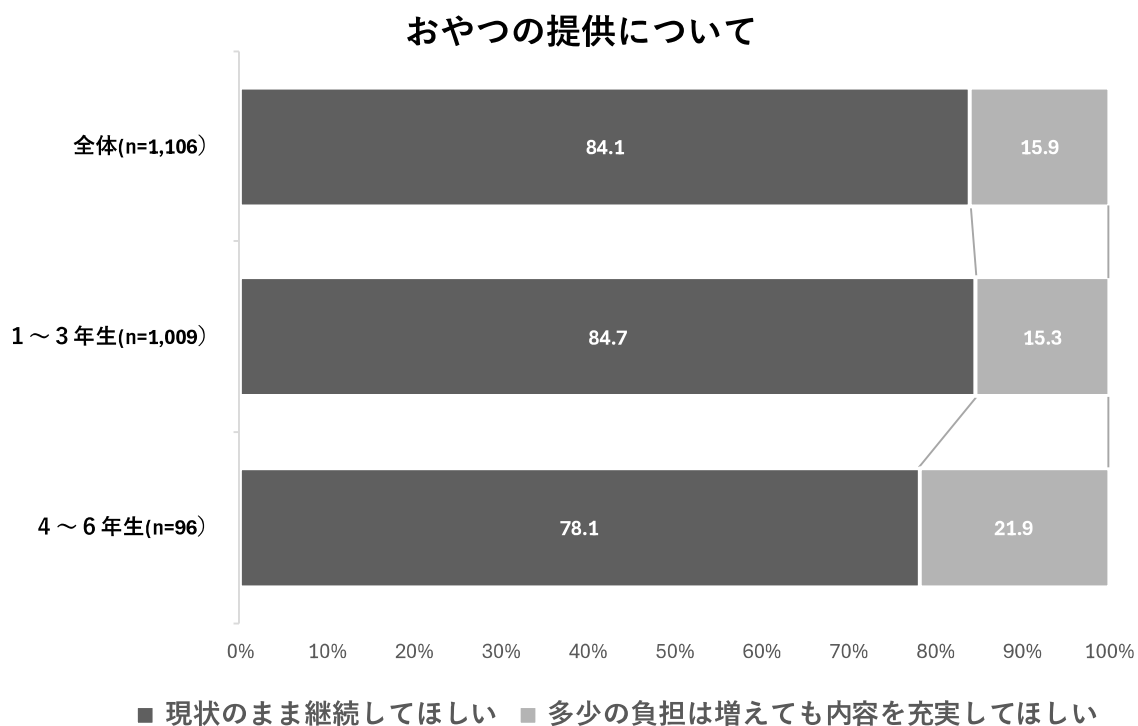


(6) おやつ提供について

問 16 おやつ（補食）の提供についてのお考えを回答してください。【〇は1つ】

おやつ提供については、「現状のまま継続してほしい」と回答した割合が 84.1%となっている。

学年別にみると、「現状のまま継続してほしい」と回答した割合は1～3年生で 84.7%、4～6年生で 78.1%となっている。



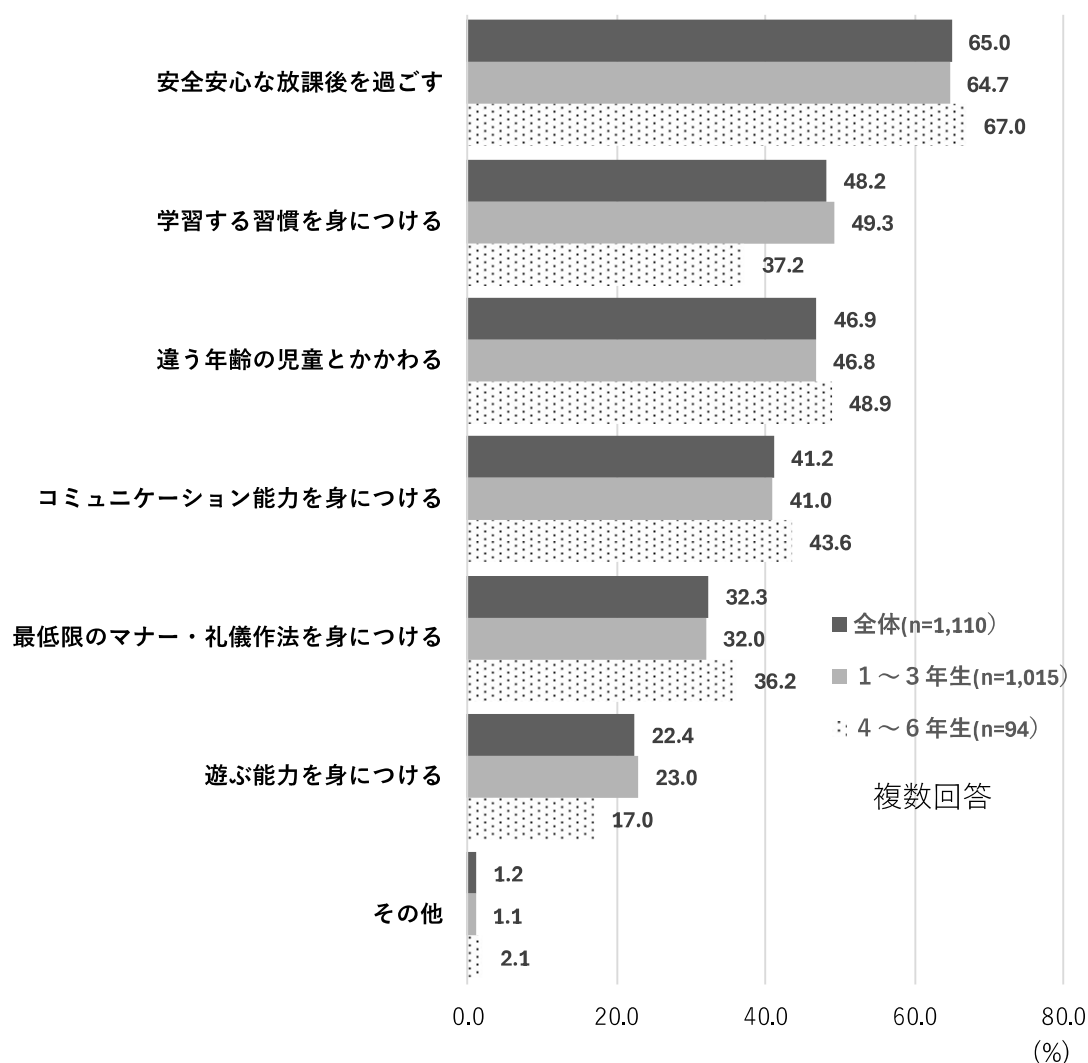
(7) 放課後児童クラブに期待すること

問 17 放課後児童クラブに期待することを回答してください。【〇は3つまで】

放課後児童クラブに期待することについては、「安全安心な放課後を過ごす」と回答した割合が 65.0%と最も高く、次いで「学習する習慣を身につける」48.2%、「違う年齢の児童とかかわる」46.9%の順となっている。

学年別にみると、「学習する習慣を身につける」と回答した割合は1～3年生が4～6年生を 10 ポイント超上回っている一方、「安全安心な放課後を過ごす」、「違う年齢の児童とかかわる」、「コミュニケーション能力を身につける」、「最低限のマナー・礼儀作法を身につける」と回答した割合は4～6年生が1～3年生よりも高くなっている。

放課後児童クラブに期待すること



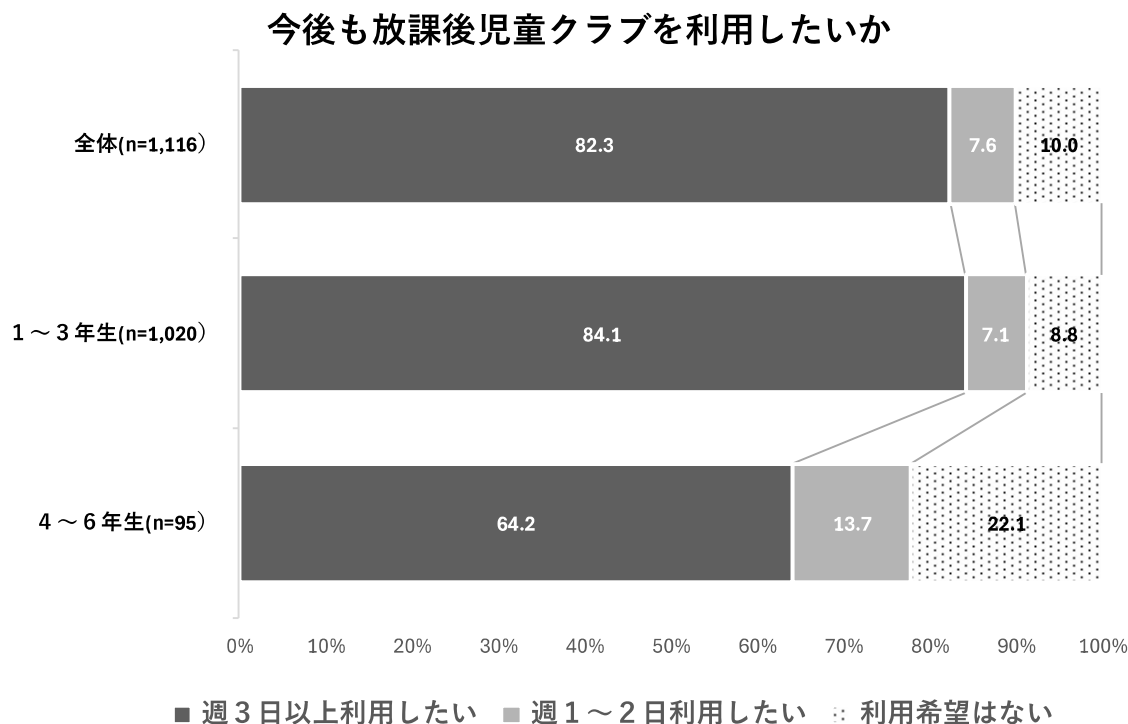
5 放課後児童クラブの今後の利用希望

(1) 放課後児童クラブの利用希望

問 18 今後、放課後児童クラブを利用したいですか。【○は 1 つ】

放課後児童クラブの利用希望については、「週 3 日以上利用したい」と回答した割合が 82.3%となっている。

学年別にみると、「週 3 日以上利用したい」と回答した割合は 1～3 年生で 84.1%、4～6 年生で 64.2%となっており、4～6 年生では「利用希望はない」が 22.1%に達している。

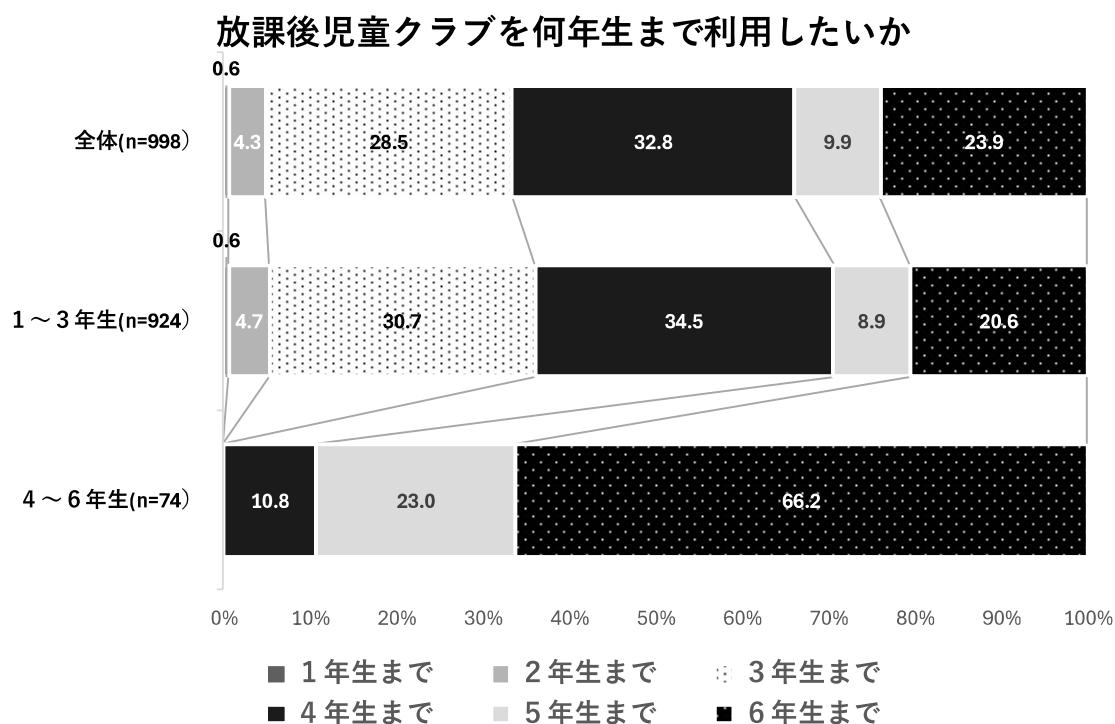


問 18 で「1 週 3 日以上利用したい」「2 週 1 ～ 2 日利用したい」と回答した人のみ回答

問 18－1 何年生まで利用したいですか。【○は 1 つ】

放課後児童クラブの利用希望終了学年については、「4 年生まで」と回答した割合が 32.8%と最も多く、次いで「3 年生まで」が 28.5%、「6 年生まで」が 23.9%となっている。

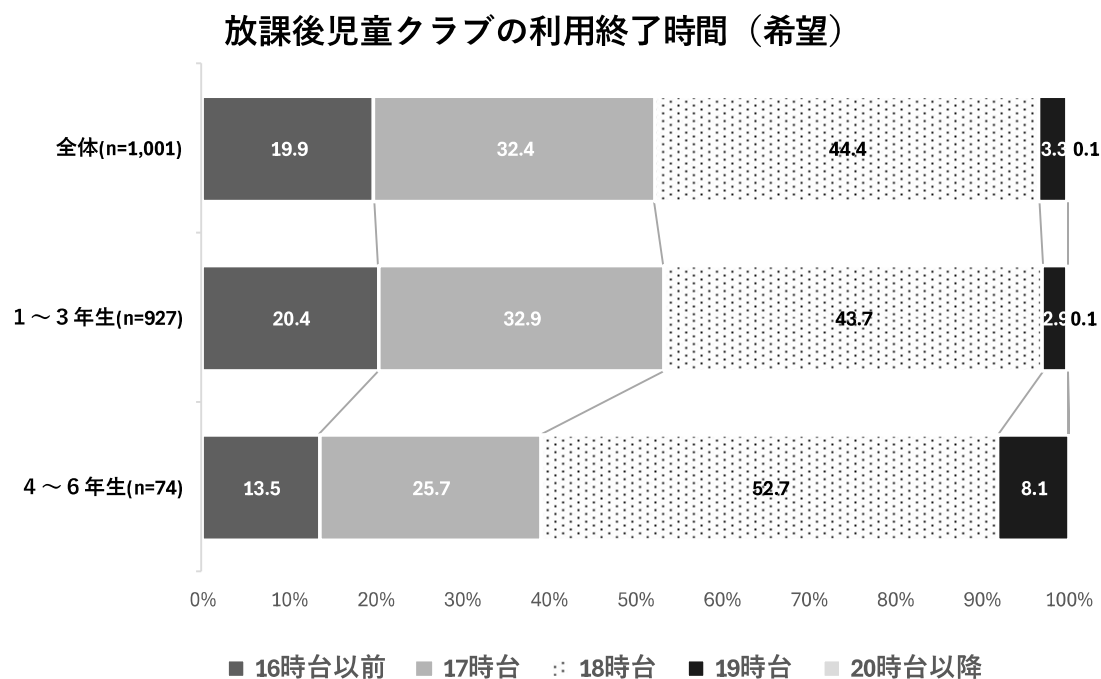
学年別にみると、「6 年生まで」と回答した割合は 1 ～ 3 年生が 20.6%であるのに対し、4 ～ 6 年生では 66.2%となっている。



問 18－2 何時まで利用したいですか。

平日の放課後児童クラブの利用希望終了時間については、「18 時台」と回答した割合が 44.4%、「17 時台」と回答した割合が 32.4%となっている。

学年別にみると、「18 時台」と回答した割合は 4～6 年生で 52.7%と、1～3 年生を 10 ポイント近く上回っている。



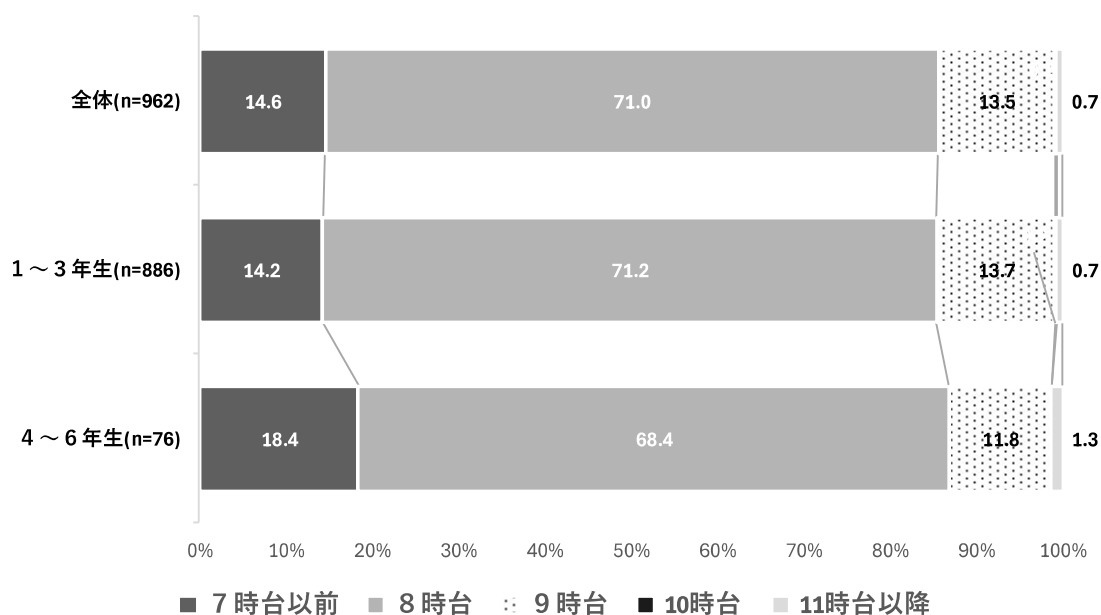
問 18－3 夏休み等の長期休暇中は何時～何時まで利用したいですか。

長期休暇中の利用希望開始時間については、「8 時台」と回答した割合が 71.0%となっている。学年別での大きな差はみられない。

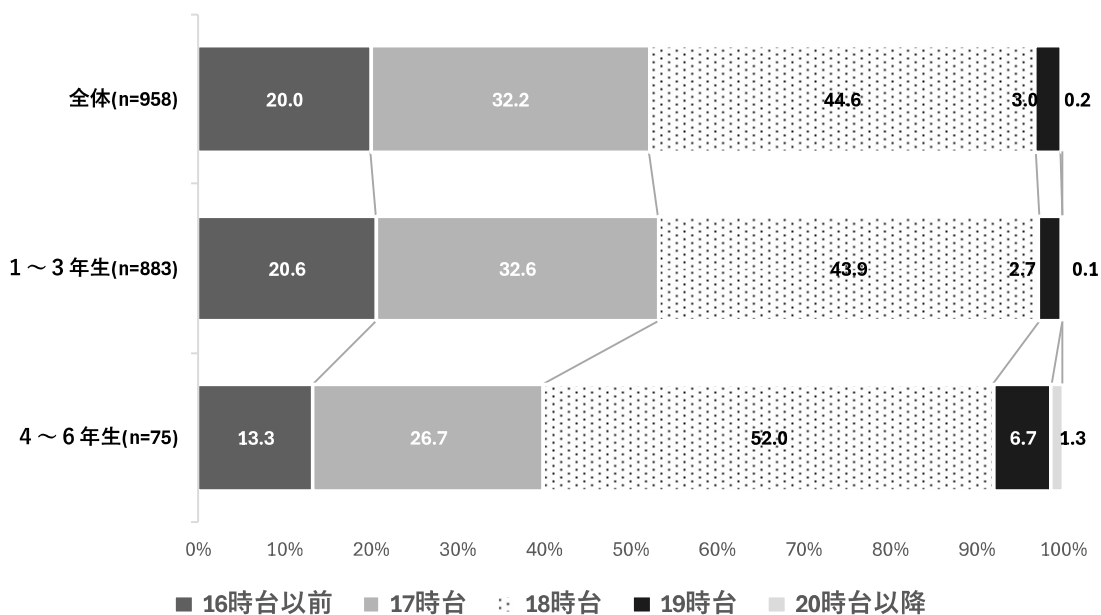
長期休暇中の利用希望終了時間については、「18 時台」と回答した割合が 44.6%、「17 時台」と回答した割合が 32.2%となっている。

学年別にみると、「18 時台」と回答した割合は 4～6 年生で 52.0%と 1～3 年生を 10 ポイント近く上回っている。

放課後児童クラブの利用開始時間（長期休暇中：希望）



放課後児童クラブの利用終了時間（長期休暇中：希望）

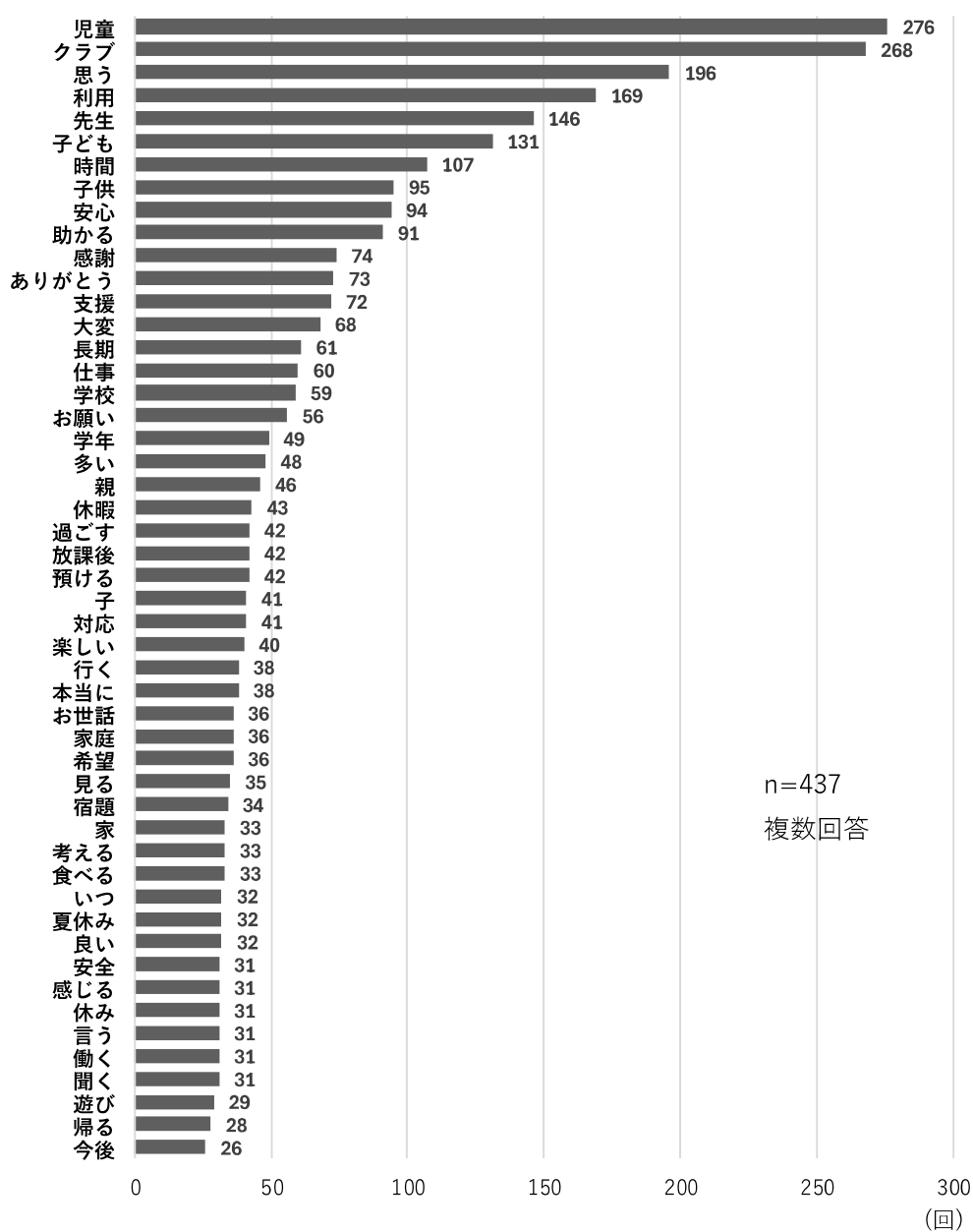


6 意見など

放課後児童クラブや子育てに関する意見・要望などについて、自由記述欄において、合計437件の記載があった。これらの意見等について、テキストマイニングの手法により、出現頻度の高い語句を抽出したところ、以下のとおりとなった。

結果をみると、「児童」「クラブ」の他には、「先生」や「時間」といった言葉に加えて、「安心」「助かる」「感謝」「ありがとう」といった、利用に際しての謝意を占める語句の出現回数が多かった。

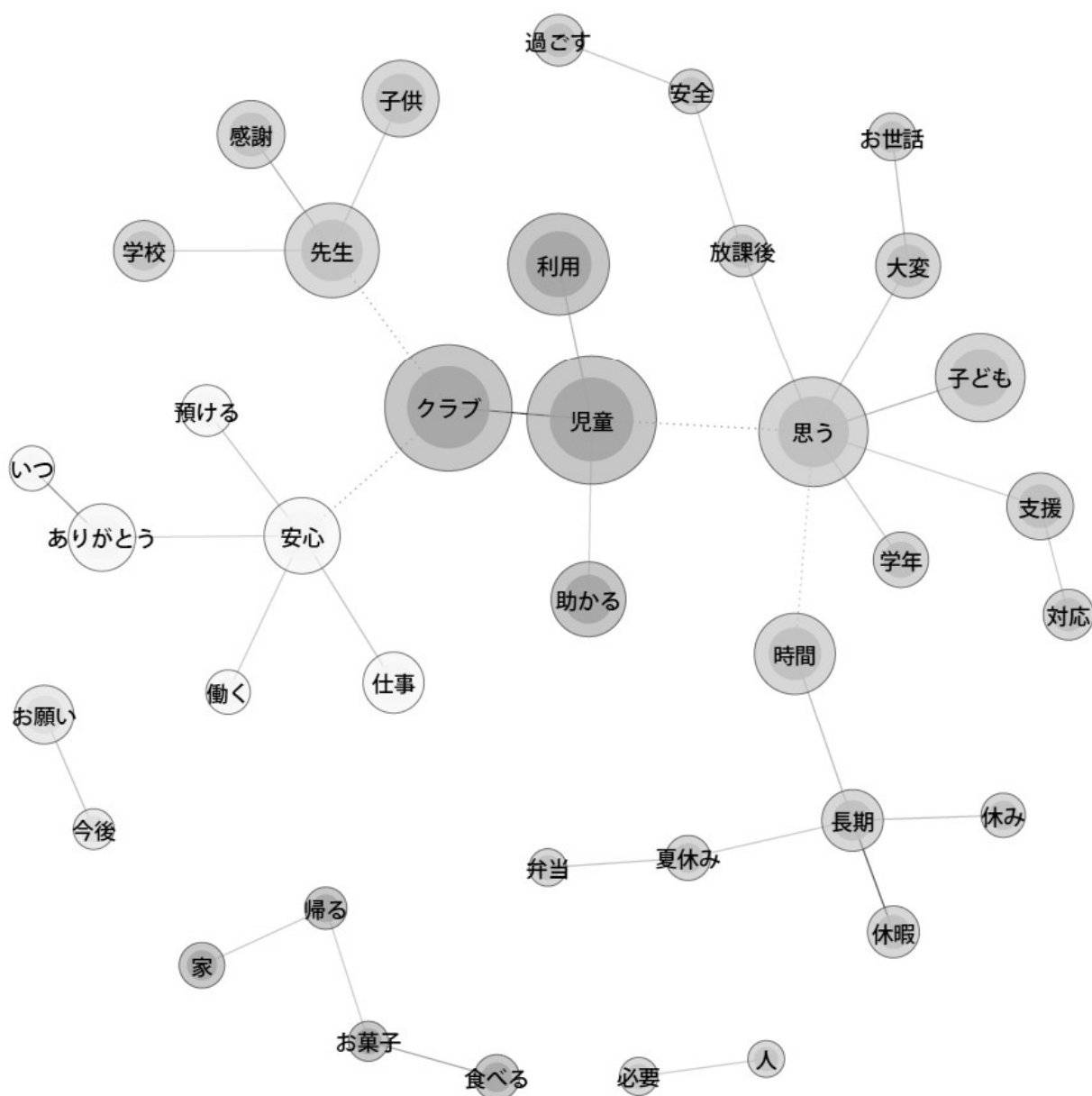
放課後児童クラブ利用者からの意見における
出現頻度の高い語句（上位50件）



前述で分析した語句の出現状況に関して、出現回数や語句同士のつながりを視覚的に表す「共起ネットワーク」という手法で分析したところ、以下の図のとおりとなった（丸の大きさは出現回数の多さを表す）。

結果をみると、「児童」や「クラブ」と「利用」「助かる」、さらには「安心」と「ありがとう」、「先生」と「感謝」といった語句の関係が強く、利用に際しての謝意が示されている。他には、「時間」と「長期」、「休暇」、「夏休み」といった語句との関係が示されており、長期休暇中の利用に関するニーズが窺える。

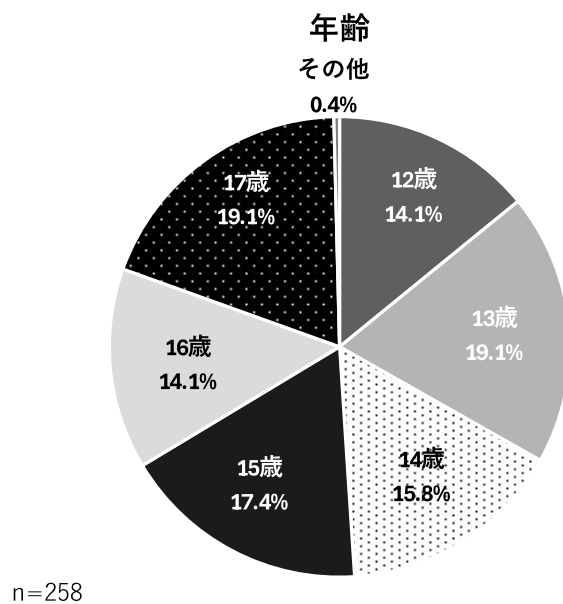
放課後児童クラブ利用者からの意見における出現語句同士の関係



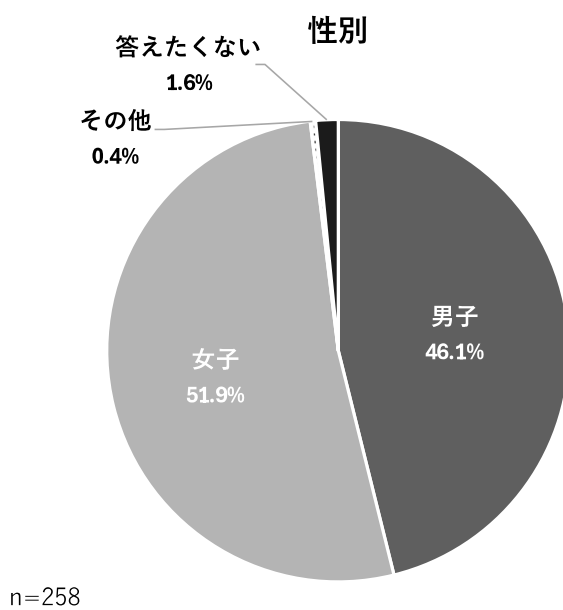
V 調査結果（12～17 歳）

1 属性

(1) 年齢



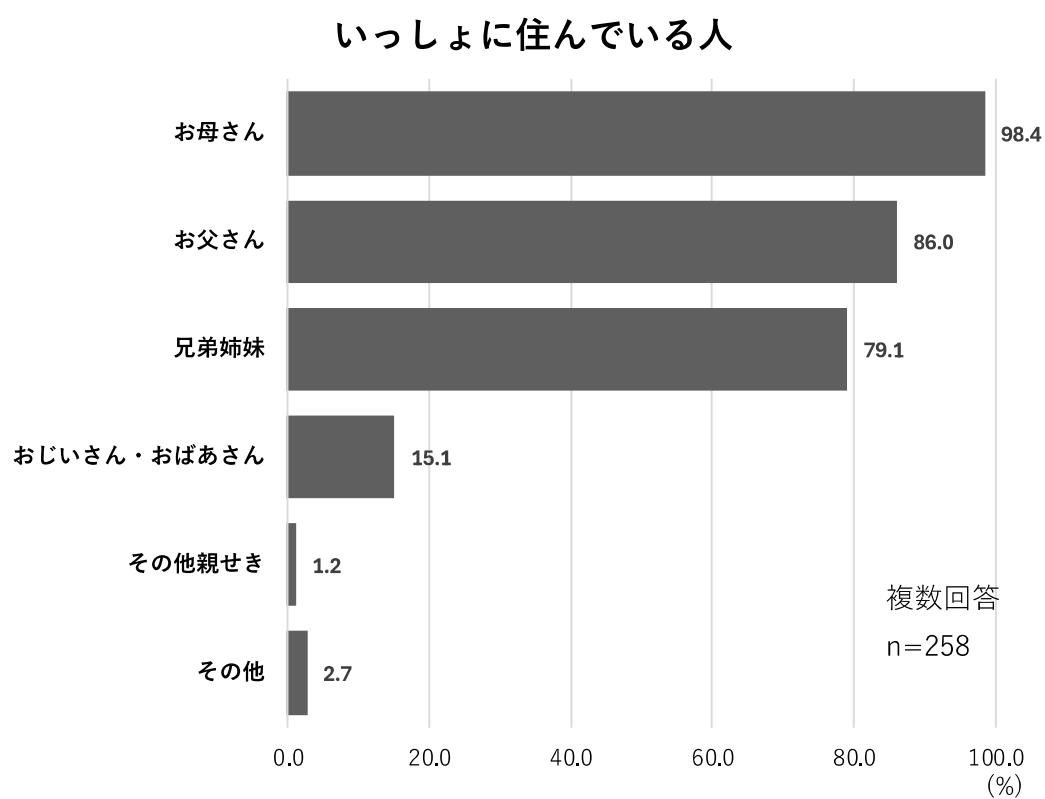
(2) 性別



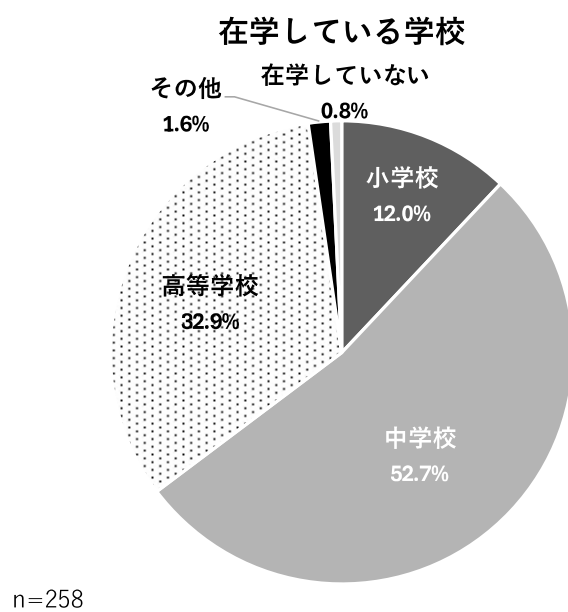
(3) 国籍

全て「日本国籍」となっている。

(4) いっしょに住んでいる人



(5) 在学している学校



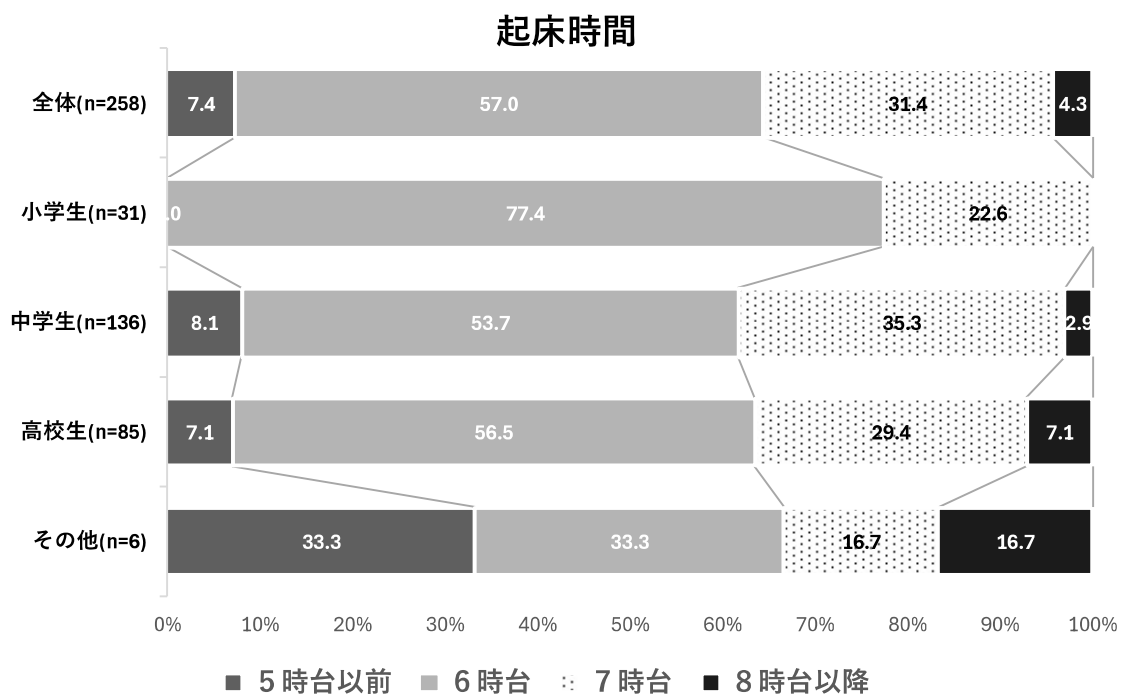
2 家庭生活

(1) 起床時間

問6 あなたは、ふだん（月～金曜日）、朝、何時ごろに起きますか。

起床時間については、「6時台」と回答した割合が57.0%、「7時台」と回答した割合が31.4%となっている。

在学状況別にみると、「6時台」と回答した割合は小学生で77.4%、中学生で53.7%、高校生で56.5%となっている。

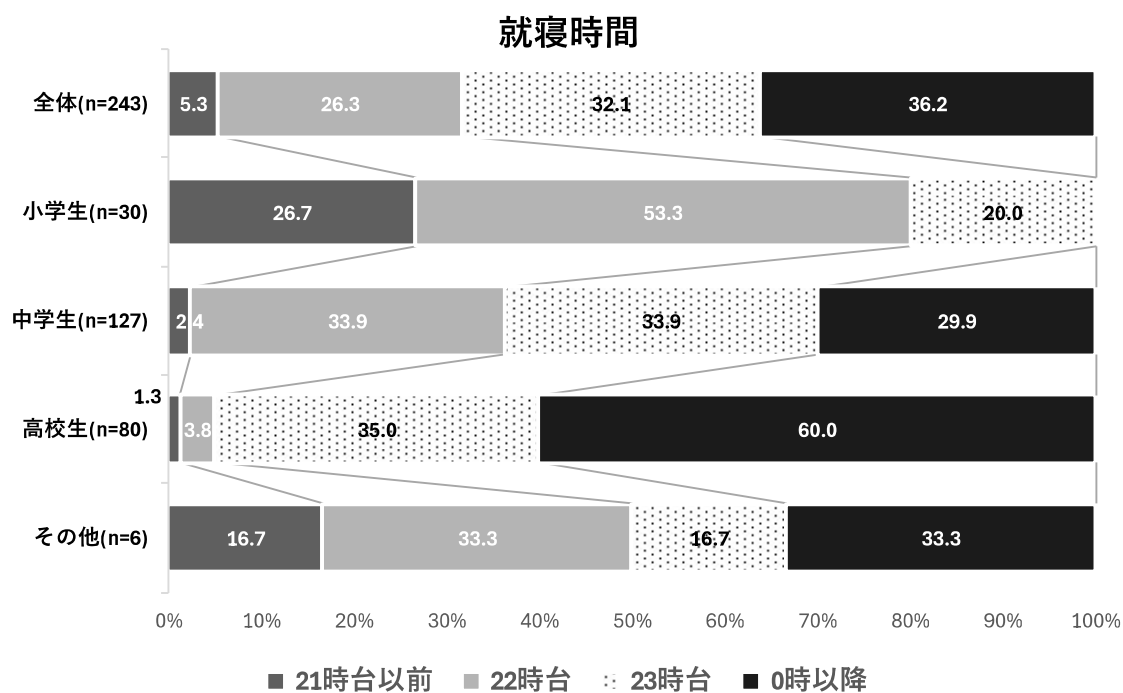


(2) 就寝時間

問7 あなたは、ふだん（月～金曜日）、夜、何時ごろに寝ますか。

就寝時間については、「0時以降」と回答した割合が36.2%、「23時台」が32.1%となっている。

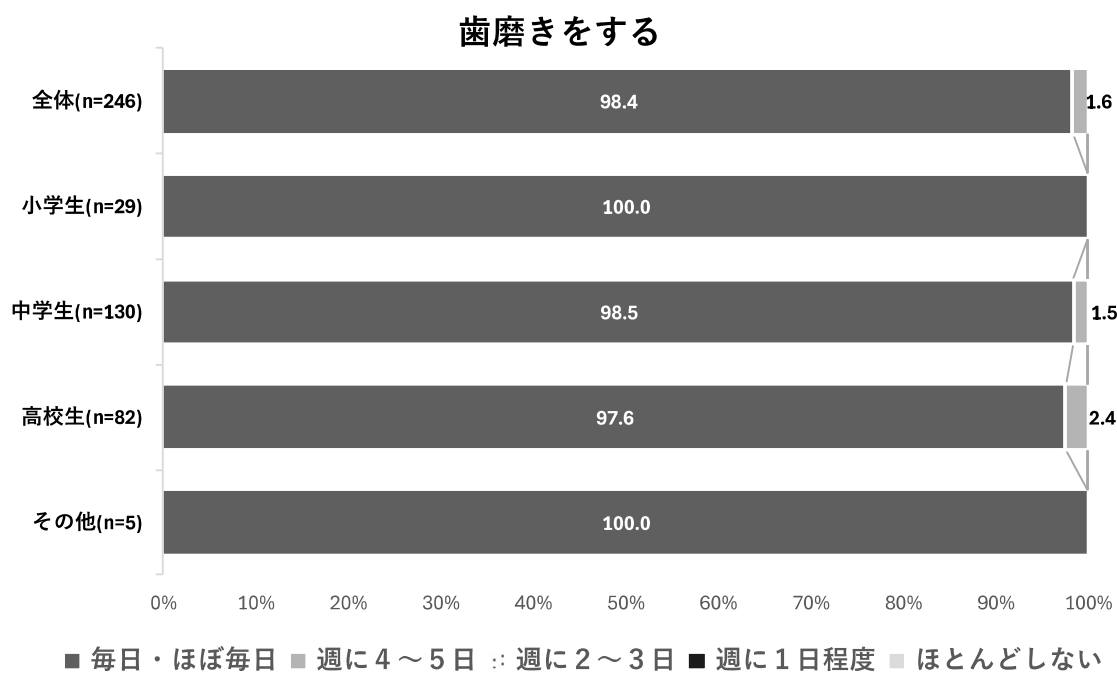
在学状況別にみると、「0時以降」と回答した割合は小学生ではゼロであったのに対し、中学生は29.9%、高校生は60.0%となっており、高校生における割合の高さが目立つ。



(3) 生活習慣

問 8 次のことについて、あなたはどのくらいしていますか。【それぞれ○は1つ】

生活習慣について尋ねたところ、“朝ごはんを食べる”、“歯磨きをする”のいずれも、回答者のほぼ全てが「毎日・ほぼ毎日」と回答している。なお、“晩ごはんを食べる”、“お風呂に入る”については、全員が「毎日・ほぼ毎日」と回答した。

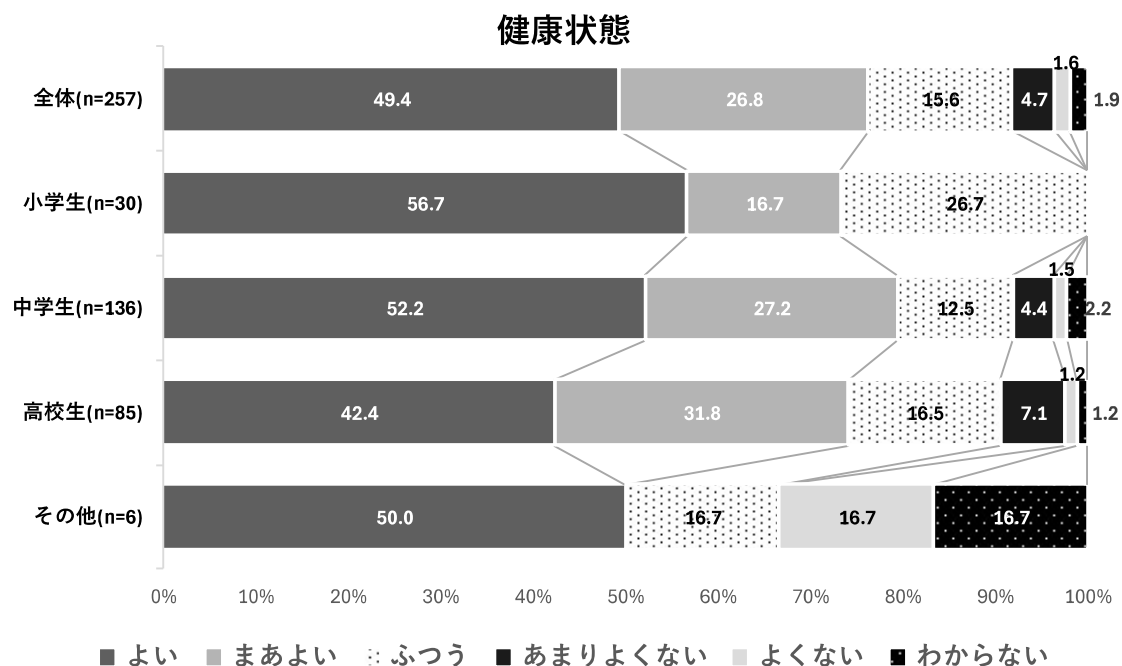


(4) 健康状態

問9 あなたは、自分の健康状態についてどう感じていますか。【○は1つ】

健康状態については、「よい」と回答した割合が49.4%、「まあよい」が26.8%となっている。

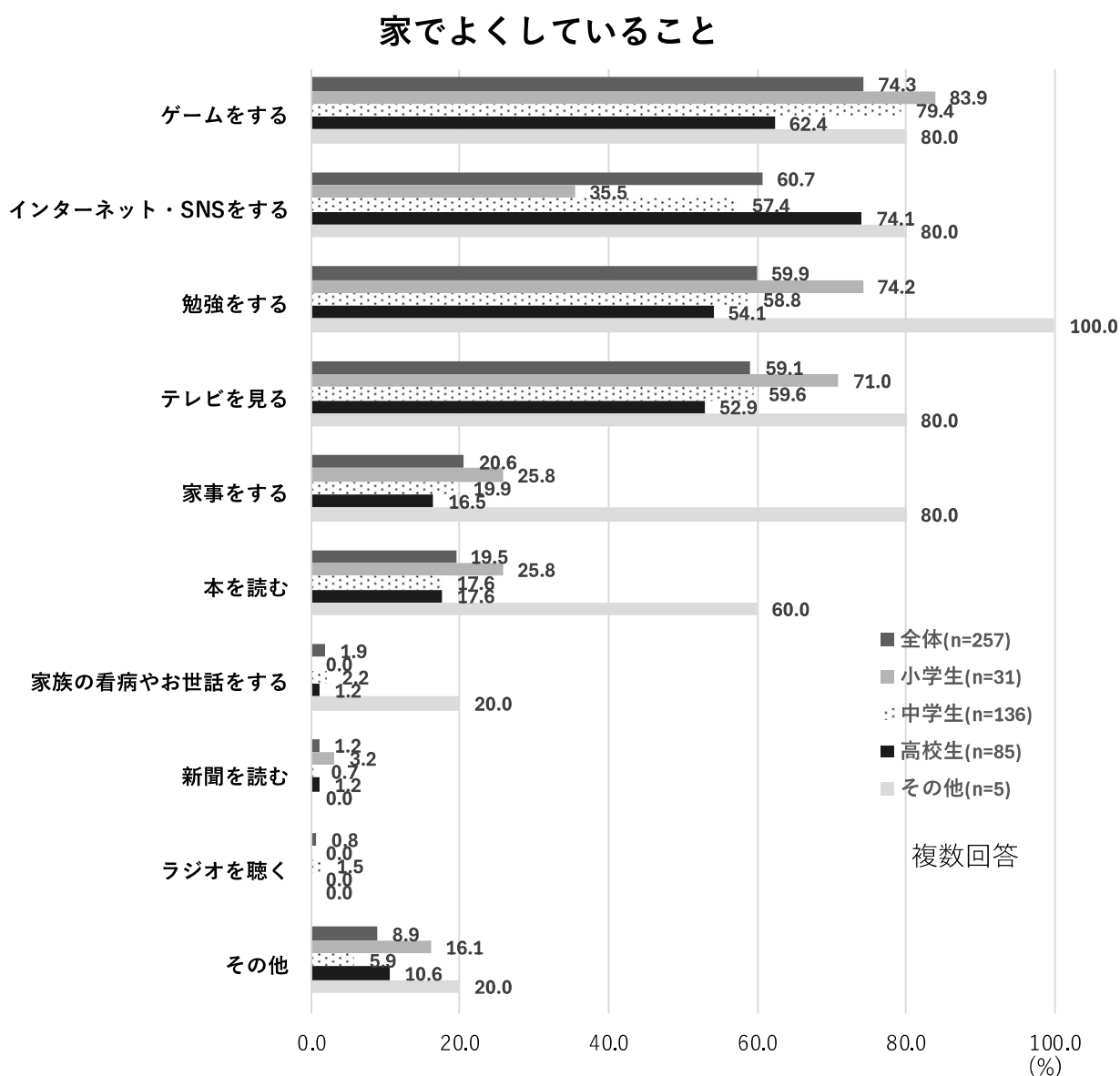
在学状況別にみると、「よい」と回答した割合は小学生で56.7%、中学生で52.2%、高校生で42.4%となっており、年齢が上がるほど「よい」の割合が低下し、高校生では「あまりよくない」と「よくない」を合わせた割合が8%程度となっている。



(5) 家でよくしていること

問 10 あなたは、放課後や休日などでふだん家（暮らしている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。よくしていることを全て選んでください。【あてはまる番号全てに○】

家でよくしていることについては、「ゲームをする」と回答した割合が 74.3%と最も高く、次いで「インターネット・SNS をする」(60.7%)、「勉強をする」(59.9%) の順となっている。在学状況別にみると、高校生では「インターネット・SNS をする」が 74.1%と最も高くなっている。

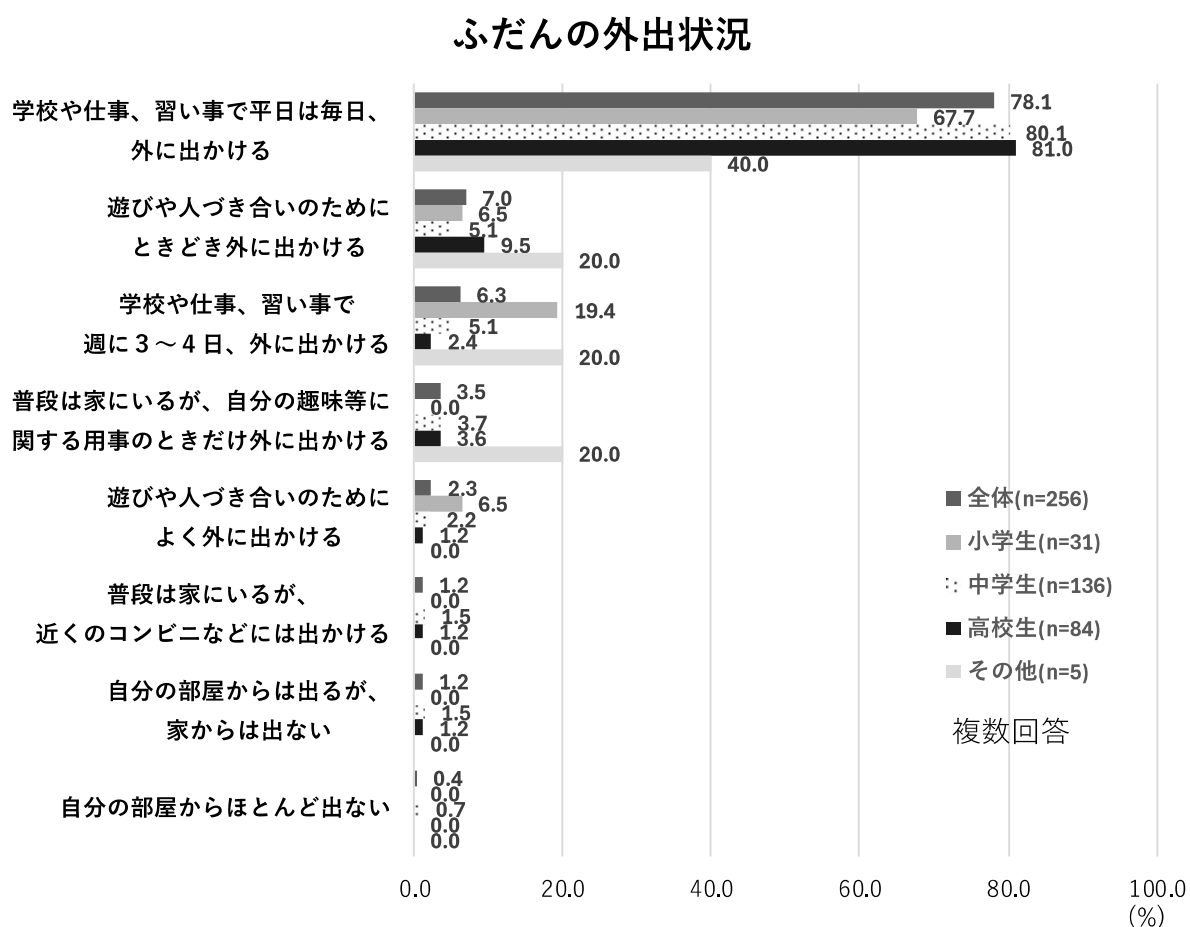


(6) ふだんの外出状況

問 11 あなたは、ふだんどのくらい外に出かけますか。最もあてあまるものを選んでください。【〇は1つ】

ふだんの外出状況については、「学校や仕事、習い事で平日は毎日、外に出かける」と回答した割合が78.1%と最も高くなっている。

在学状況別にみると、小学生では「学校や仕事、習い事で平日は毎日、外に出かける」が67.7%にとどまり、「学校や仕事、習い事で週に3～4日、外に出かける」が19.4%と、中学生や高校生を10ポイント超上回っている。



問 11 で「5. 普段は家にいるが、自分の趣味等に関する用事のときだけ外に出かける」から「8. 自分の部屋からほとんど出ない」と回答した人のみ回答

問 11-1 あなたの外出状況が今のようになってから、どのくらいたちますか。【○は1つ】

該当者 16 名に外出状況が今のようになってからの期間を尋ねたところ、「3 か月未満」が 5 名と最も多く、次いで「3 年～5 年未満」と「5 年以上」が共に 3 名、「6 か月～1 年未満」と「1 年～2 年未満」が共に 2 名、「3 か月～6 か月未満」が 1 名となっている。

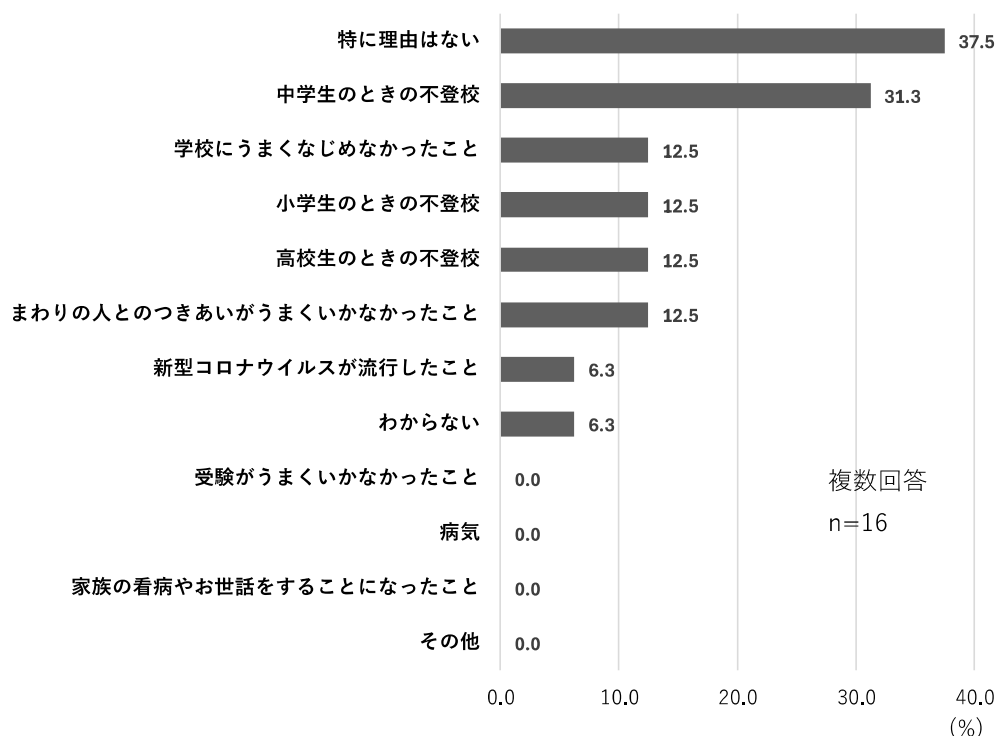
問 11-2 あなたの外出状況が今のようになったのは、いくつの頃ですか。

外出状況が今のようになった年齢については、「13 歳」が 4 名と最も多く、次いで「10 歳」が 3 名、「12 歳」、「14 歳」、「16 歳」がいずれも 2 名となっている。

問 11-3 あなたの外出状況が今のようになった主な理由は何ですか。【あてはまる番号全てに○】

外出状況が今のようになった理由については、「特に理由がない」が 37.5%（6 名）と最も多く、次いで「中学生のときの不登校」が 31.3%（5 名）となっている。

外出状況が今のようになった理由



問 11-4 あなたの外出状況が今のようになった最も大きな理由は何ですか。問 11-3 の答えの中から、番号を 1 つだけ選んでください。【数字を記入】

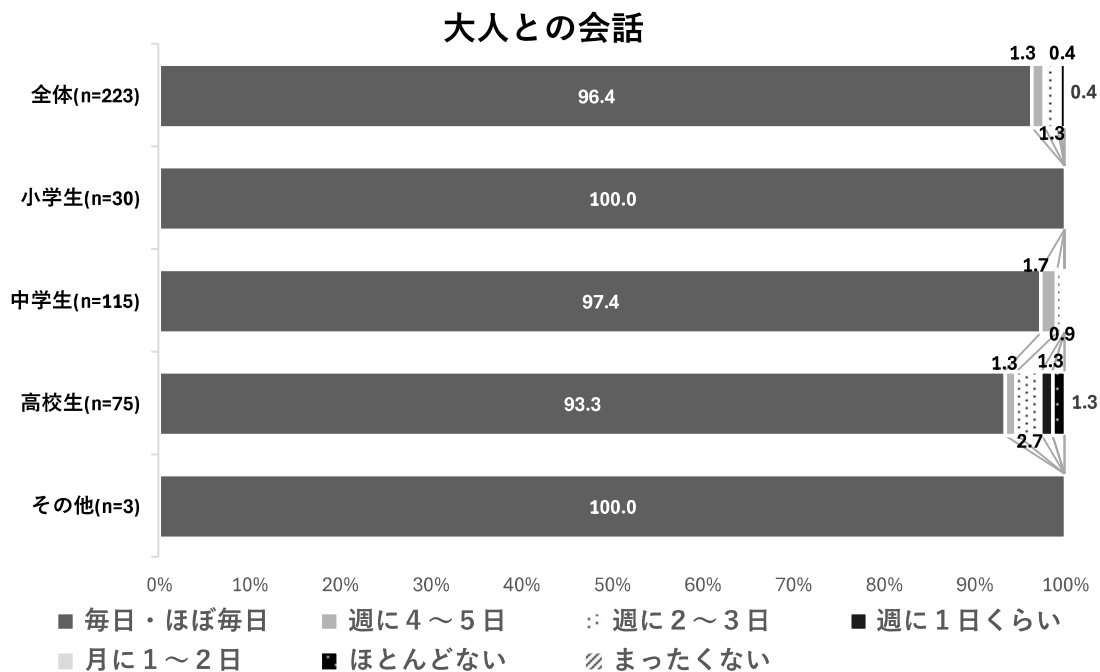
外出状況が今のようになった最大の理由については、「その他」が 5 名と最も多くなっている。

(7) 大人との会話

問 12 あなたは、うちの家族など大人の人との会話がどれくらいありますか。【○は1つ】

大人との会話については、「毎日・ほぼ毎日」と回答した割合が96.4%となっている。

在学状況別にみると、高校生で「毎日・ほぼ毎日」が93.3%と、小学生や中学生より割合が低くなっている。



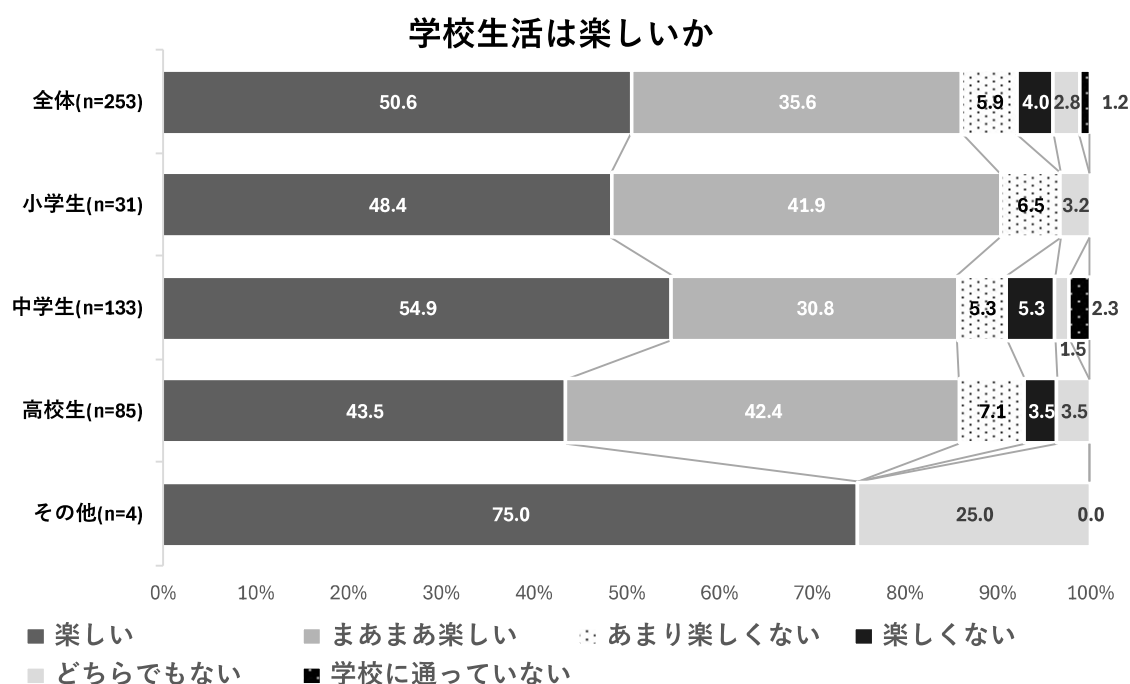
3 学校生活

(1) 学校生活は楽しいか

問 13 あなたは、今の学校での生活が楽しいですか。【〇は 1 つ】

学校生活が楽しいかについては、「楽しい」と回答した割合が 50.6%、「まあまあ楽しい」が 35.6%となっており、合計で 8 割超に達している。

在学状況別にみると、「楽しい」と回答した割合は小学生で 48.4%、中学生で 54.9%、高校生で 43.5%となっており、中学生と高校生は「あまり楽しくない」と「楽しくない」の合計がいずれも 1 割を超えている。



問 13 で「6. 学校に通っていない」と回答した人のみ回答

問 13-1 学校に通っていないのは、なぜですか。【〇は 1 つ】

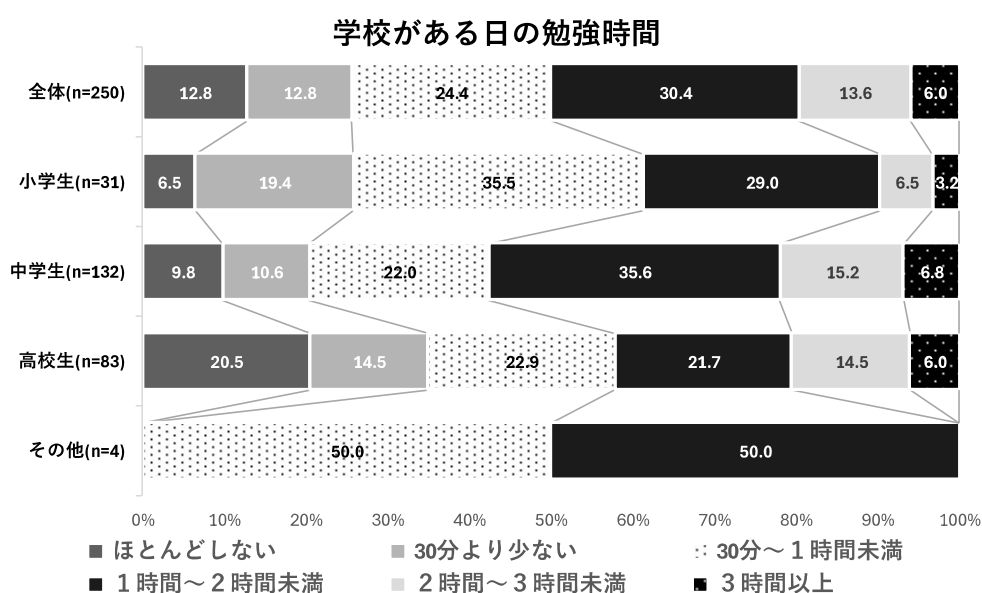
学校に通っていない人 3 名に理由を尋ねたところ、全員が「特に理由はない」と回答した。

(2) 学校がある日の勉強

問 14 あなたは、学校がある日、授業時間以外に1日当たりどれくらい勉強をしますか（塾などの時間も含む）。また、主な方法や場所は何ですか。【〇は1つ】

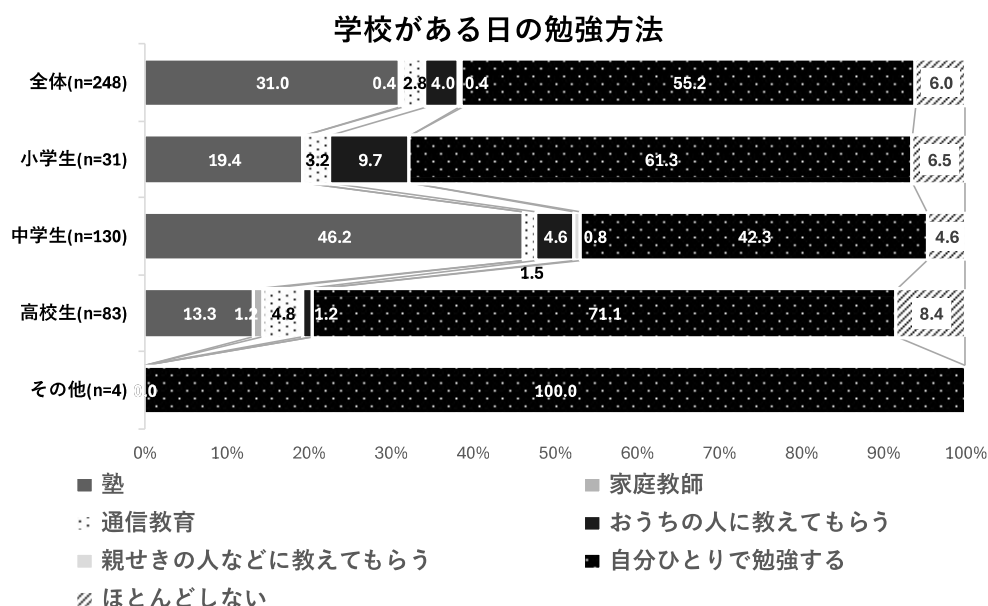
学校がある日の授業時間以外の勉強時間については、「1時間～2時間未満」と回答した割合が30.4%、「30分～1時間未満」が24.4%となっている。

在学状況別にみると、「1時間～2時間未満」と回答した割合は小学生で29.0%、中学生で35.6%、高校生で21.7%となっており、小学生では「30分～1時間未満」が35.5%、高校生でも「30分～1時間未満」が22.9%と、いずれも最も多くなっている。



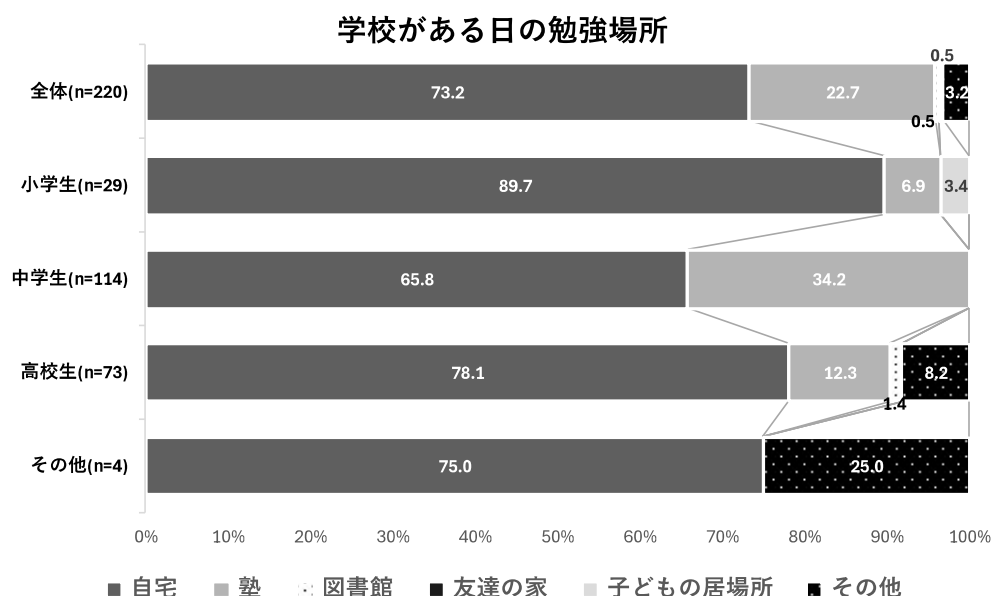
学校がある日の授業時間以外の勉強方法については、「自分ひとりで勉強する」と回答した割合が55.2%、「塾」が31.0%となっている。

在学状況別にみると、「自分ひとりで勉強する」と回答した割合は小学生で61.3%、中学生で42.3%、高校生で71.1%となっており、中学生は「塾」が46.2%と最も多くなっている。



学校がある日の授業時間以外の勉強場所については、「自宅」と回答した割合が 73.2%、「塾」が 22.7%となっている。

在学状況別にみると、「自宅」と回答した割合は小学生で 89.7%、中学生で 65.8%、高校生で 78.1%となっており、中学生は「塾」が 34.2%と小学生や高校生を大幅に上回っている。

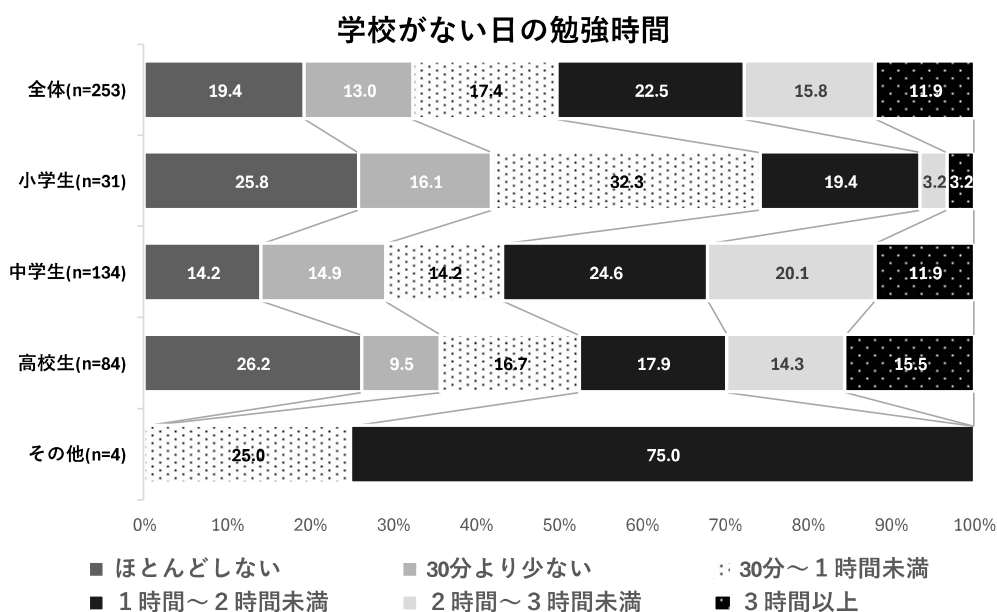


(3) 学校がない日の勉強

問 15 あなたは、学校がない日、1日当たりどれくらい勉強をしますか（塾などの時間も含む）。また、主な方法や場所は何ですか。【○は1つ】

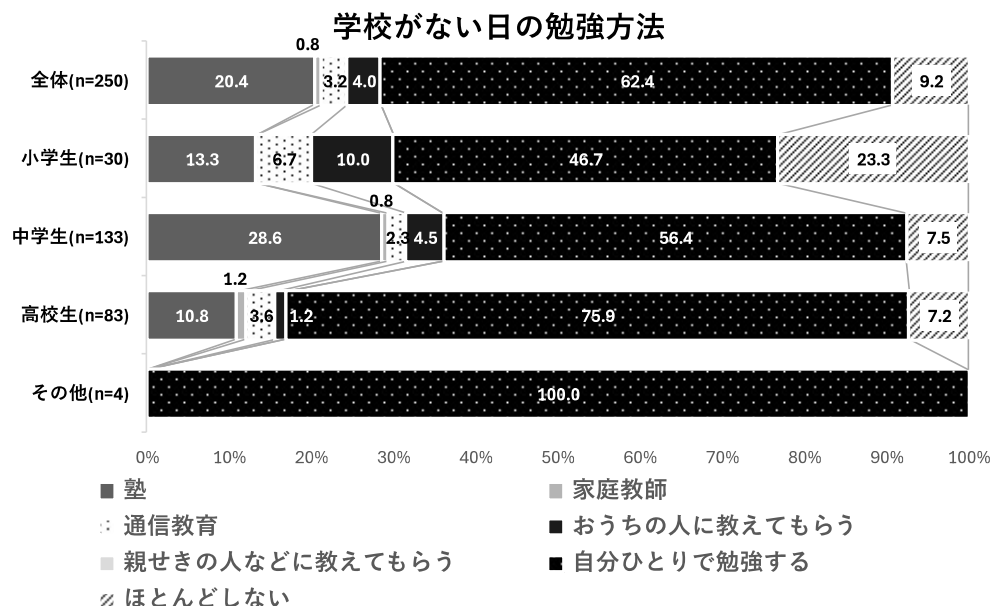
学校がない日の勉強時間については、「1時間～2時間未満」と回答した割合が 22.5%、「ほとんどしない」が 19.4%となっている。

在学状況別にみると、「1時間～2時間未満」と回答した割合は小学生で 19.4%、中学生で 24.6%、高校生で 17.9%となっており、小学生は「30分～1時間未満」が 32.3%、高校生は「ほとんどしない」が 26.2%と、それぞれ最も多くなっている。



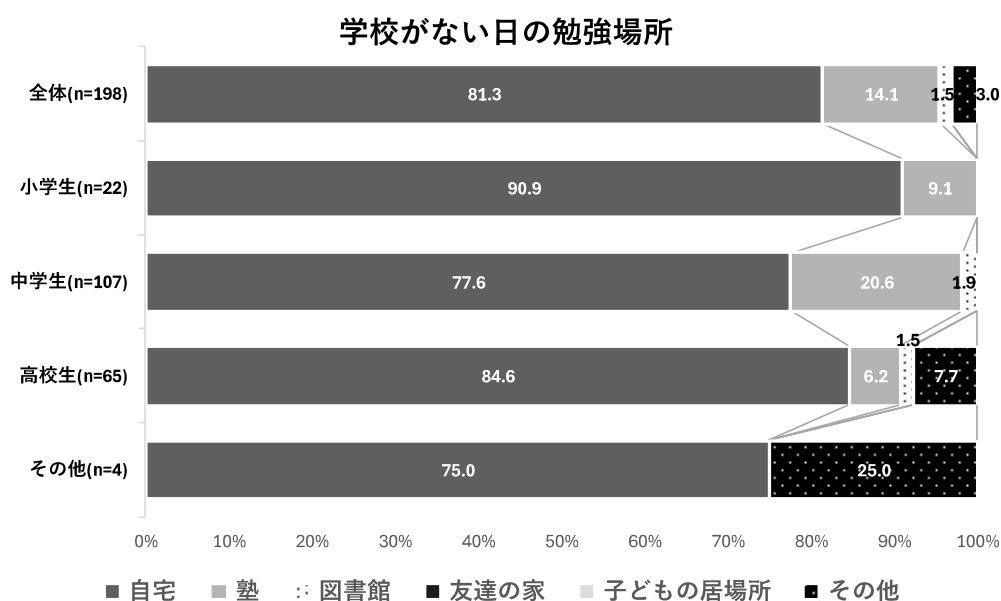
学校がない日の勉強方法については、「自分ひとりで勉強する」と回答した割合が 62.4%、「塾」が 20.4%となっている。

在学状況別にみると、「自分ひとりで勉強する」と回答した割合は小学生で 46.7%、中学生で 56.4%、高校生で 75.9%となっており、中学生は「塾」が 28.6%と小学生や高校生の 2 倍超に達している。



学校がない日の勉強場所については、「自宅」と回答した割合が 81.3%、「塾」が 14.1%となっている。

在学状況別にみると、「自宅」と回答した割合は小学生で 90.9%、中学生で 77.6%、高校生で 84.6%となっており、中学生は「塾」が 20.6%と小学生や高校生を大幅に上回っている。

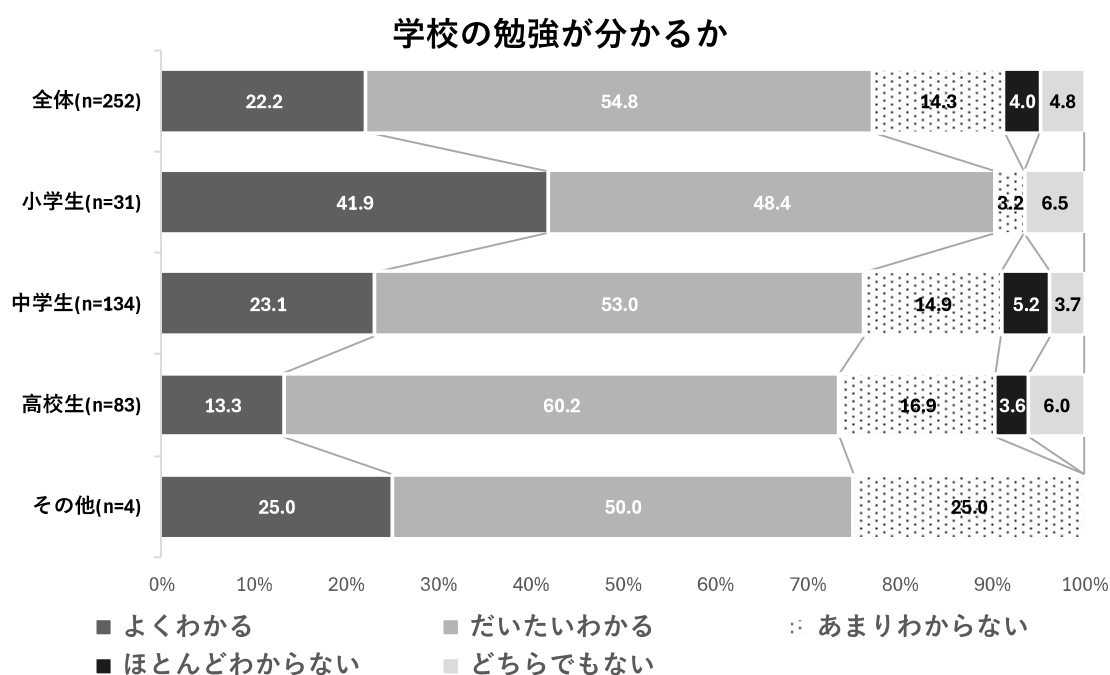


(4) 勉強が分かるか

問 16 あなたは、学校の勉強が分かりますか。一番あなたの気持ちに近いものを教えてください。【〇は1つ】

学校の勉強の理解度については、「だいたいわかる」と回答した割合が 54.8%、「よくわかる」が 22.2%となっており、2つの合計では8割近くに達している。

在学状況別にみると、「よくわかる」の割合が小学生では 41.9%に達している一方、中学生では 23.1%、高校生では 13.3%と、年齢が上がるにつれて低下しており、中学生と高校生は「あまりわからない」と「ほとんどわからない」の合計が2割に達している。



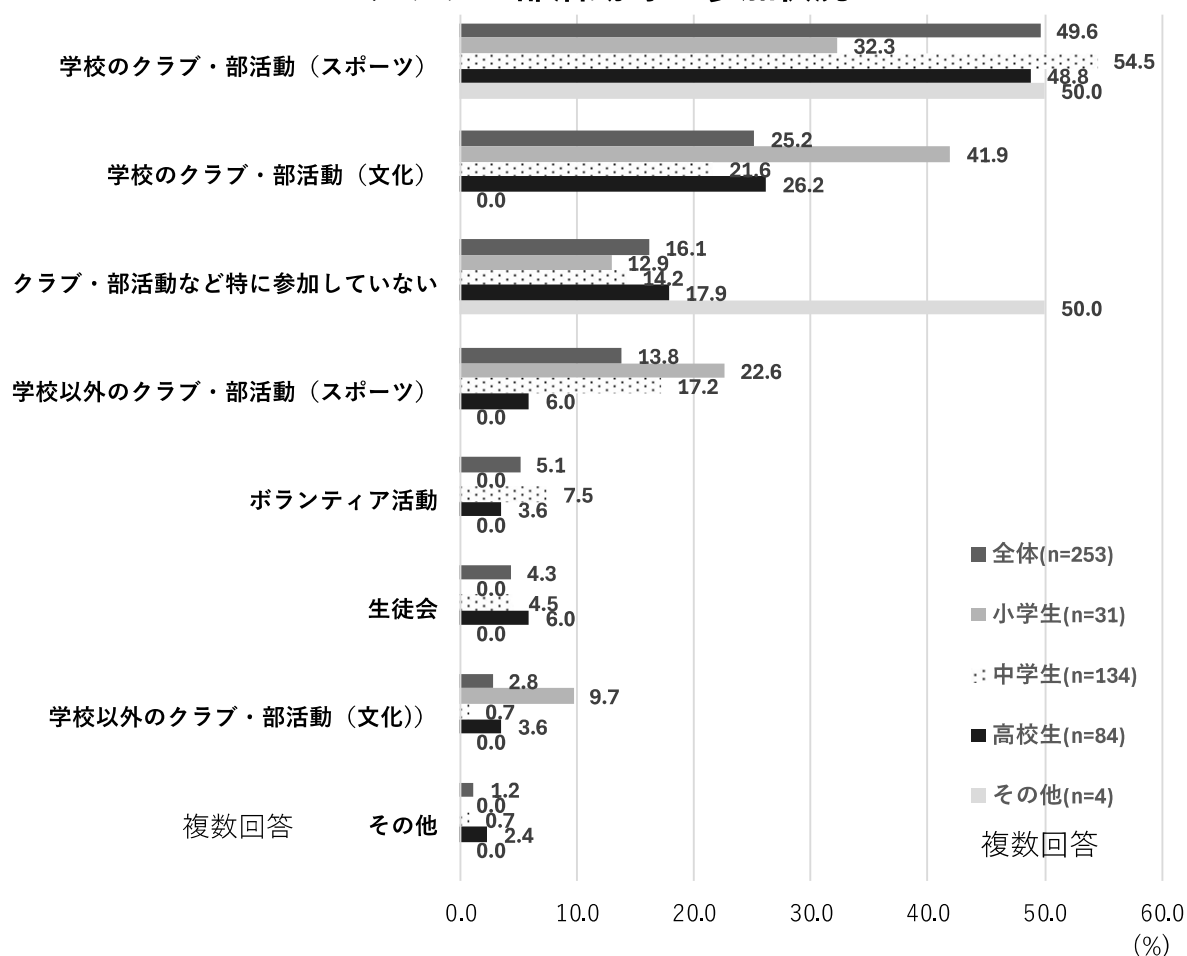
(5) クラブ・部活動等

問 17 あなたは、クラブ・部活動などについて、どのような活動に参加していますか。【○は1つ】

クラブ・部活動等の参加状況（参加しているもの）については、「学校のクラブ・部活動（スポーツ）」と回答した割合が 49.6%と最も高く、次いで「学校のクラブ・部活動（文化）」が 25.2%、「クラブ・部活動など特に参加していない」が 16.1%となっている。

在学状況別にみると、小学生では「学校のクラブ・部活動（文化）」が 41.9%と最も高い。

クラブ・部活動等の参加状況

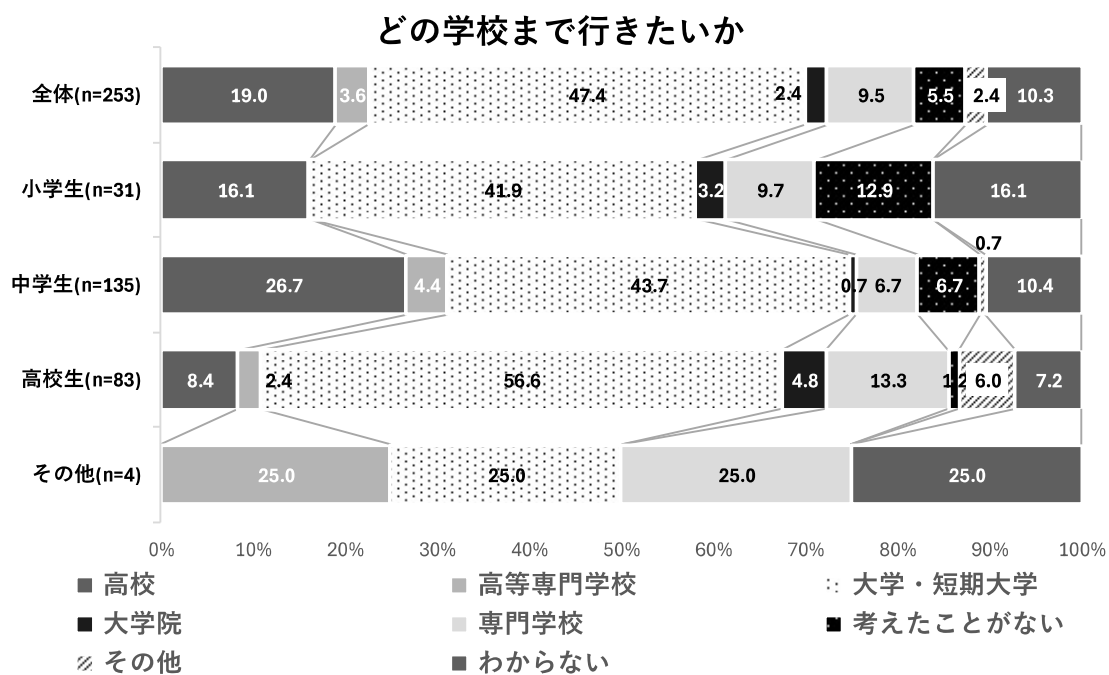


(6) 進学について

問 18 あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか。【○は1つ】

将来の進学（進みたい学校）については、「大学・短期大学」と回答した割合が 47.4%、「高校」が 19.0%となっている。

在学状況別にみると、高校生では「大学・短期大学」と回答した割合が 56.6%と、小学生や中学生を 10 ポイント超上回っている一方、中学生では「高校」が 26.7%と、高校生の 3 倍超に達している。



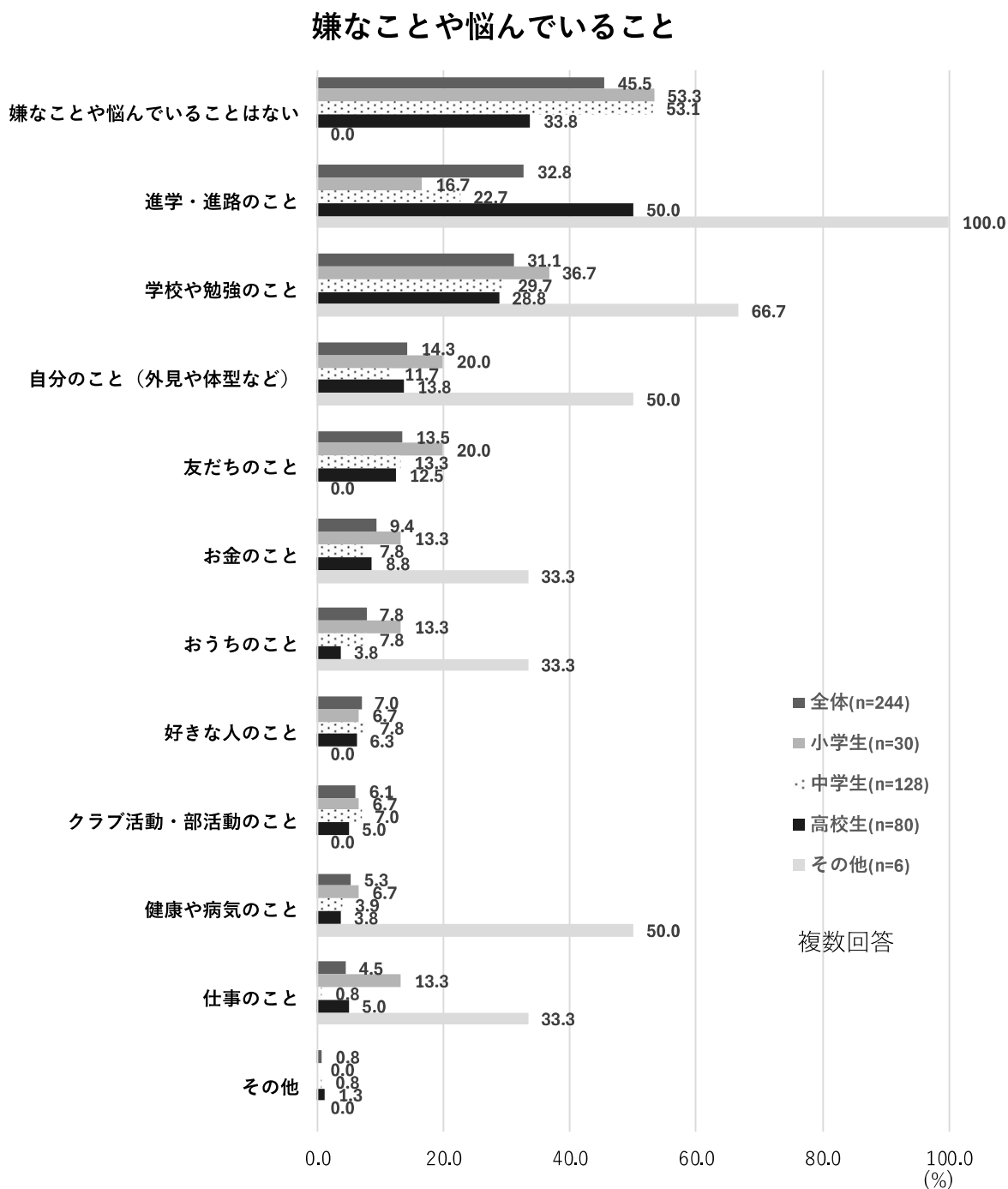
4 自分の考えや友だちなど

(1) 嫌なことや悩んでいること

問 19 今、あなたは、嫌なことや悩んでいることがありますか。【あてはまる番号全てに○】

嫌なことや悩んでいることについて尋ねたところ、「嫌なことや悩んでいることはない」と回答した割合が 45.5%と最も高くなっている。次いで「進学・進路のこと」が 32.8%、「学校や勉強のこと」が 31.1%、「自分のこと（外見や体型など）」が 14.3%となっている。

「嫌なことや悩んでいることはない」以外の回答を在学状況別にみると、小学生と中学生は「学校や勉強のこと」が最も高くなっている（小学生は 36.7%、中学生は 29.7%）一方、高校生は「進学・進路のこと」が 50.0%に達している。

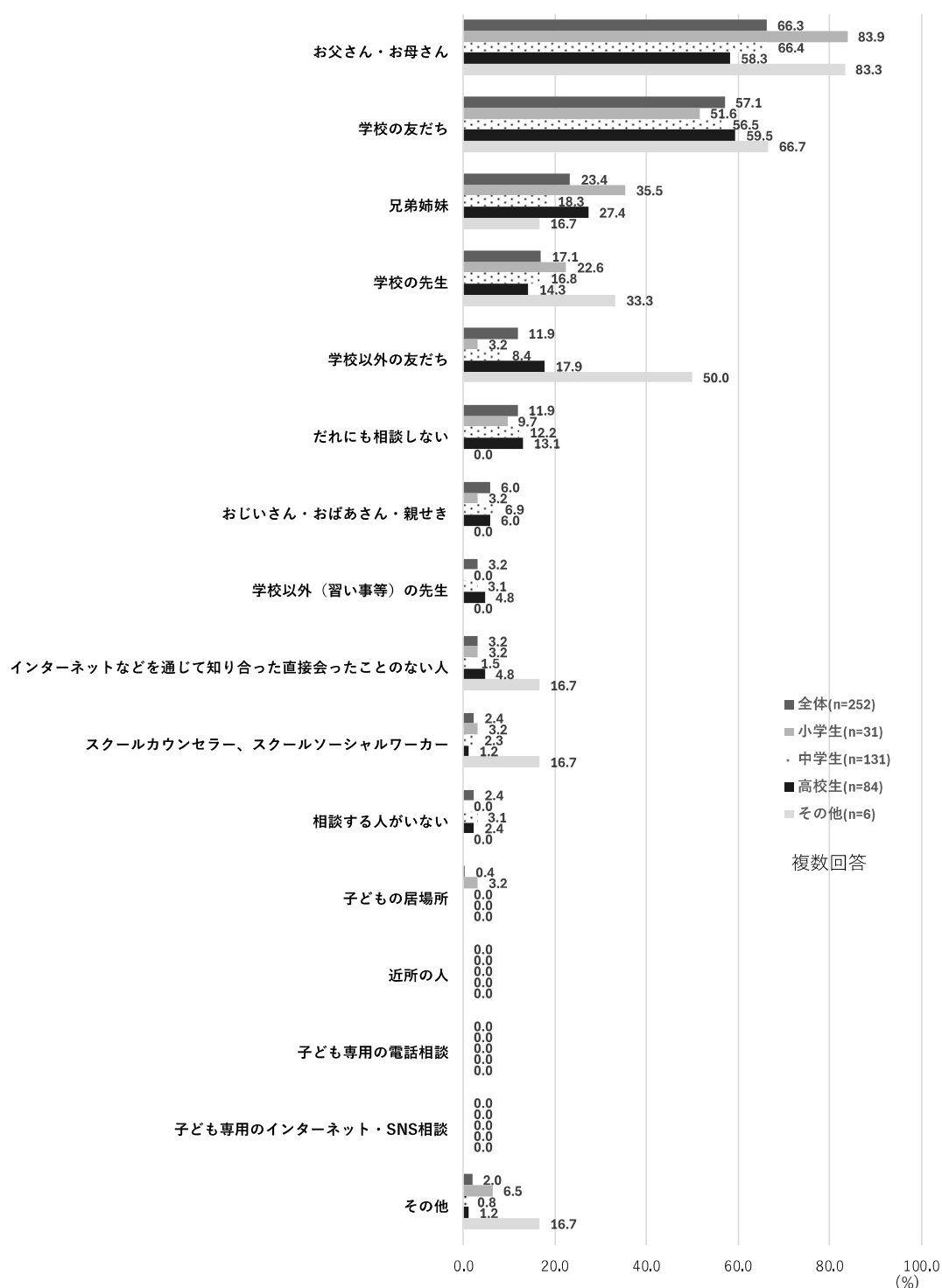


(2) 相談先

問 20 あなたは、嫌なことや悩んでいることがあるとき、誰（どこ）に相談しますか。【あてはまる番号全てに○】

嫌なことや悩んでいることがあるときの相談先については、「お父さん・お母さん」が 66.3%と最も高く、次いで「学校の友だち」が 57.1%、「兄弟姉妹」が 23.4%となっている。
在学状況別にみると、小学生では「お父さん・お母さん」が 83.9%に達しているのに対し、高校生では「学校の友だち」が 59.5%と最も高くなっている。

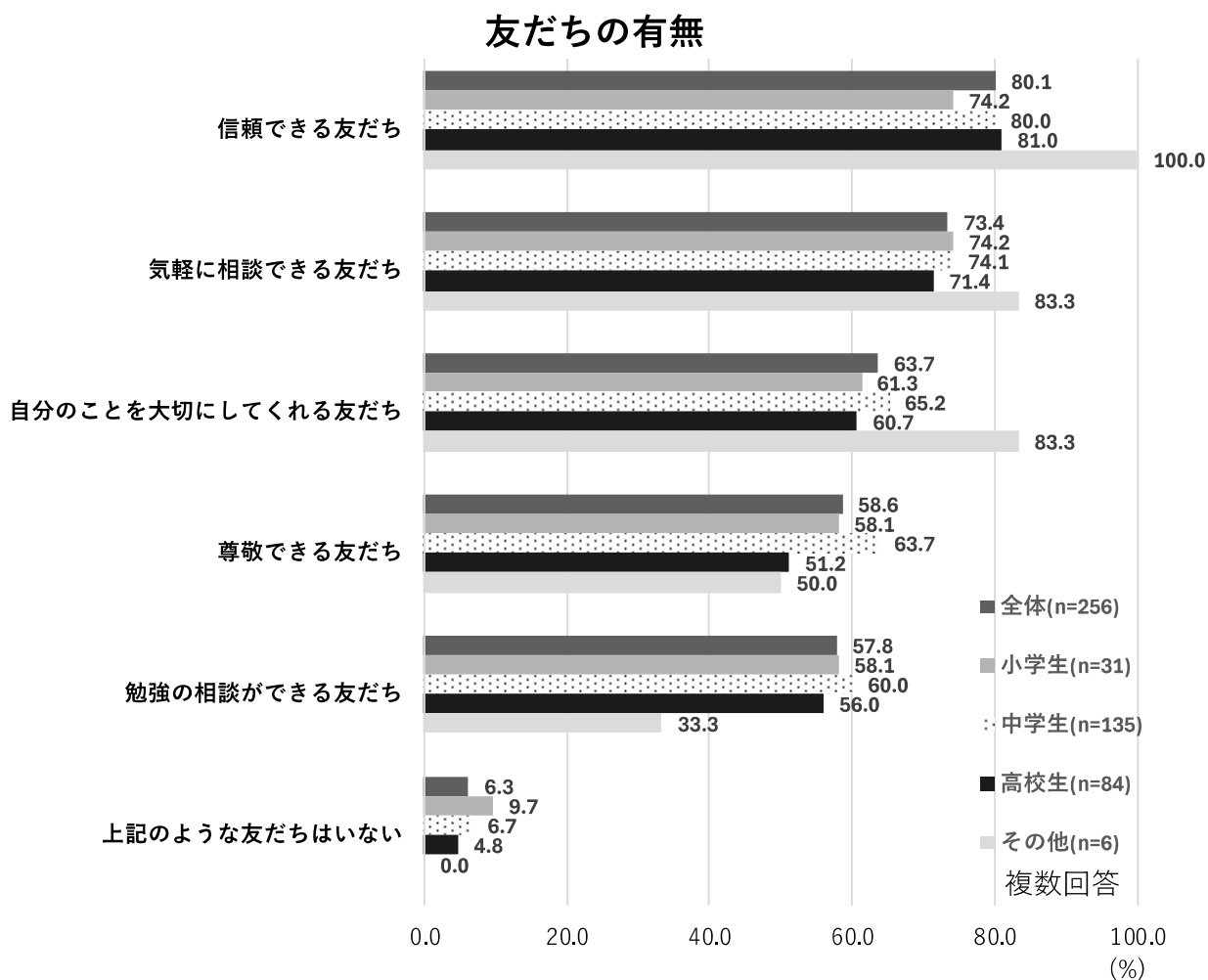
嫌なことや悩んでいることの相談先



(3) 友だちについて

問 21 あなたには、次のような友だちが周りにいますか。【あてはまる番号全てに○】

周りの友だちの状況について尋ねたところ、「信頼できる友だち」がいると回答した割合が 80.1%と最も高く、次いで「気軽に相談できる友だち」が 73.4%、「自分のことを大切にしてくれる友だち」が 63.7%となっている。

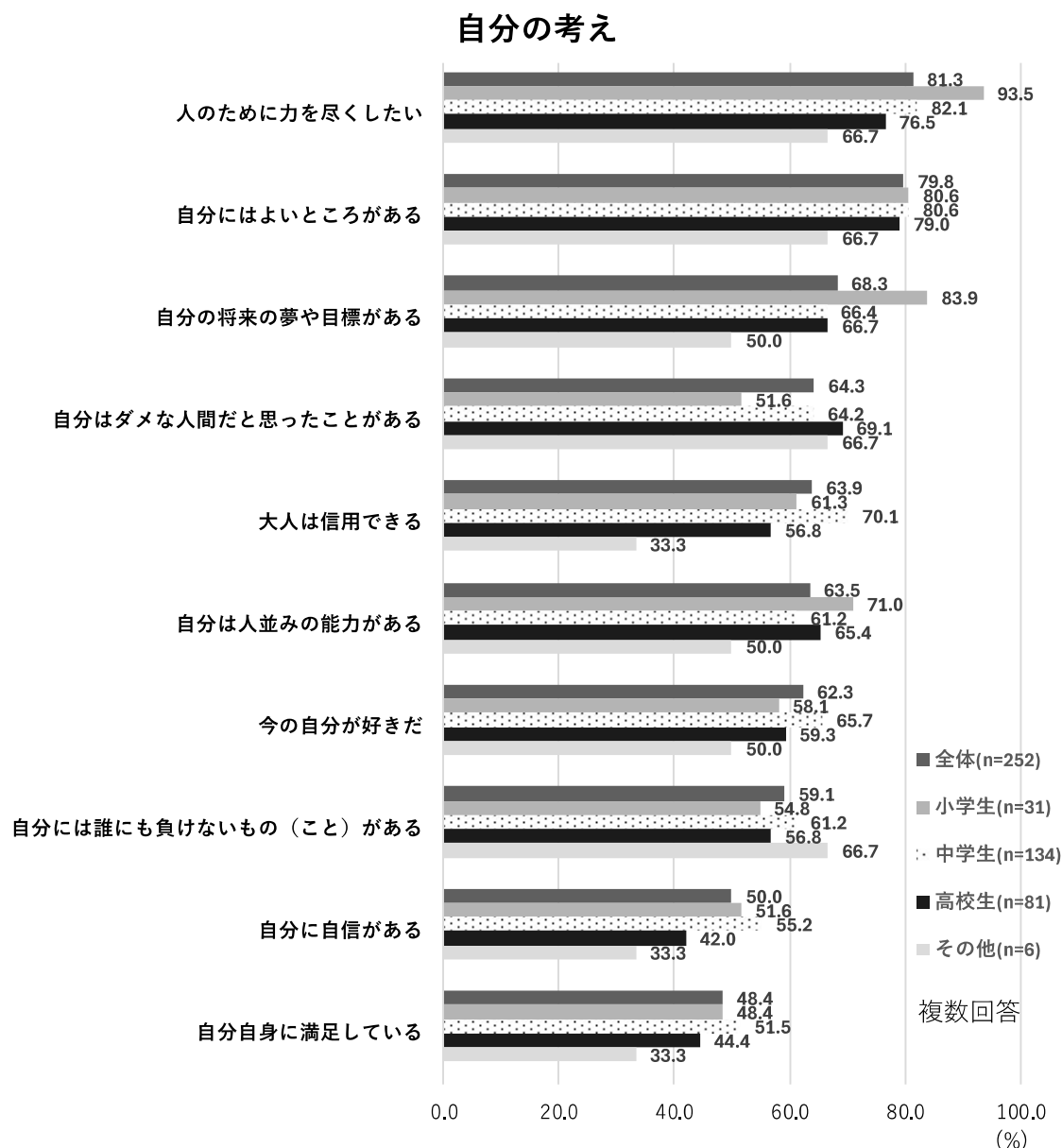


(4) 自分の考え

問 22 次のことについて、あなたがふだん考えていることを教えてください。一番あなたの気持ちに近いものを教えてください。【それぞれ○は1つ】

自分の考えについてあてはまるものを選んでもらったところ、「人のために力を尽くしたい」と回答した割合が 81.3%と最も高く、次いで「自分にはよいところがある」が 79.8%、「自分の将来の夢や目標がある」が 68.3%となっている。

在学状況別にみると、「人のために力を尽くしたい」と回答した割合は小学生で 93.5%に達しているのに対し、中学生は 82.1%、高校生は 76.5%となっている。また、「自分の将来の夢や目標がある」との回答も、小学生の 83.9%に対して中学生は 66.4%、高校生は 66.7%にとどまっている。さらに、「自分はダメな人間だと思ったことがある」の回答割合が、小学生では 51.6%であるのに対し、中学生は 64.2%、高校生は 69.1%と年齢が上がるほどに上昇しているほか、「自分に自信がある」についても、高校生では 42.0%と小学生や中学生を下回っている。

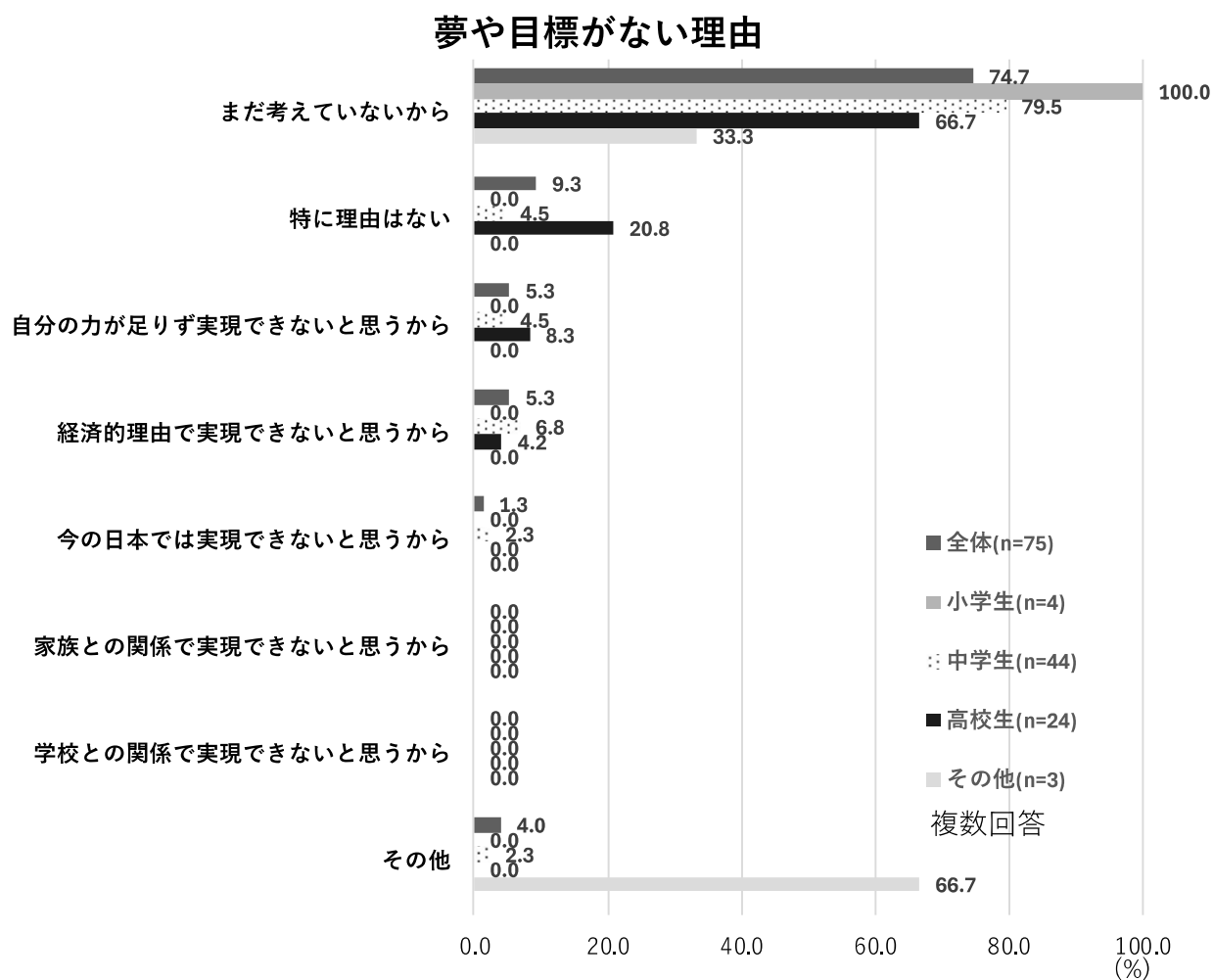


問 22 で「自分の将来の夢や目標がある」に「あてはまらない」と回答した人のみ回答

問 22-1 夢や目標がないのは、なぜですか。【○は1つ】

夢や目標がない理由については、「まだ考えていないから」と回答した割合が 74.7%と最も高くなっている。

在学状況別にみると、高校生では「特に理由はない」と回答した割合が 20.8%となっている。

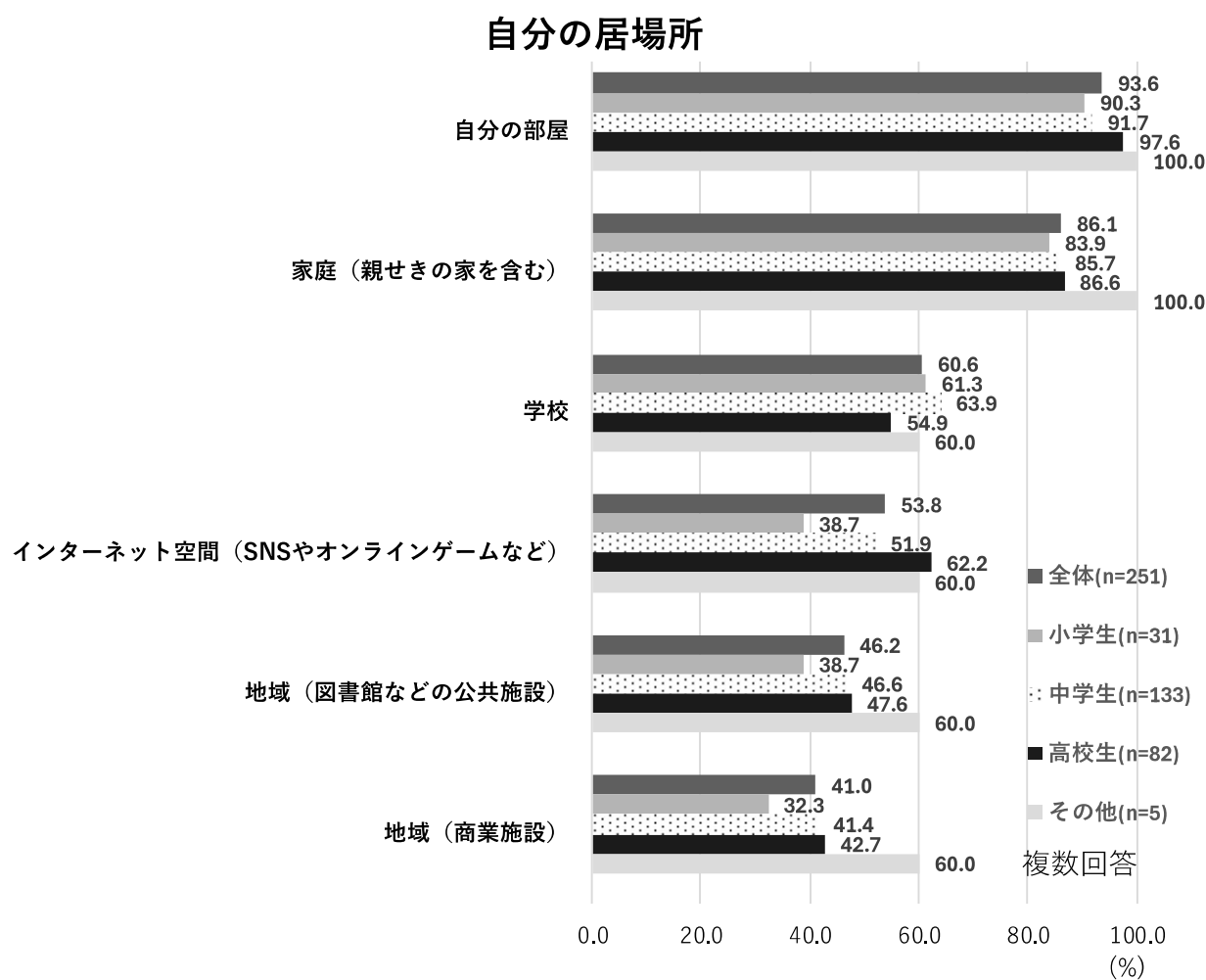


(5) 居場所

問 23 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）になっていますか。【それぞれ○は1つ】

自分の居場所について「そう思う」ものを挙げてもらったところ、「自分の部屋」と回答した割合が 93.6%と最も高く、次いで「家庭（親せきの家を含む）」が 86.1%、「学校」が 60.6%となっている。

在学状況別にみると、「インターネット空間（SNS やオンラインゲームなど）」と回答した割合が、小学生では 38.7%であるのに対し、中学生では 51.9%、高校生では 62.2%と年齢が上がるにつれて上昇し、高校生については学校（54.9%）を上回っている。

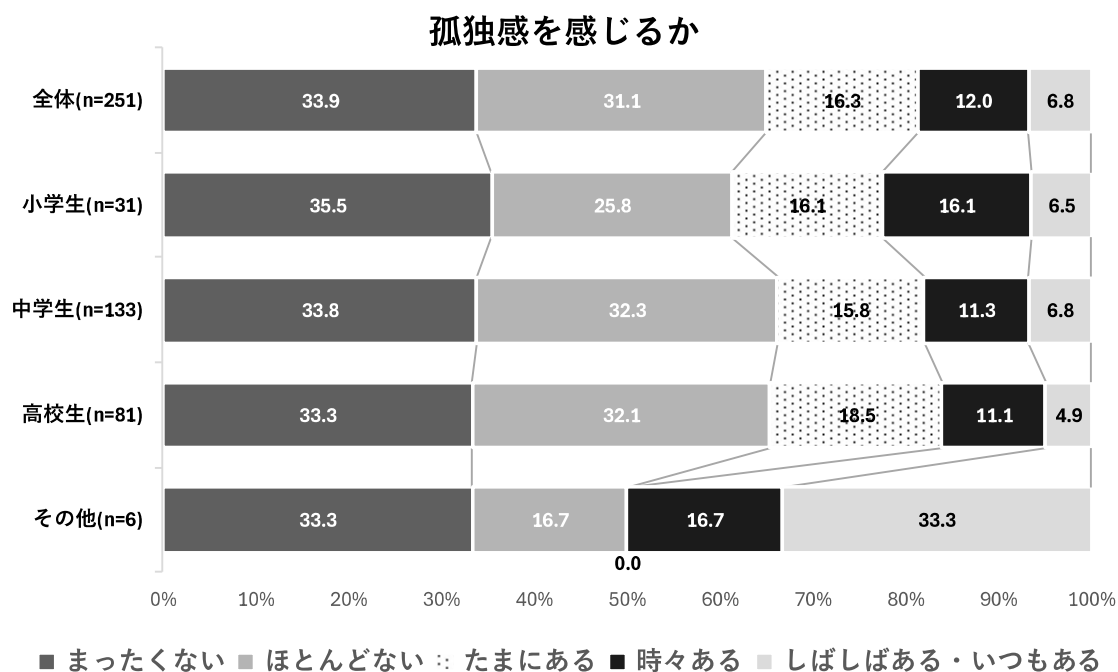


(6) 孤独感

問 24 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。【○は1つ】

孤独感を感じるかについて尋ねたところ、「まったくない」と回答した割合が 33.9%、「ほとんどない」が 31.1%となっており、合計で6割を超えている。

在学状況別にみると、小学生では「たまにある」、「時々ある」、「しばしばある・いつもある」の合計が約4割と、中学生や高校生を上回っている。



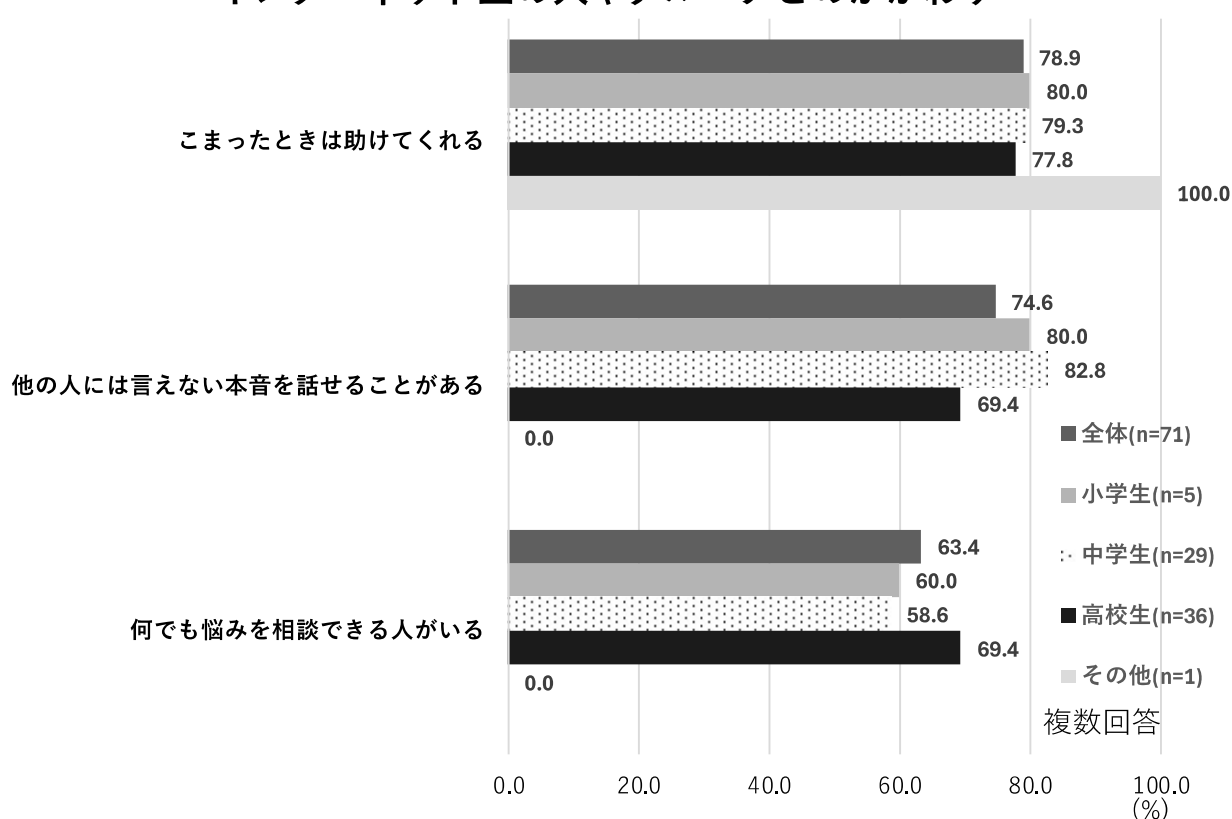
(7) インターネット上のかかわり

問 25 インターネット上における人やグループ（実際には会ったことがなかったり、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ）と、あなたとのかかわりは、どのようなものですか。【それぞれ○は1つ】

インターネット上の人やグループとのかかわりについては、「こまったときは助けてくれる」と回答した割合が 78.9%と最も高く、次いで「他の人には言えない本音を話せることがある」が 74.6%、「何でも悩みを相談できる人がある」が 63.4%となっている。

在学状況別にみると、「何でも悩みを相談できる人がある」と回答した割合は高校生で 69.4%と、小学生や中学生を 10 ポイント程度上回っている。

インターネット上の人やグループとのかかわり

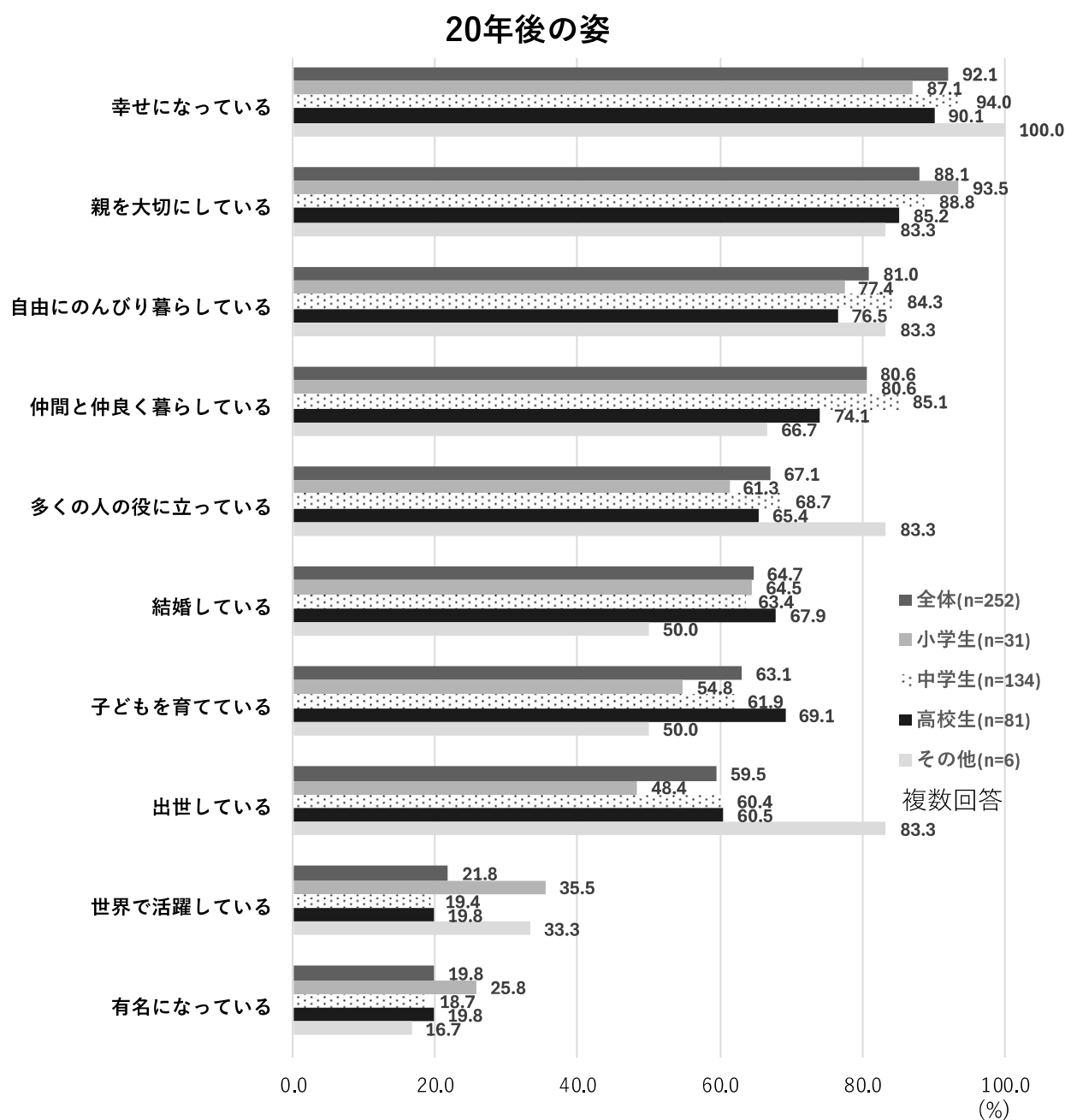


(8) 20 年後の姿

問 26 あなたは 20 年後、どのようになりたいと思いますか。【それぞれ○は 1 つ】

20 年後の姿について「そう思う」ものを挙げてもらったところ、「幸せになっている」と回答した割合が 92.1%と最も高く、次いで「親を大切にしている」が 88.1%、「自由にのんびり暮らしている」が 81.0%となっている。これに対し「世界で活躍している」(21.8%)や「有名になっている」(19.8%)はいずれも 2 割前後にとどまった。

在学状況別にみると、「子どもを育てている」と回答した割合が高校生では 69.1%と、小学生を 15 ポイント程度、中学生を 10 ポイント近く上回った。また、「世界で活躍している」については小学生で 35.5%に達したのに対し、中学生と高校生は約 2 割にとどまった。

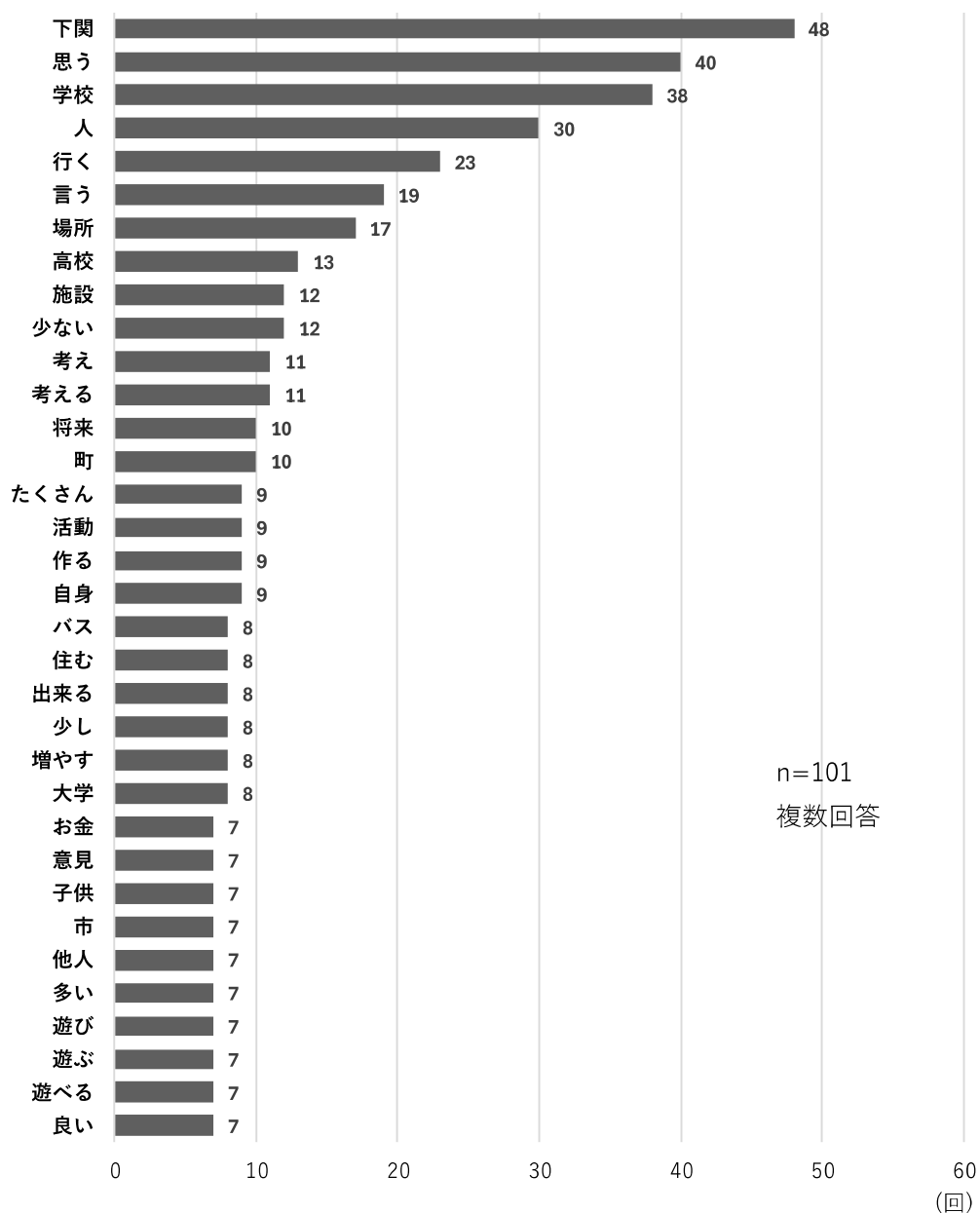


5 意見など

下関市に対する意見や生活で感じていること、将来の考えなどについて、自由記述欄において、合計 101 件の記載があった。これらの意見等について、テキストマイニングの手法により、出現頻度の高い語句を抽出したところ、以下のとおりとなった。

結果をみると、「下関」の他には、「学校」や「高校」といった言葉に加えて、「場所」「施設」や「将来」といった語句の出現回数が多かった。

12～17歳からの意見における
出現頻度の高い語句（上位30件）



結果をみると、「下関」と「行く」、「遊び」、「遊ぶ」や「福岡」、「街」と語句、さらには「場所」と「遊べる」の関係が強く、娯楽施設に関するニーズが示されている。他には、「大学」と「進学」、「お金」との関係、及び「少ない」と「バス」、「本数」といった語句との関係が特徴的である。

The graph is a complex network of nodes and edges. Nodes are represented by circles of varying sizes and shades of gray, indicating different levels of importance or frequency. The labels are in Japanese. The graph shows a dense web of relationships between various concepts. Key clusters include:

- Top Left:** A cluster of nodes including '町' (town), '市' (city), '将来' (future), 'お金' (money), '進学' (advance studies), '卒業' (graduation), '大学' (university), '住む' (live), '良い' (good), '環境' (environment), '安心' (peace of mind), '勉強' (study), '学生' (student), '生活' (life), '感じる' (feel), '観光' (tourism), '楽しい' (fun), '唐戸' (Kamogata), '人数' (number of people), 'バス' (bus), '少ない' (few).
- Top Right:** A cluster of nodes including '増やす' (increase), '時間' (time), '移動' (move), '無料' (free), '高校生' (high school student), '通学' (commute), '場所' (place), '遊べる' (playable), '街' (street), '福岡' (Fukuoka), '遊ぶ' (play), '遊ぶ' (play), '行く' (go), '学校' (school), '下関' (Shimonoseki), '思う' (think), '友達' (friend), '多い' (many), '施設' (facility), '気軽' (casual), '来る' (come), 'たくさん' (many), '今' (now), '自分' (self), '地震' (earthquake), '生きる' (live), '大切' (important), '考える' (think), '環境' (environment), '安心' (peace of mind).
- Bottom Left:** A cluster of nodes including '夢' (dream), '就職' (job), '福岡' (Fukuoka), '遊ぶ' (play), '遊ぶ' (play), '行く' (go), '学校' (school), '下関' (Shimonoseki), '思う' (think), '友達' (friend), '多い' (many), '施設' (facility), '気軽' (casual), '来る' (come), 'たくさん' (many), '今' (now), '自分' (self), '地震' (earthquake), '生きる' (live), '大切' (important), '考える' (think), '環境' (environment), '安心' (peace of mind).
- Bottom Right:** A cluster of nodes including '人' (person), '来る' (come), 'たくさん' (many), '今' (now), '自分' (self), '地震' (earthquake), '生きる' (live), '大切' (important), '考える' (think), '環境' (environment), '安心' (peace of mind).

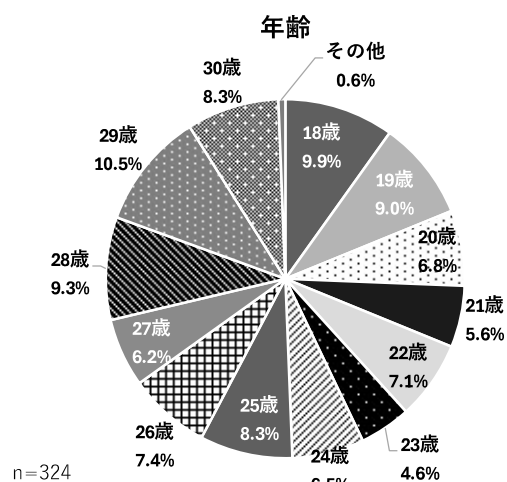
The graph is a complex network of nodes and edges. Nodes are represented by circles of varying sizes and shades of gray, indicating different levels of importance or frequency. The labels are in Japanese. The graph shows a dense web of relationships between various concepts. Key clusters include:

- Top Left:** A cluster of nodes including '町' (town), '市' (city), '将来' (future), 'お金' (money), '進学' (advance studies), '卒業' (graduation), '大学' (university), '住む' (live), '良い' (good), '環境' (environment), '安心' (peace of mind), '勉強' (study), '学生' (student), '生活' (life), '感じる' (feel), '観光' (tourism), '楽しい' (fun), '唐戸' (Kamogata), '人数' (number of people), 'バス' (bus), '少ない' (few).
- Top Right:** A cluster of nodes including '増やす' (increase), '時間' (time), '移動' (move), '無料' (free), '高校生' (high school student), '通学' (commute), '場所' (place), '遊べる' (playable), '街' (street), '福岡' (Fukuoka), '遊ぶ' (play), '遊ぶ' (play), '行く' (go), '学校' (school), '下関' (Shimonoseki), '思う' (think), '友達' (friend), '多い' (many), '施設' (facility), '気軽' (casual), '来る' (come), 'たくさん' (many), '今' (now), '自分' (self), '地震' (earthquake), '生きる' (live), '大切' (important), '考える' (think), '環境' (environment), '安心' (peace of mind).
- Bottom Left:** A cluster of nodes including '夢' (dream), '就職' (job), '福岡' (Fukuoka), '遊ぶ' (play), '遊ぶ' (play), '行く' (go), '学校' (school), '下関' (Shimonoseki), '思う' (think), '友達' (friend), '多い' (many), '施設' (facility), '気軽' (casual), '来る' (come), 'たくさん' (many), '今' (now), '自分' (self), '地震' (earthquake), '生きる' (live), '大切' (important), '考える' (think), '環境' (environment), '安心' (peace of mind).
- Bottom Right:** A cluster of nodes including '人' (person), '来る' (come), 'たくさん' (many), '今' (now), '自分' (self), '地震' (earthquake), '生きる' (live), '大切' (important), '考える' (think), '環境' (environment), '安心' (peace of mind).

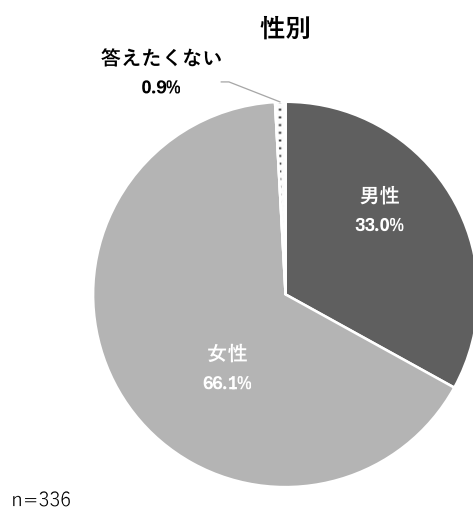
VI 調査結果（18～30 歳）

1 属性

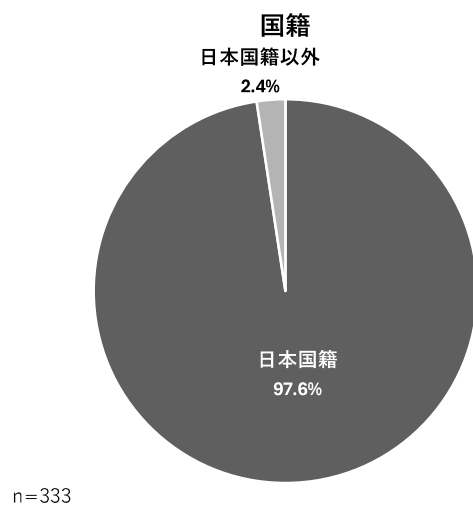
(1) 年齢



(2) 性別

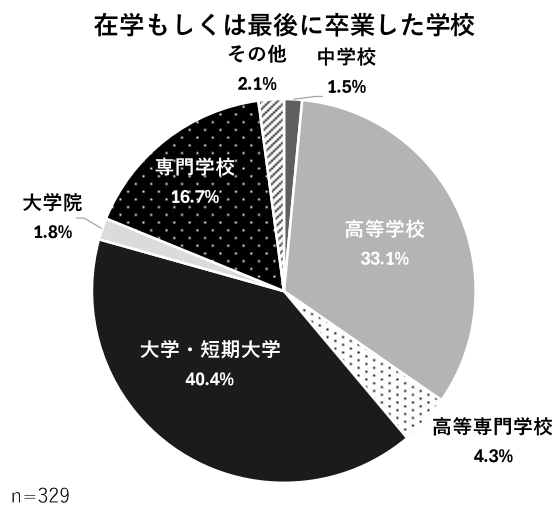


(3) 国籍

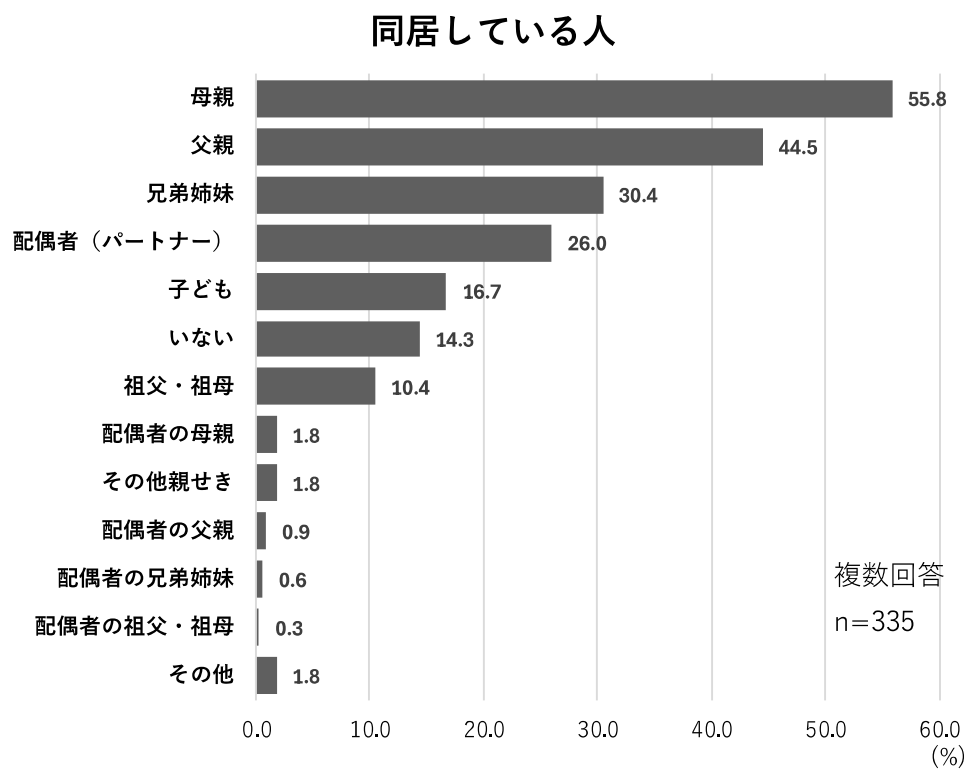


* 日本国籍以外の具体的な内容
ベトナム（2名）、ネパール（2名）、
中国、インドネシア、フィリピン、ミャンマー

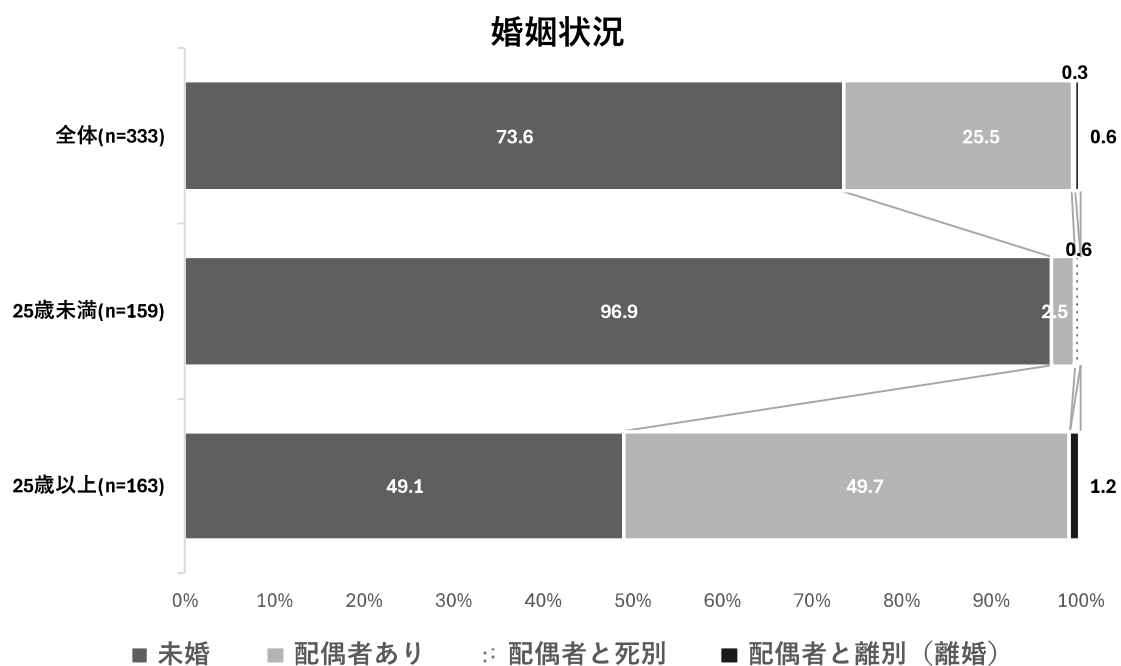
(4) 在学もしくは最後に卒業した学校



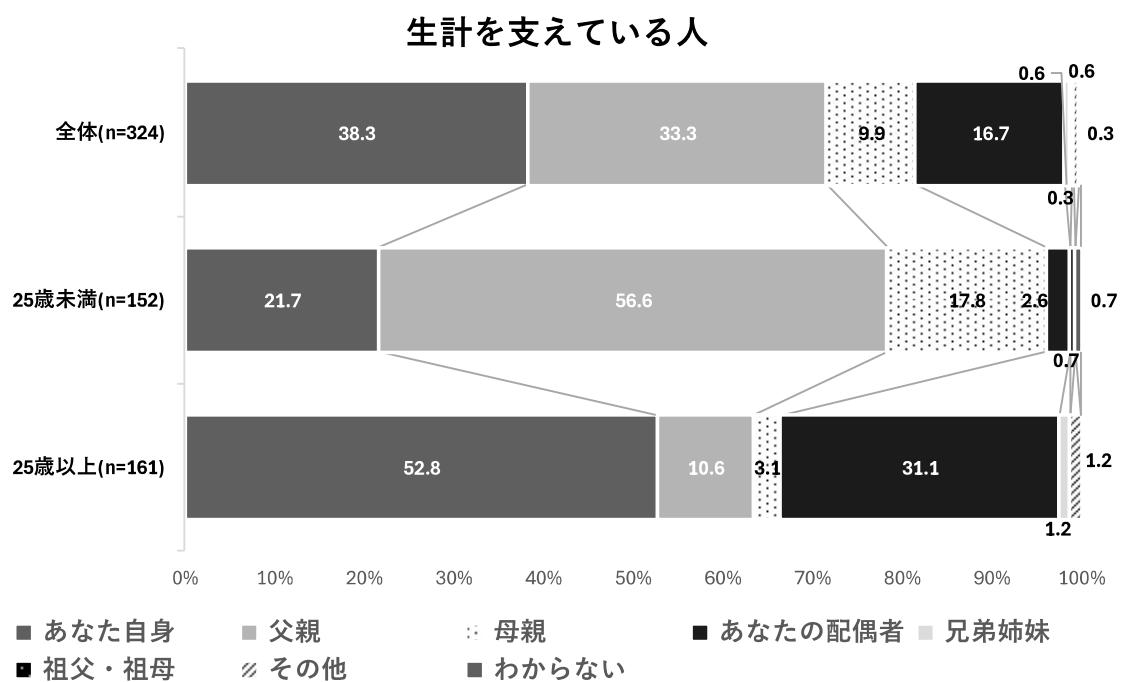
(5) 同居している人



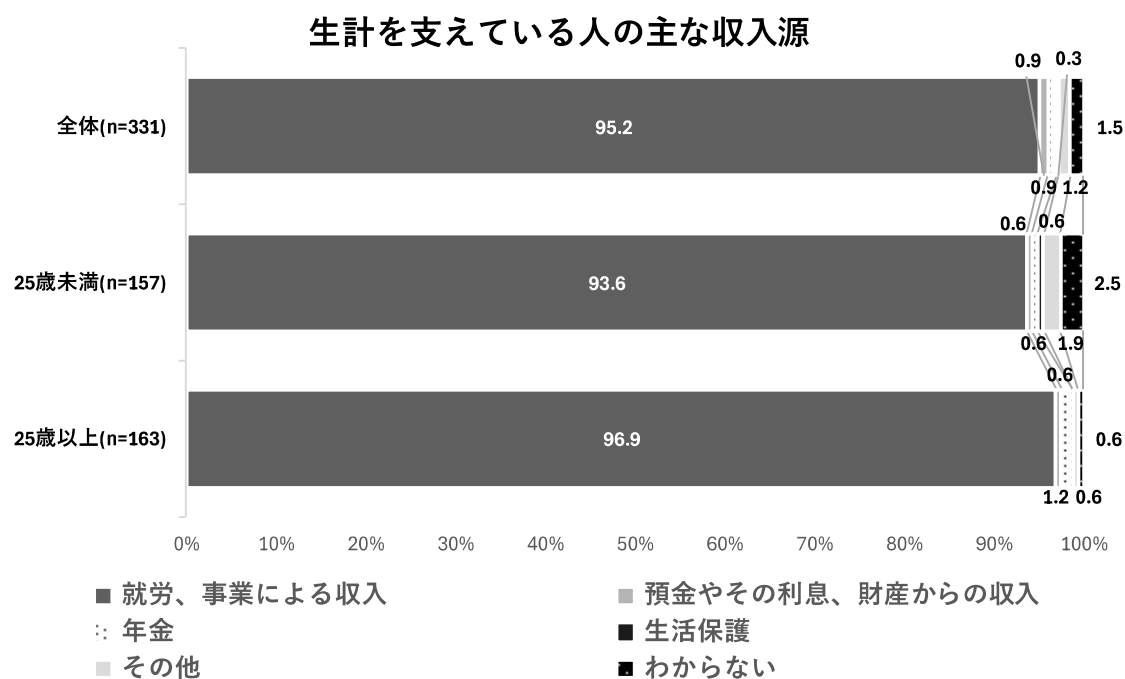
(6) 婚姻状況



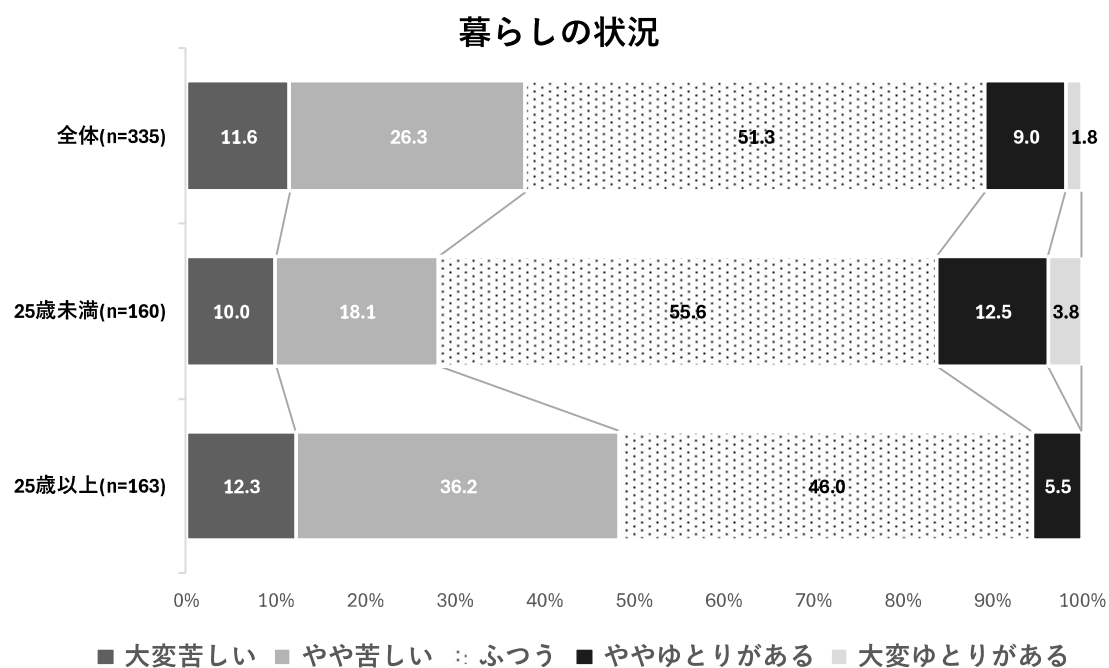
(7) 生計を支えている人



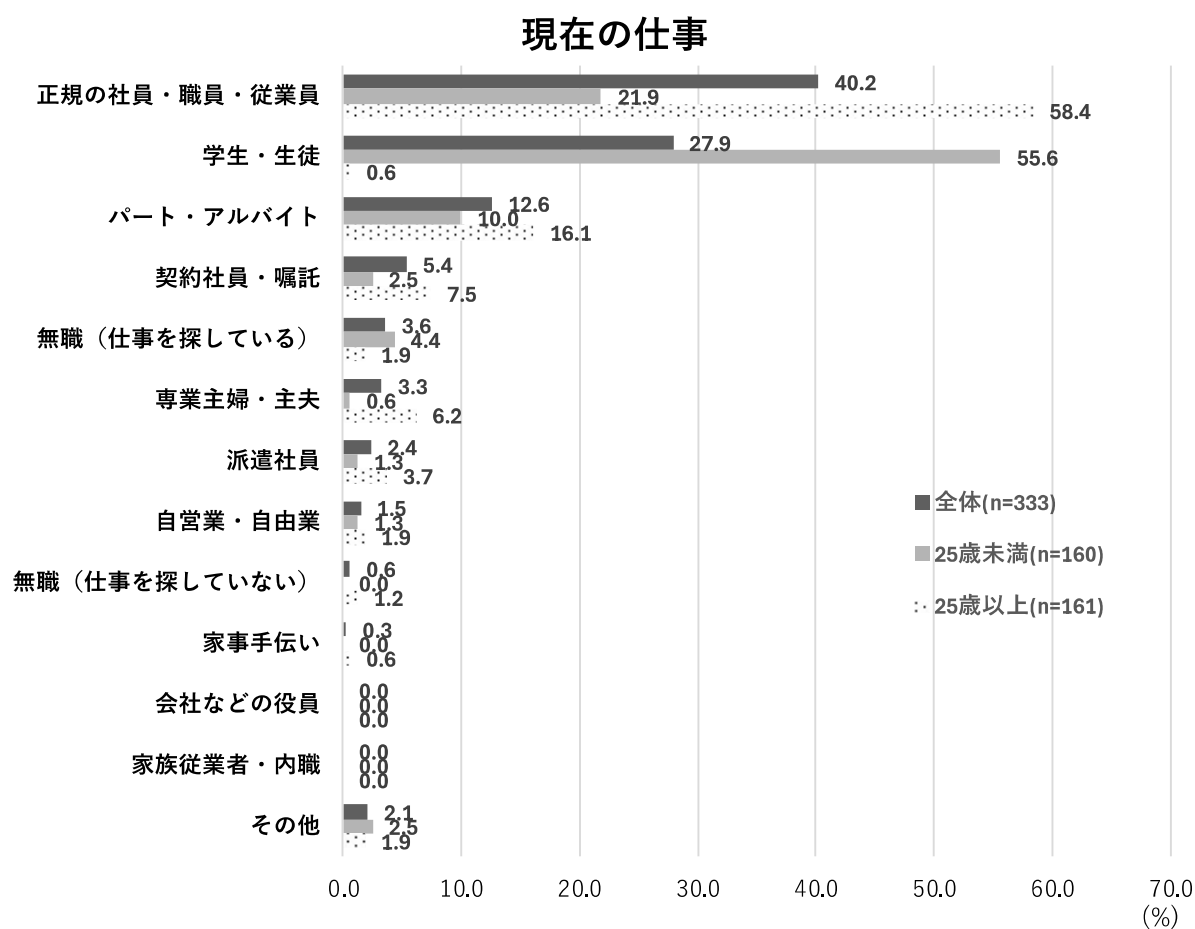
(8) 生計を支えている人の主な収入源



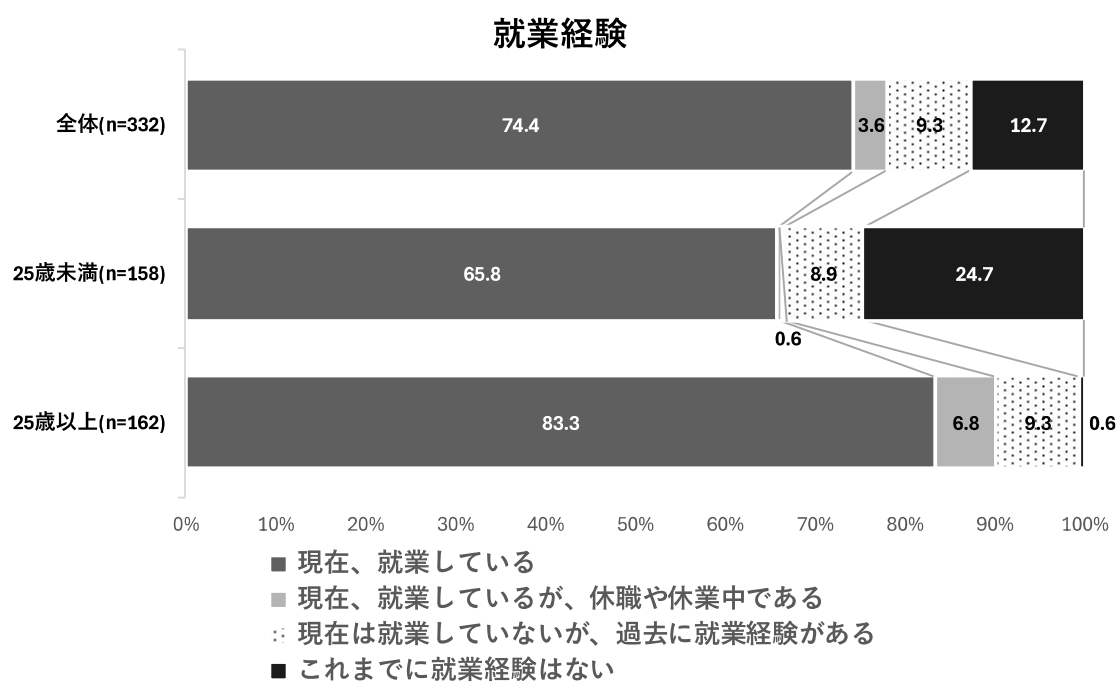
(9) 暮らしの状況



(10) 現在の仕事



(11) 就業経験

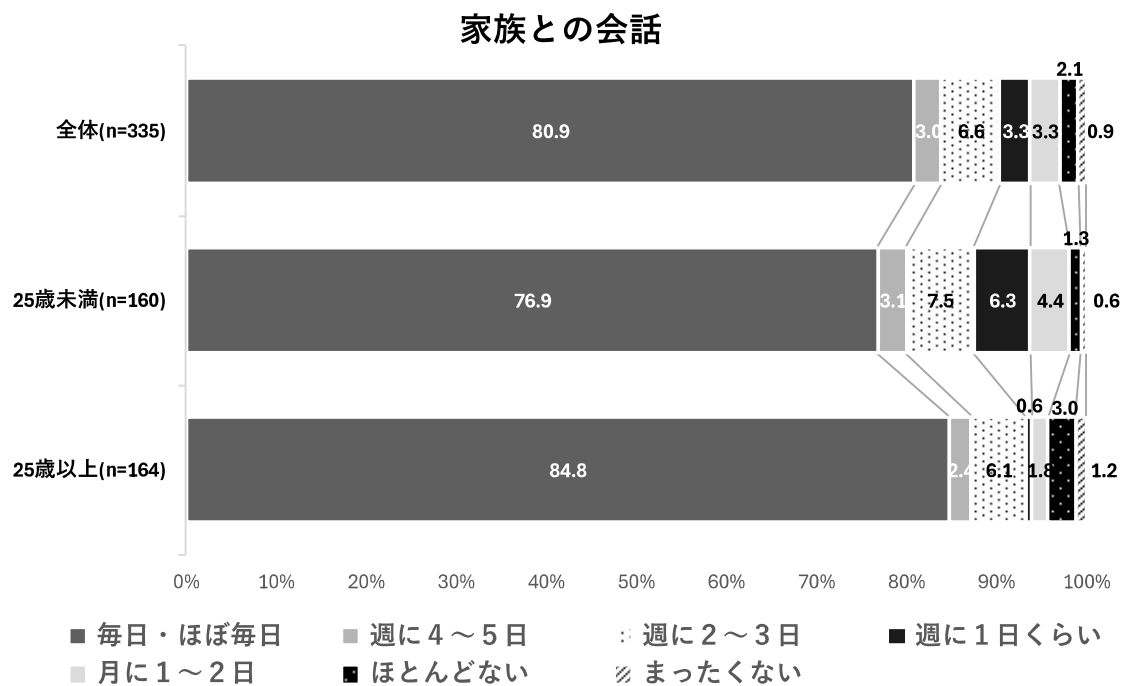


2 家庭生活

(1) 家族との会話

問 12 あなたは、家族との会話がどれくらいありますか。【〇は1つ】

家族との会話については、「毎日・ほぼ毎日」と回答した割合が80.9%となっている。
年齢別にみると、25歳未満で「毎日・ほぼ毎日」が76.9%と、25歳以上より割合が低くなっている。

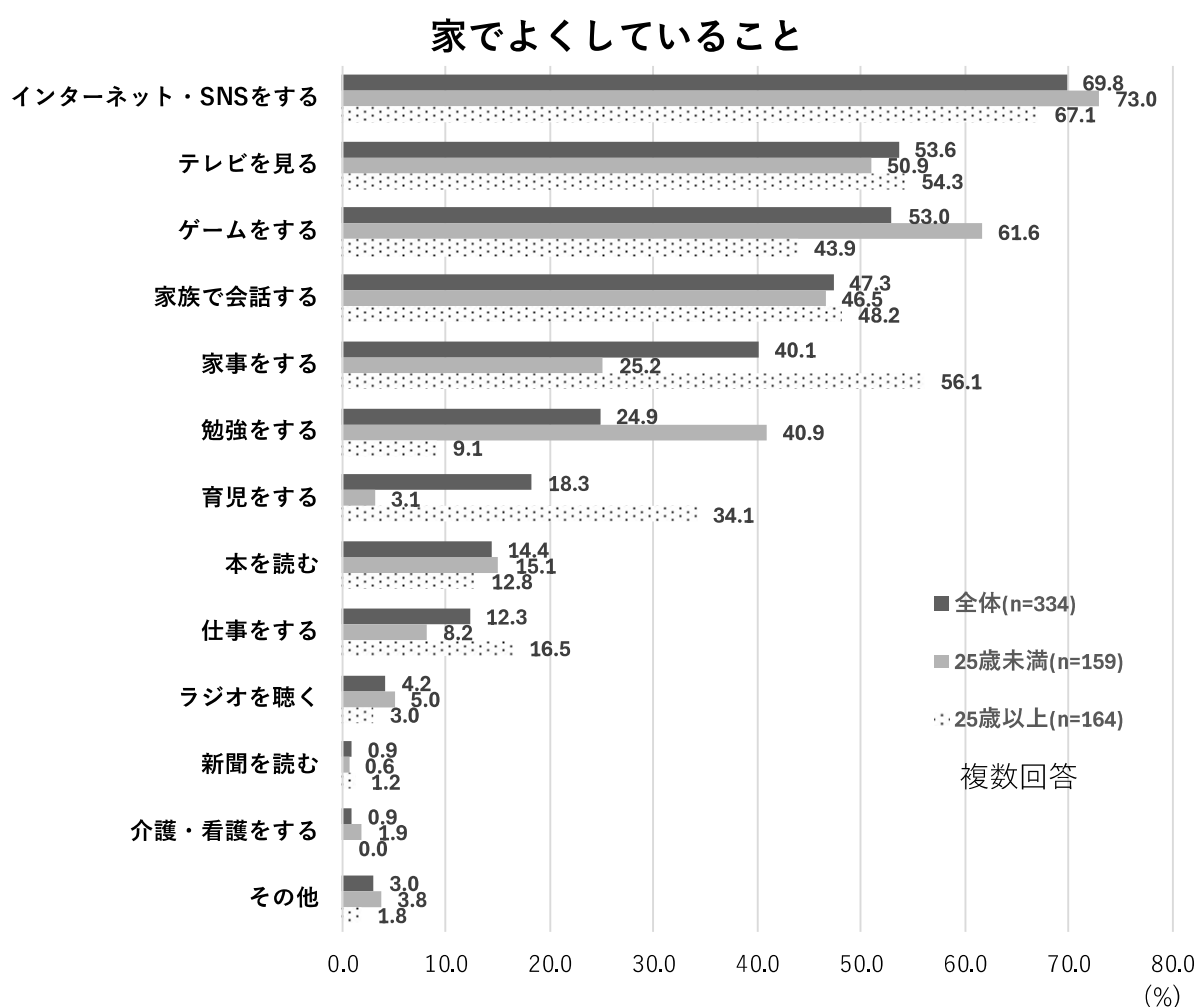


(2) 家でよくしていること

問 13 あなたは、普段家（暮らしている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。よくしていることを全て選んでください。【あてはまる番号全てに○】

家でよくしていることについては、「インターネット・SNS をする」と回答した割合が 69.8%と最も高く、次いで「テレビを見る」が 53.6%、「ゲームをする」が 53.0%となっている。

年齢別にみると、25 歳未満では「ゲームをする」が 61.6%と 2 番目に多い一方、25 歳以上では「家事をする」が 56.1%と 2 番目に多くなっているほか、「育児をする」が 34.1%に達している。

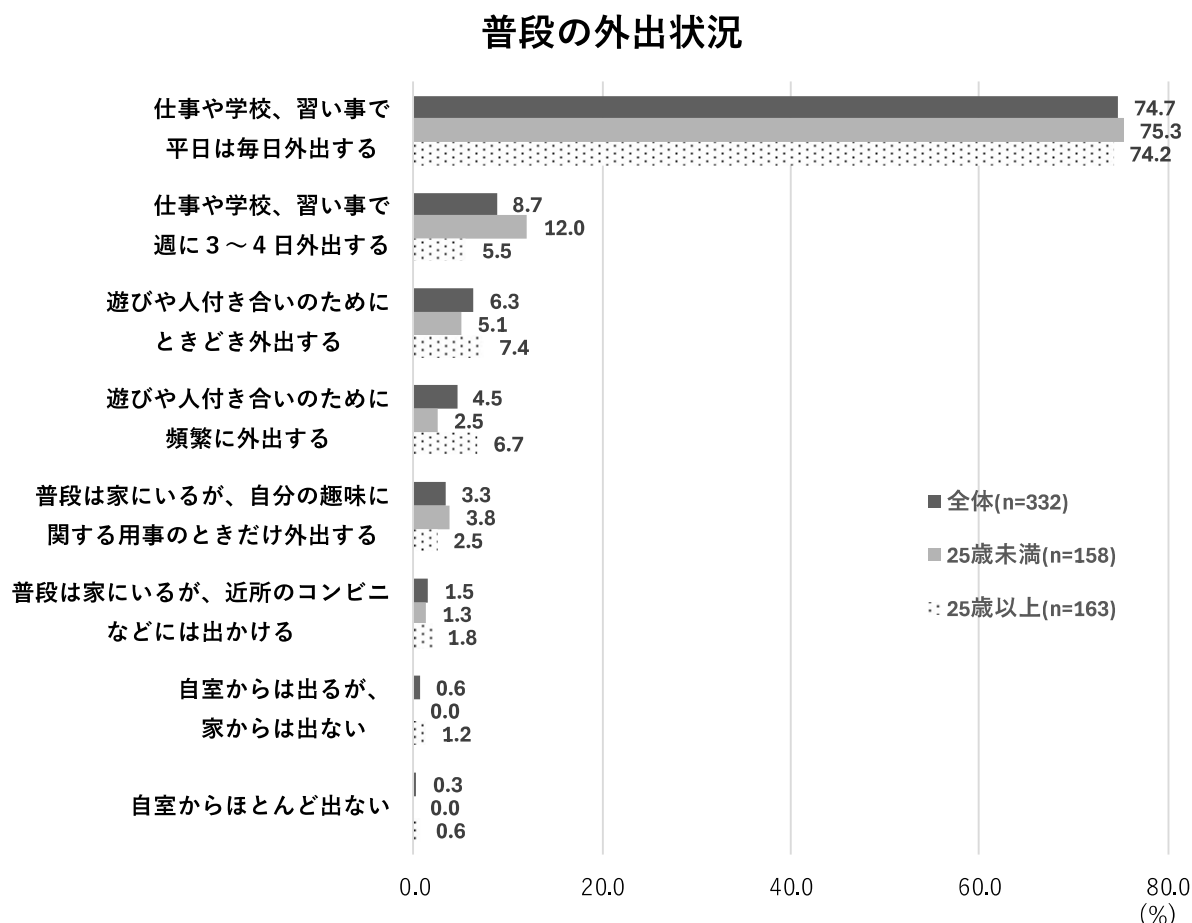


(3) 普段の外出状況

問 14 あなたは普段どのくらい外出しますか。【〇は1つ】

普段の外出状況については、「仕事や学校、習い事で平日は毎日外出する」と回答した割合が74.7%と最も高くなっている。

年齢別にみると、大きな差はみられない。



問 14 で「5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」から「8. 自室からほとんど出ない」と回答した人のみ回答

問 14-1 あなたの外出状況が今のようになってから、どのくらいたちますか。【〇は1つ】

該当者 18 名に外出状況が今のようになってからの期間を尋ねたところ、「1 年～2 年未満」が4 名と最も多く、次いで「3 か月未満」、「3 年～5 年未満」、「5 年～7 年未満」がいずれも3 名、「3 か月～6 か月未満」、「6 か月～1 年未満」、「2 年～3 年未満」、「7 年～10 年未満」、「15 年～20 年未満」がいずれも1 名となっている。

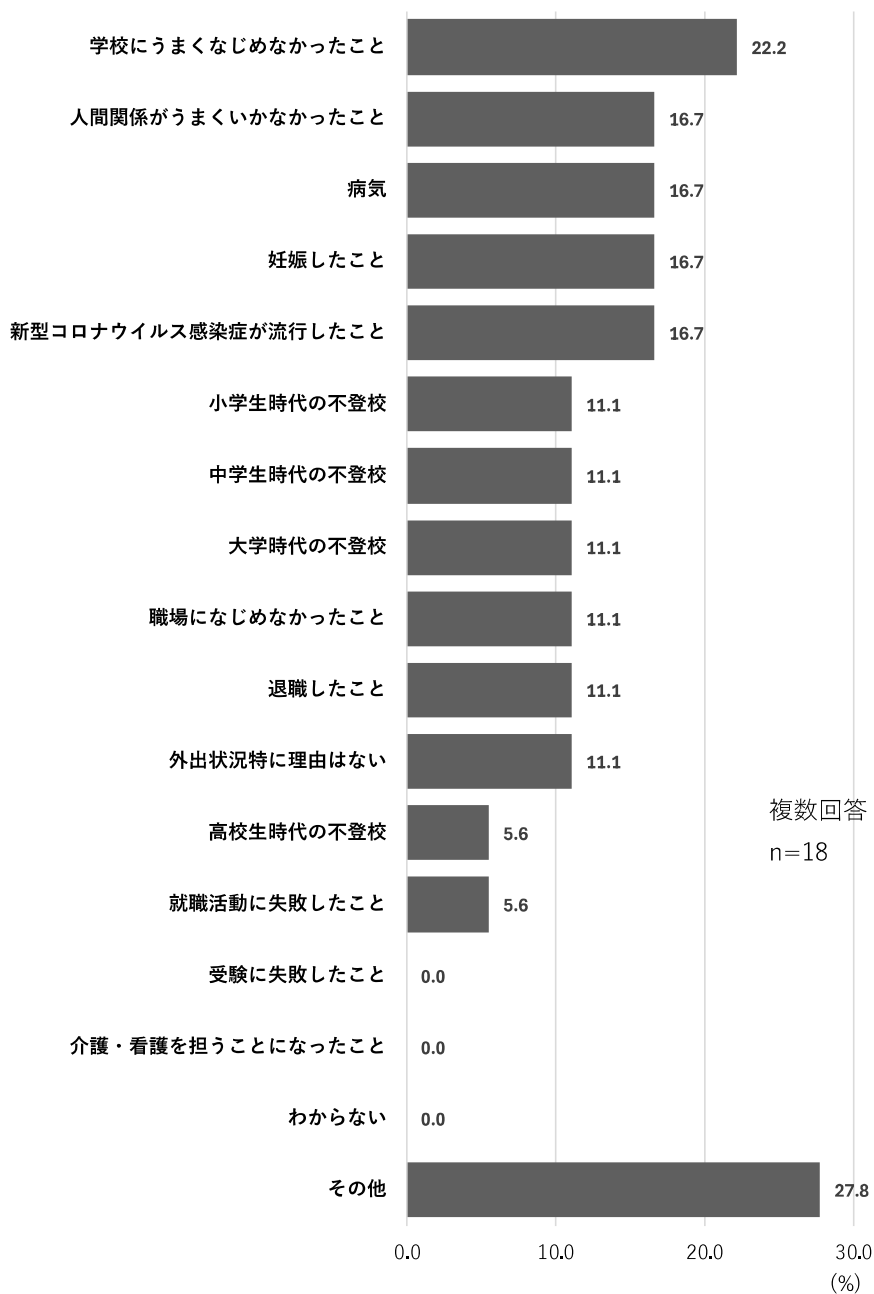
問 14-2 あなたの外出状況が今ようになったのは、何歳の頃ですか。

外出状況が今ようになった年齢については、「20 歳」が5 名と最も多く、次いで「18 歳」と「28 歳」が3 名、「21 歳」と「26 歳」が2 名、「3 歳」と「19 歳」が1 名となっている。

問 14-3 あなたの外出状況が今ようになった主な理由は何ですか。【あてはまる番号全てに○】

外出状況が今ようになった理由については、「その他」の 27.8%（5 名）を除くと「学校にうまくなじめなかったこと」が 22.2%（6 名）と最も多くなっている。

外出状況が今ようになった理由



問 14-4 あなたの外出状況が今ようになった最も大きな理由は何ですか。問 14-3 の答えの中から、番号を 1 つだけ選んでください。【数字を記入】

外出状況が今ようになった最大の理由については、「妊娠したこと」が 3 名と最も多くなっている。

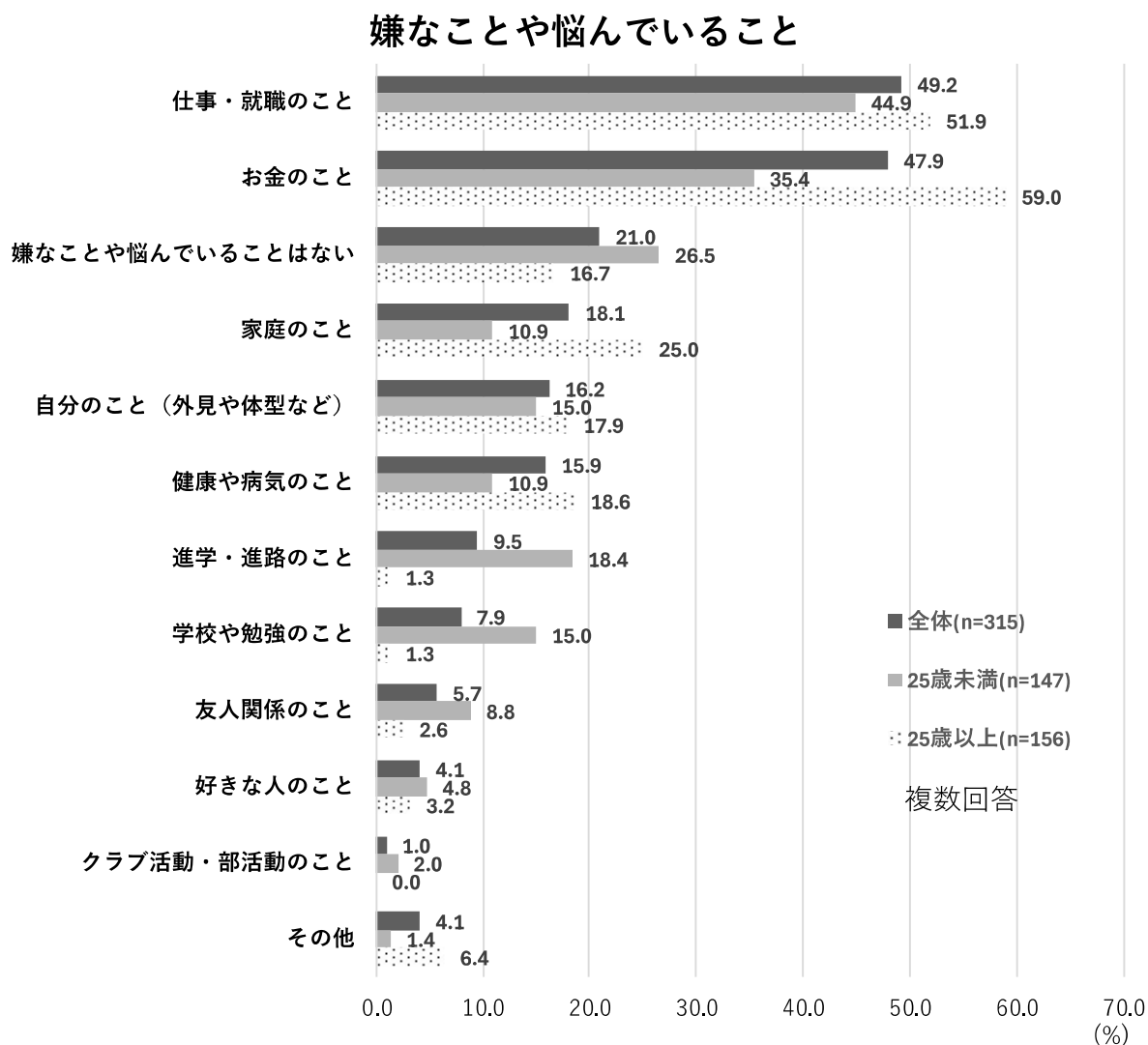
3 自分の考えなど

(1) 嫌なことや悩んでいること

問 15 今、あなたは、嫌なことや悩んでいることがありますか。【あてはまる番号全てに○】

嫌なことや悩んでいることについて尋ねたところ、「仕事・就職のこと」と回答した割合が49.2%と最も高くなっている。次いで「お金のこと」が47.9%、「嫌なことや悩んでいることはない」が21.0%、「家庭のこと」が18.1%となっている。

「嫌なことや悩んでいることはない」以外の回答を年齢別にみると、25歳以上では「お金のこと」が59.0%と最も高くなっている。

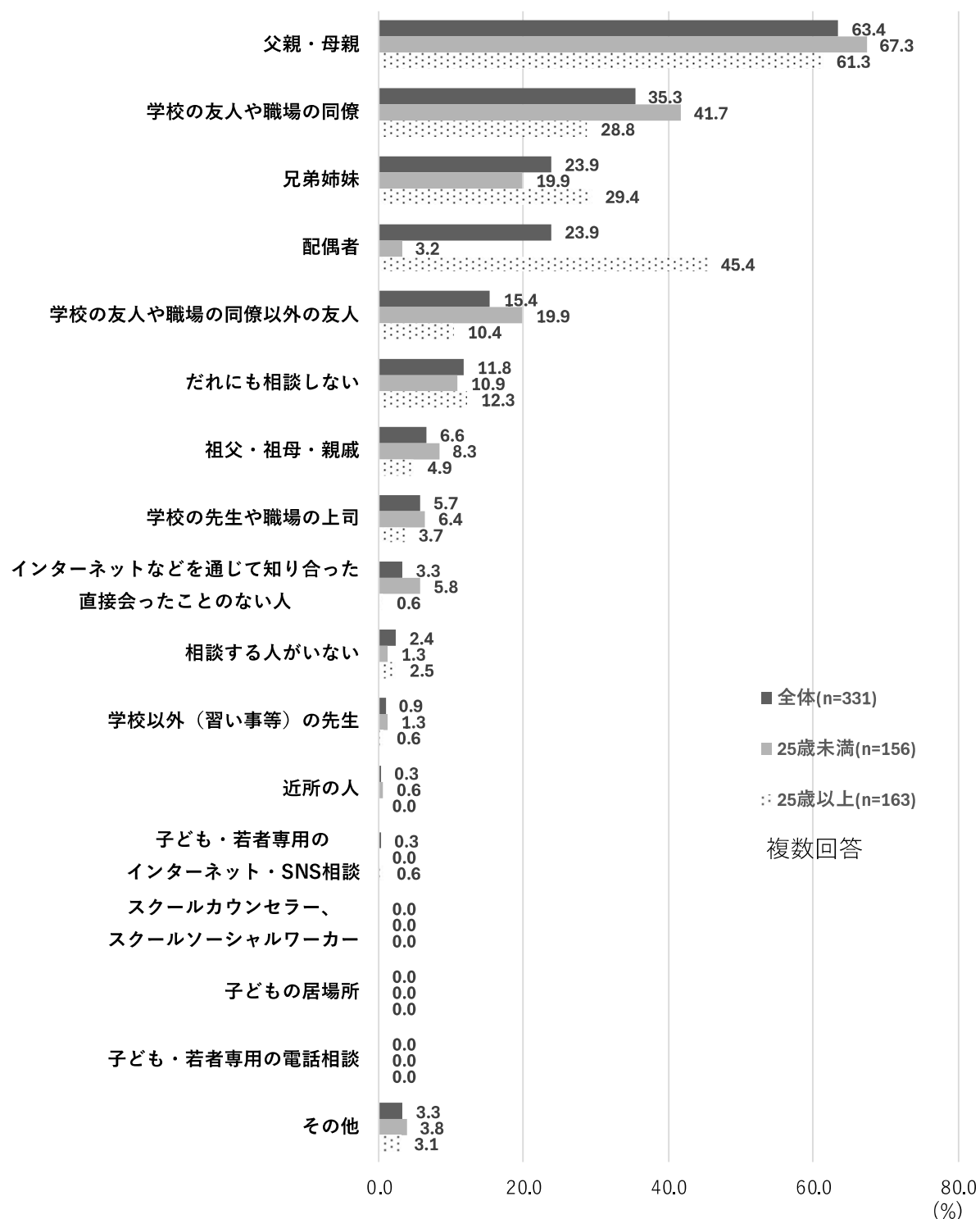


(2) 相談先

問 16 あなたは、嫌なことや悩んでいることがあるとき、誰（どこ）に相談しますか。【あてはまる番号全てに○】

嫌なことや悩んでいることがあるときの相談先については、「父親・母親」が 63.4%と最も高く、次いで「学校の友人や職場の同僚」が 35.3%、「兄弟姉妹」が 23.9%となっている。
年齢別にみると、25 歳以上では「配偶者」が 45.4%と 2 番目に高くなっている。

嫌なことや悩んでいることの相談先

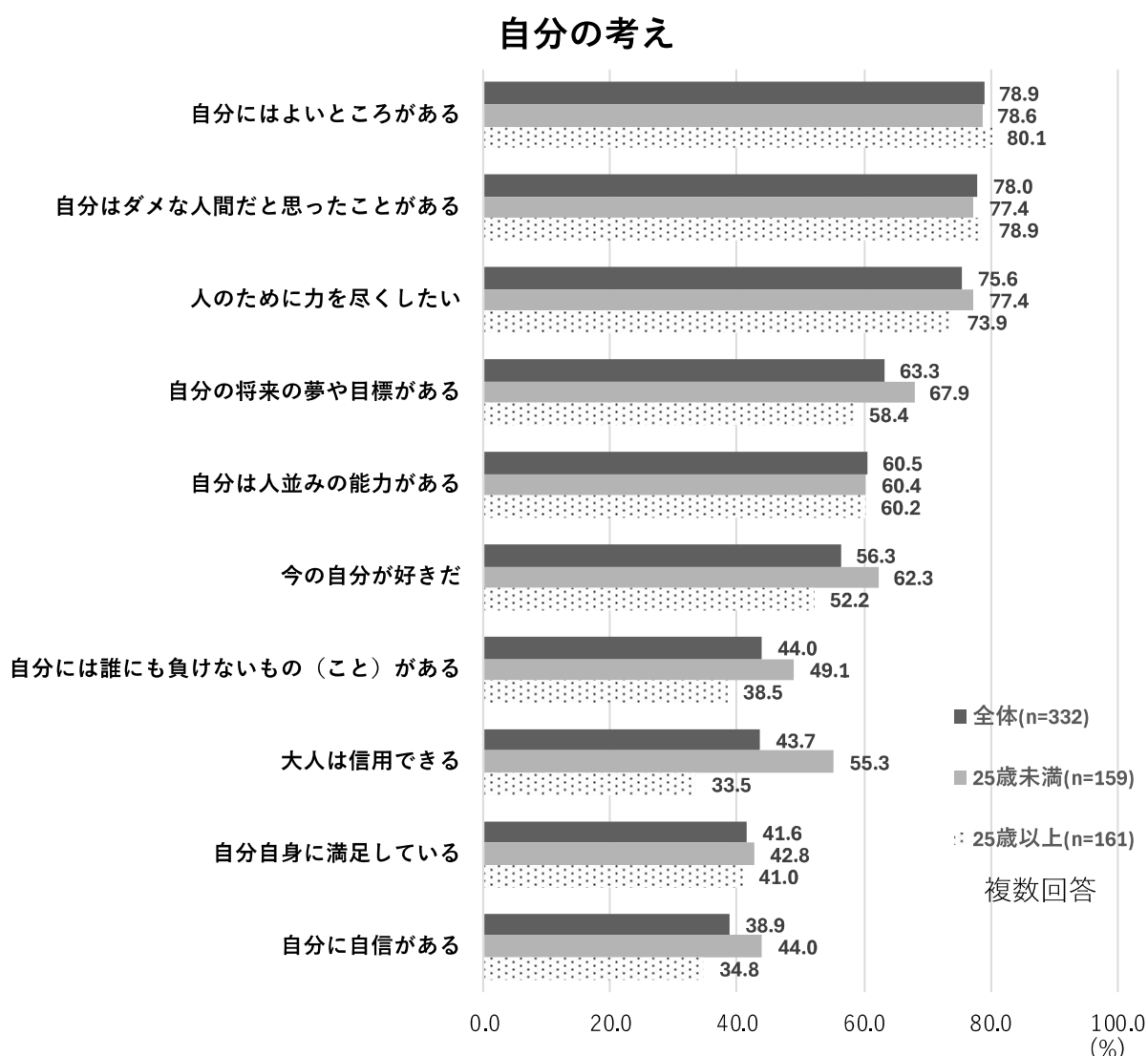


(3) 自分の考え

問 17 次のことについて、あなたが普段考えていることを教えてください。一番あなたの気持ちに近いものを教えてください。【それぞれ○は1つ】

自分の考えについてあてはまるものを選んでもらったところ、「自分にはよいところがある」と回答した割合が 78.9%と最も高く、次いで「自分はダメな人間だと思ったことがある」が 78.0%、「人のために力を尽くしたい」が 75.6%となっている。

年齢別にみると、「今の自分が好きだ」や「自分には誰にも負けないもの（こと）がある」、「自分に自信がある」との回答が、25 歳以上では 25 歳未満を 10 ポイント程度下回っている。さらに、「大人は信用できる」の回答割合が、25 歳未満では 55.3%であるのに対し、25 歳以上では 33.5%にとどまっている。

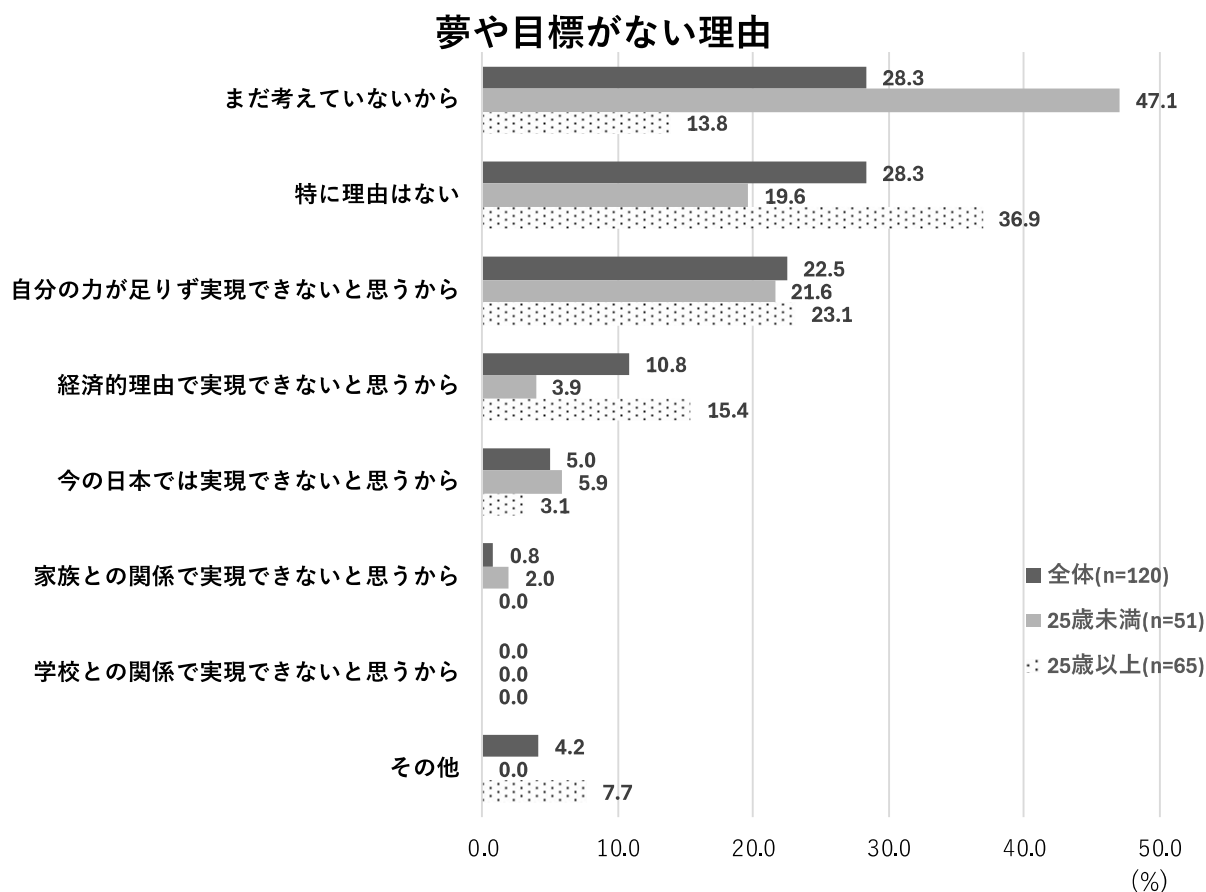


問 17 で「自分の将来の夢や目標がある」に「あてはまらない」と回答した人のみ回答

問 17-1 夢や目標がないのは、なぜですか。【〇は 1 つ】

夢や目標がない理由については、「まだ考えていないから」及び「特に理由はない」と回答した割合がいずれも 28.3%と最も高くなっている。

年齢別にみると、25 歳未満では「まだ考えていないから」と回答した割合が 47.1%に達しているのに対し、25 歳以上では「特に理由はない」が 36.9%と最も高くなっている。また、25 歳以上の 15.4%が「経済的理由で実現できないと思うから」と回答している。

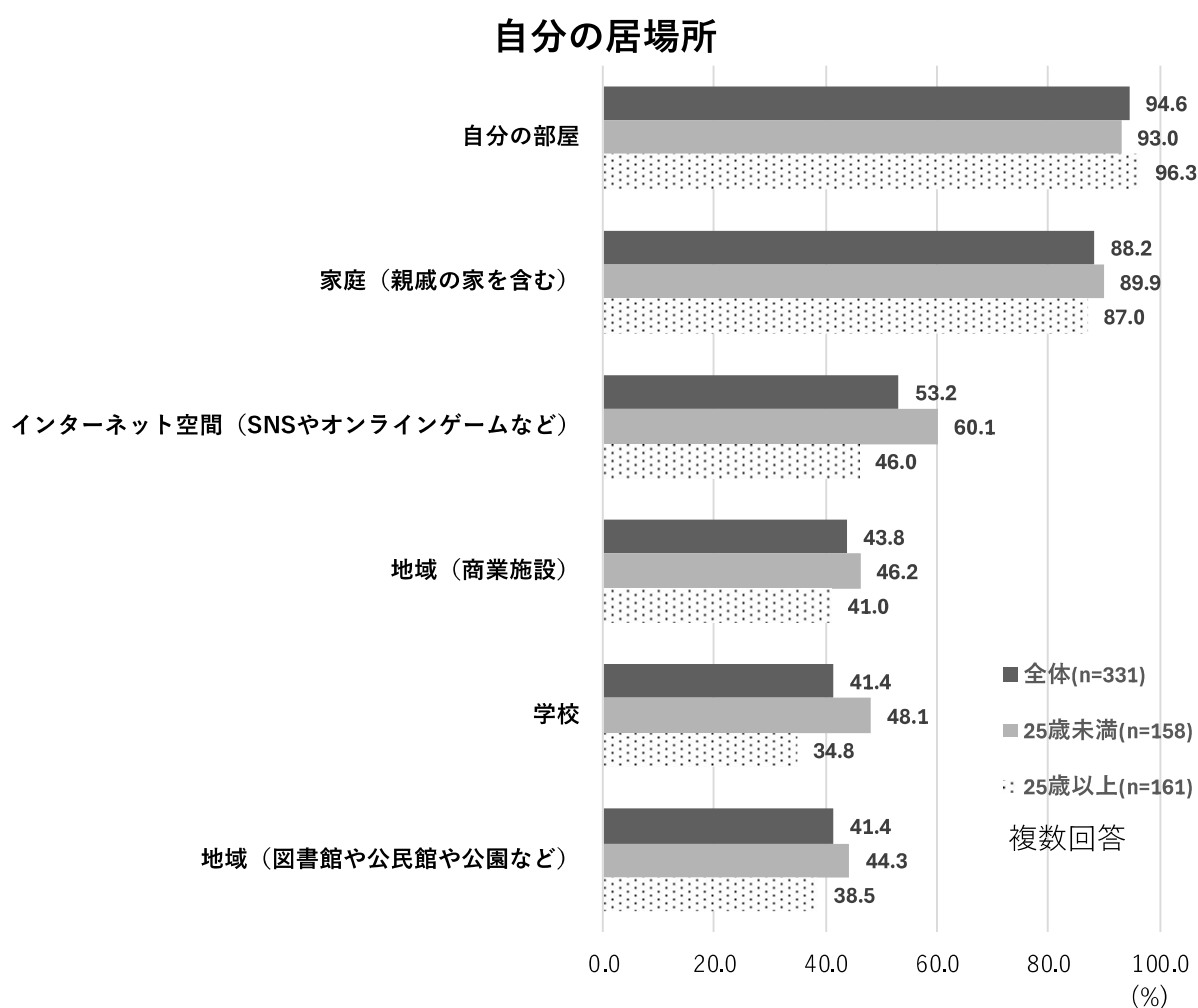


(4) 居場所

問 18 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）になっていますか。【それぞれ○は1つ】

自分の居場所について「そう思う」ものを挙げてもらったところ、「自分の部屋」と回答した割合が 94.6%と最も高く、次いで「家庭（親戚の家を含む）」が 88.2%、「インターネット空間（SNS やオンラインゲームなど）」が 53.2%となっている。

年齢別にみると、「インターネット空間（SNS やオンラインゲームなど）」と回答した割合が、25 歳未満では 60.1%であるのに対し、25 歳以上では 46.0%と年齢が上がるにつれて低下している。

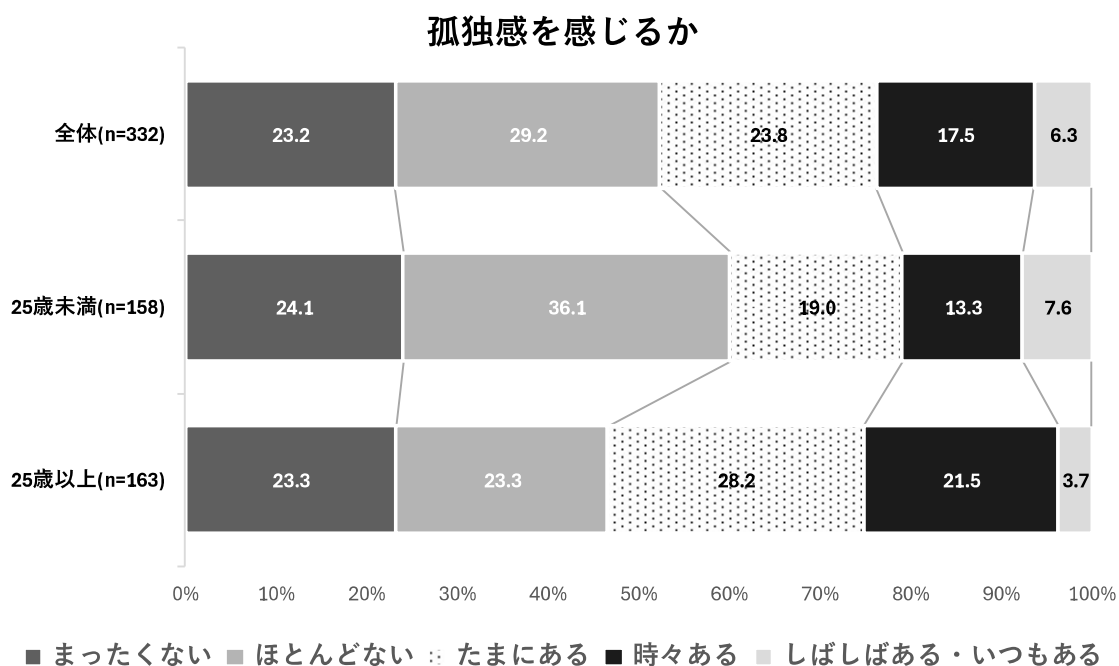


(5) 孤独感

問 19 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。【〇は1つ】

孤独感を感じるかについて尋ねたところ、「ほとんどない」と回答した割合が 29.2%、「まったくない」が 23.2%となっており、合計で5割を超えている一方で、「たまにある」、「時々ある」、「しばしばある・いつもある」の合計も 47.6%に達している。

年齢別にみると、25 歳以上では「たまにある」、「時々ある」、「しばしばある・いつもある」の合計が 53.4%と過半数に達している。

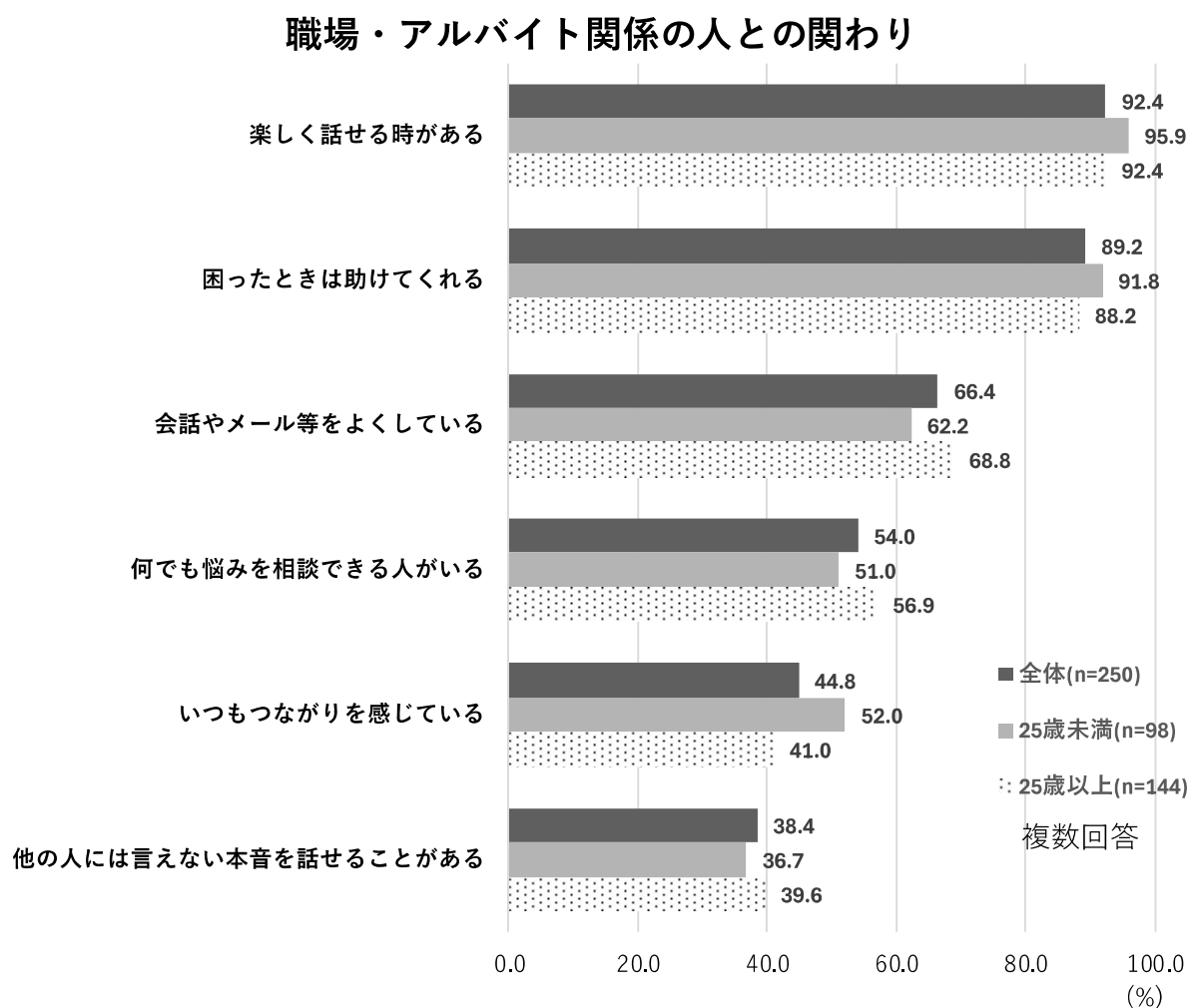


(6) 職場・アルバイト関係の人との関わり

問 20 職場・アルバイト関係の人（現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など）と、あなたの現在の関わりは、どのようなものですか。【それぞれ○は1つ】

職場・アルバイト関係の人との関わりについては、「楽しく話せる時がある」と回答した割合が 92.4%と最も高く、次いで「困ったときは助けてくれる」が 89.2%、「会話やメール等をよくしている」が 66.4%となっている。

年齢別にみると、「いつもつながりを感じている」と回答した割合が、25 歳未満では 52.0%であるのに対し、25 歳以上では 41.0%と 10 ポイント程度下回っている。



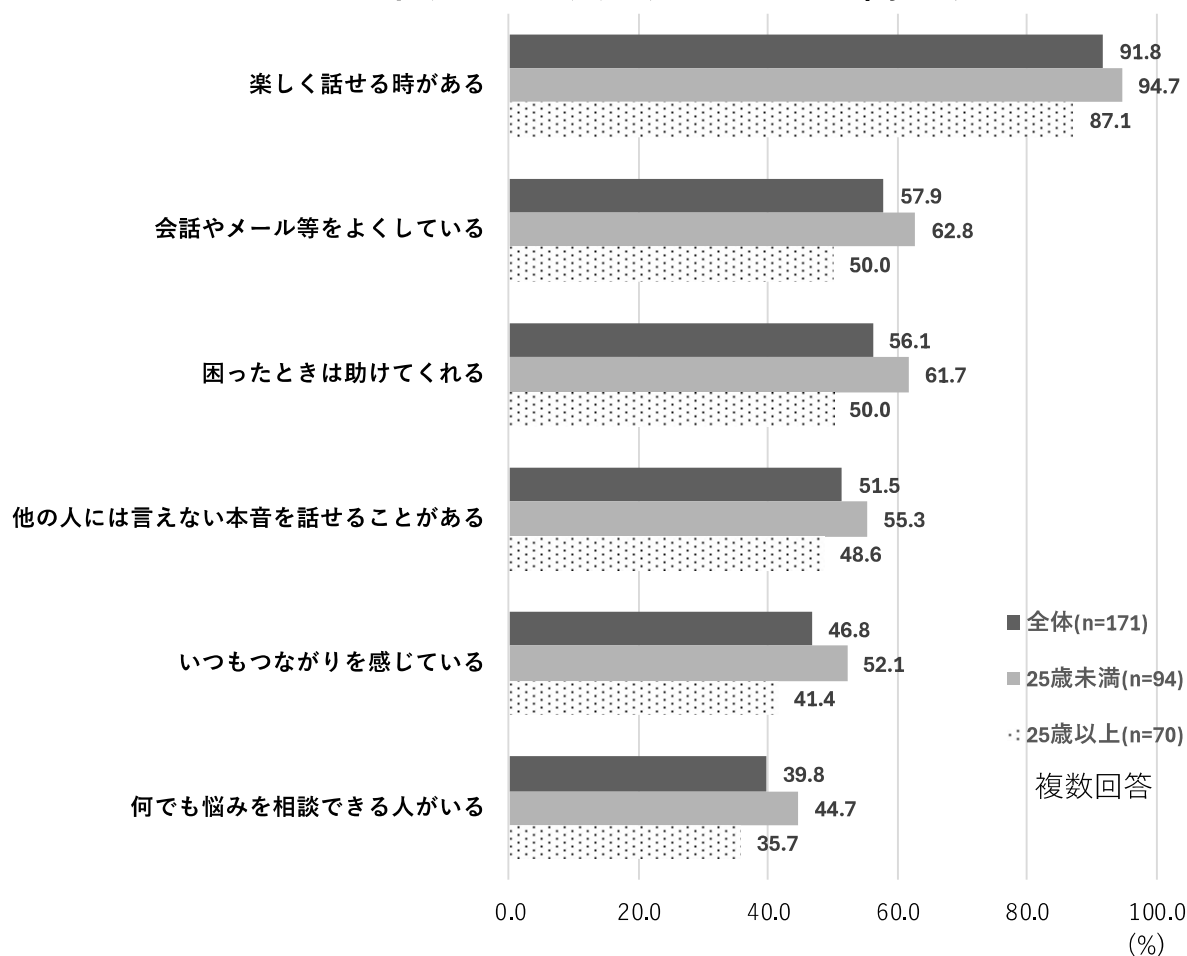
(7) インターネット上の関わり

問 21 インターネット上における人やグループ（実際には会ったことがなかったり、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ）と、あなたの関わりは、どのようなものですか。【それぞれ○は1つ】

インターネット上の人やグループとの関わりについては、「楽しく話せる時がある」と回答した割合が 91.8%と最も高く、次いで「会話やメール等をよくしている」が 57.9%、「困ったときは助けてくれる」が 56.1%となっている。

年齢別にみると、いずれの項目も 25 歳未満の回答割合が 25 歳以上を上回っている。

インターネット上の人やグループとの関わり

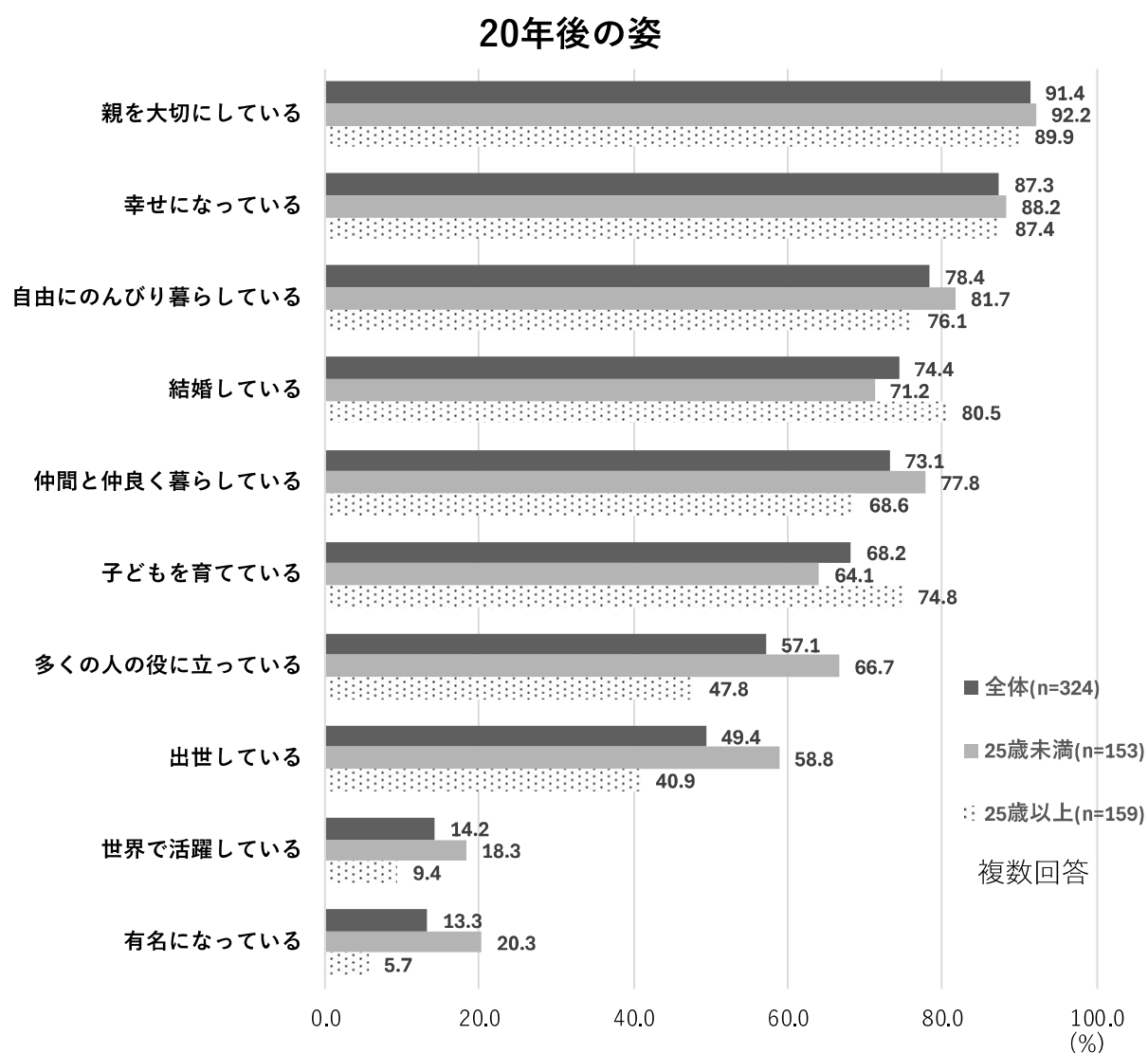


(8) 20 年後の姿

問 22 あなたは 20 年後、どのようになりたいと思いますか。【それぞれ○は 1 つ】

20 年後の姿について「そう思う」ものを挙げてもらったところ、「親を大切にしている」と回答した割合が 91.4%と最も高く、次いで「幸せになっている」が 87.3%、「自由にのんびり暮らしている」が 78.4%となっている。これに対し「世界で活躍している」は 14.2%、「有名になっている」は 13.3%と、いずれも 1 割程度にとどまった。

年齢別にみると、25 歳以上では「結婚している」と回答した割合が 80.5%、「子どもを育てている」が 74.8%と、いずれも 25 歳未満を 10 ポイント前後上回った。これに対し、「多くの人の役に立っている」や「出世している」については、25 歳以上では 25 歳未満を 20 ポイント近く下回った。

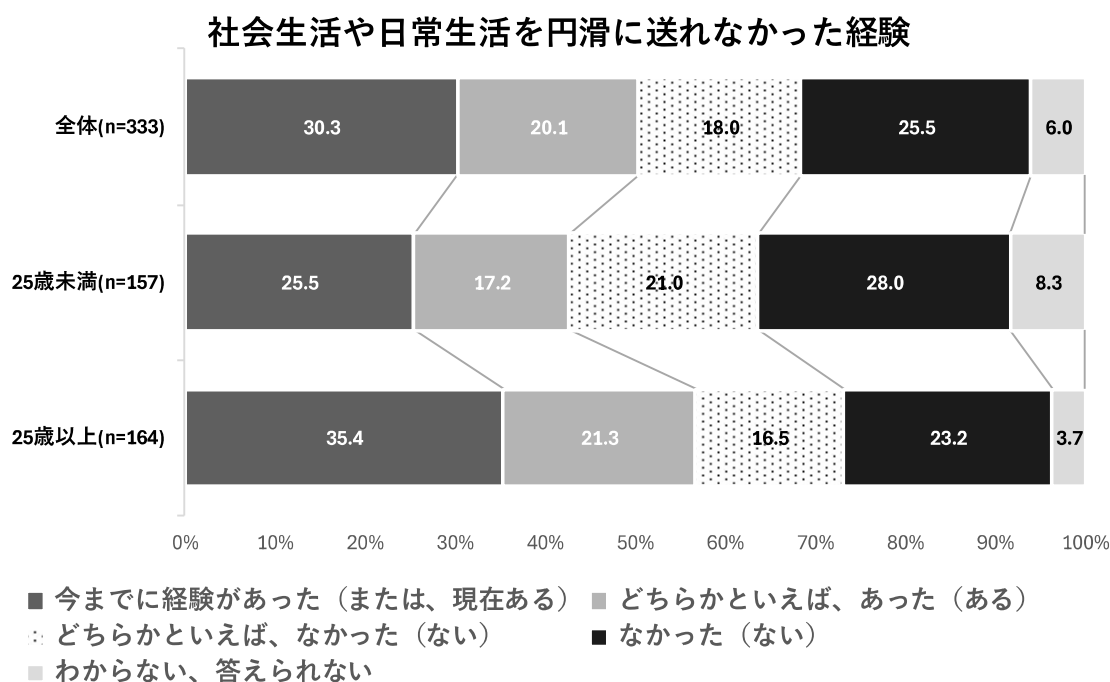


(9) 社会生活や日常生活を円滑に送れなかった経験

問 23 あなたは、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありましたか。または、現在、社会生活や日常生活を円滑に送れていない状況にありますか。最もあてはまるものを選んでください。【〇は1つ】

社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験については、「今までに経験があった（または、現在ある）」と回答した割合が 30.3%、「どちらかといえば、あった（ある）」が 20.1%となっており、合計で過半数に達している。

年齢別にみると、25 歳未満では「どちらかといえば、なかった（ない）」と「なかった（ない）」の合計が「今までに経験があった（または、現在ある）」と「どちらかといえば、あった（ある）」の合計を上回ったのに対し、25 歳以上では「今までに経験があった（または、現在ある）」が 35.4%で、「どちらかといえば、あった（ある）」を含めると 56.7%に達している。



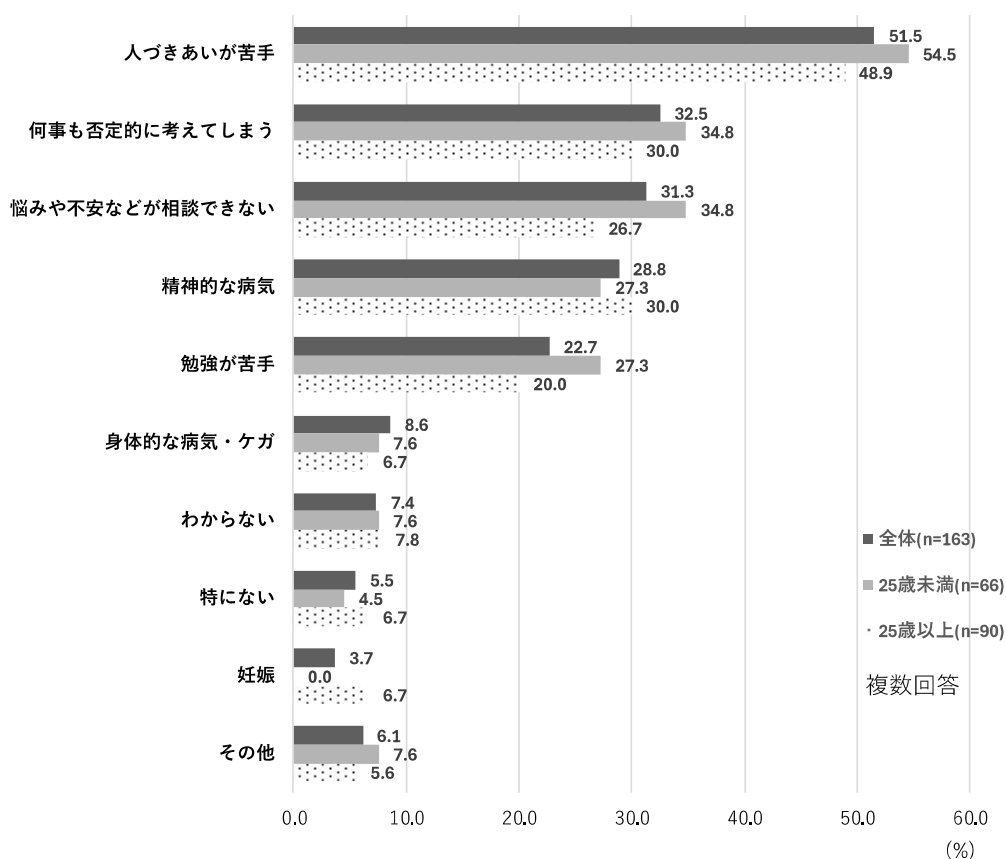
問 23 で「1. 今までに経験があった（または、現在ある）」または「2. どちらかといえば、あった（ある）」と回答した人のみ回答

問 23-1 そうした問題を経験した、又は現在経験している主な理由は何ですか。以下の（１）～（４）のそれぞれにお答えください。【あてはまる番号全てに○】

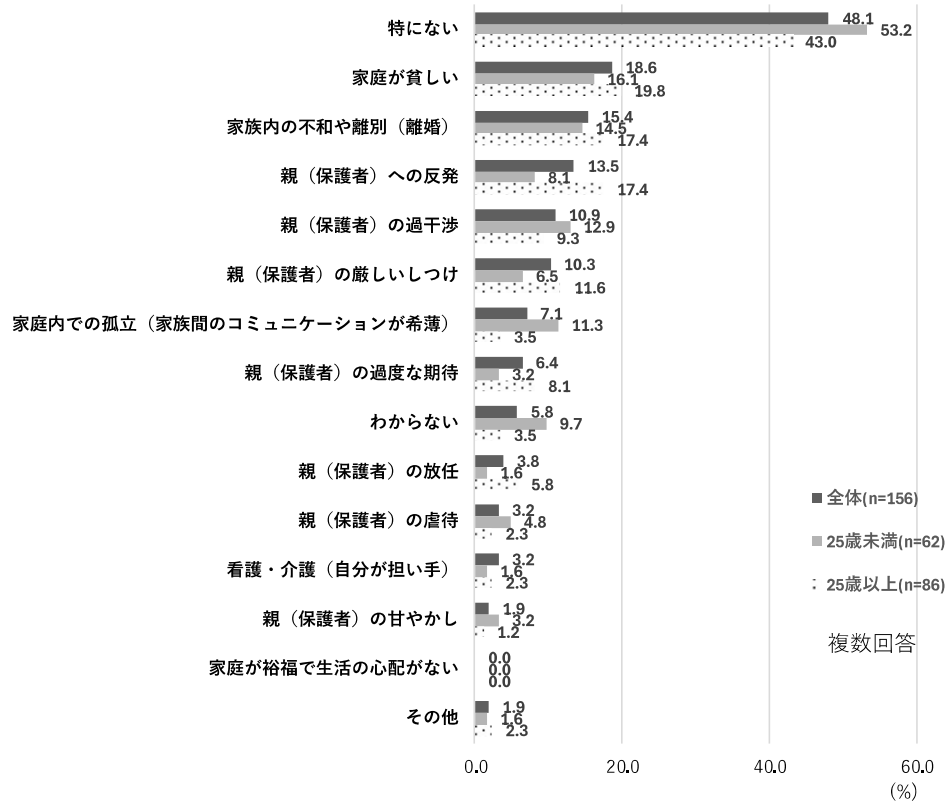
社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験の理由については、自分自身に起因するものでは「人づきあいが苦手」が 51.5%、家族や家庭に起因するものについては「特にない」が 48.1%、学校に起因するものについては「特にない」が 41.7%、職場や仕事に起因するものについては「仕事上でのミス」が 23.3%と、それぞれ最も高くなっている。

年齢別にみると、職場や仕事に起因するものについて、25 歳以上では「本当に自分がやりたい仕事ではない」、「上司や同僚との関係が悪い」、「自分の才能や特技を生かせる仕事でない」、「仕事が自分に向いていない」、「職場を退職」と回答した割合が、いずれも 25 歳未満を 10 ポイント超上回っている。

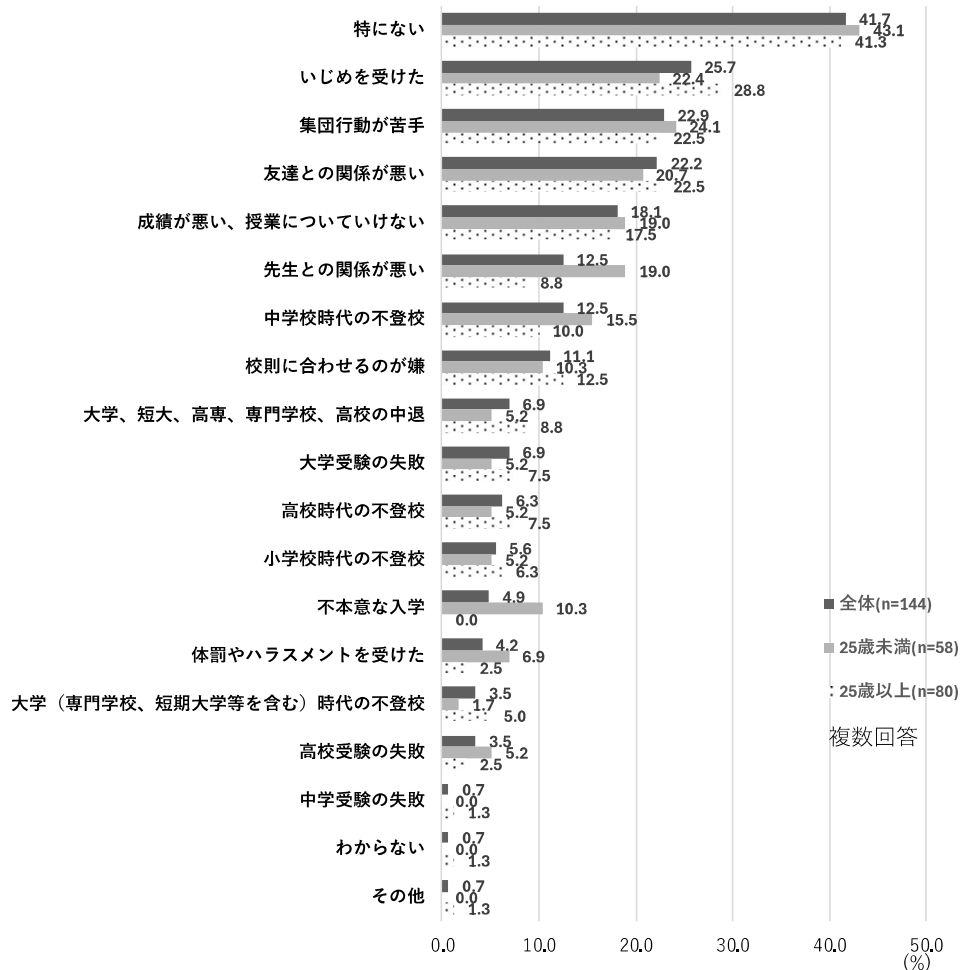
社会生活や日常生活を円滑に送れない理由（自分自身）



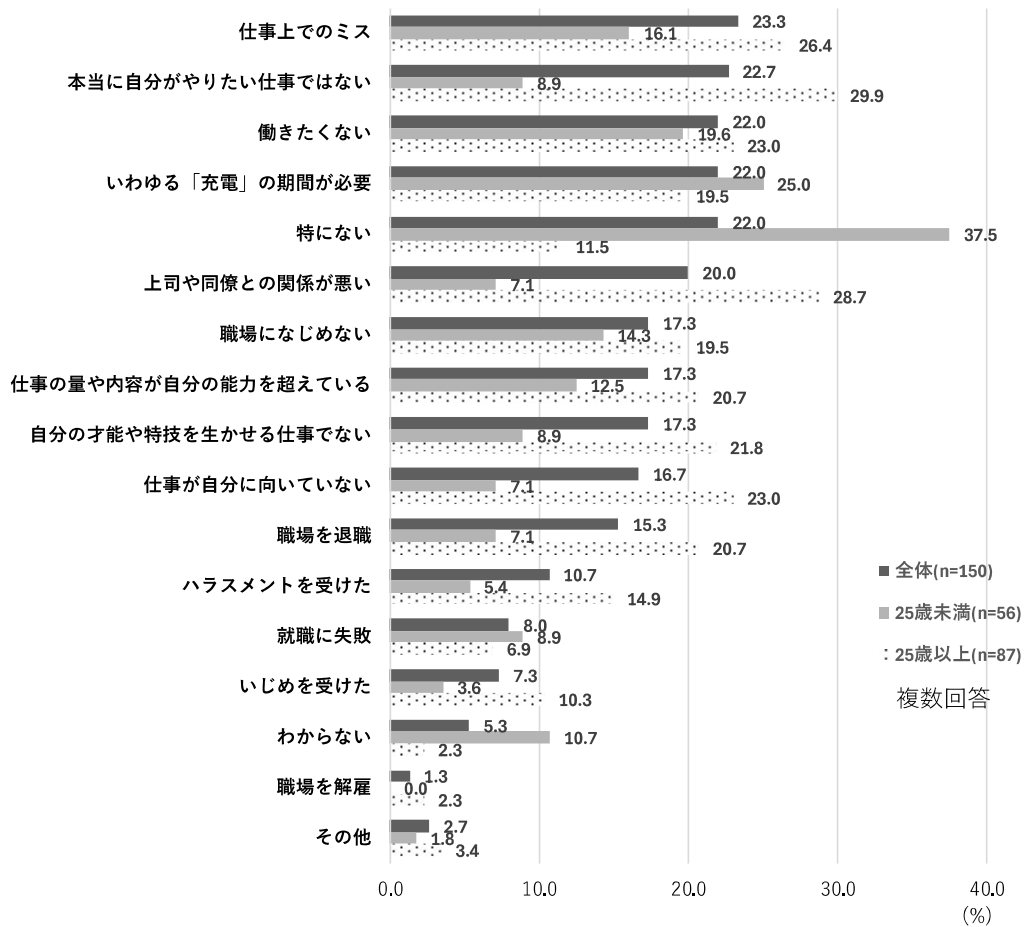
社会生活や日常生活を円滑に送れない理由（家族や家庭）



社会生活や日常生活を円滑に送れない理由（学校）



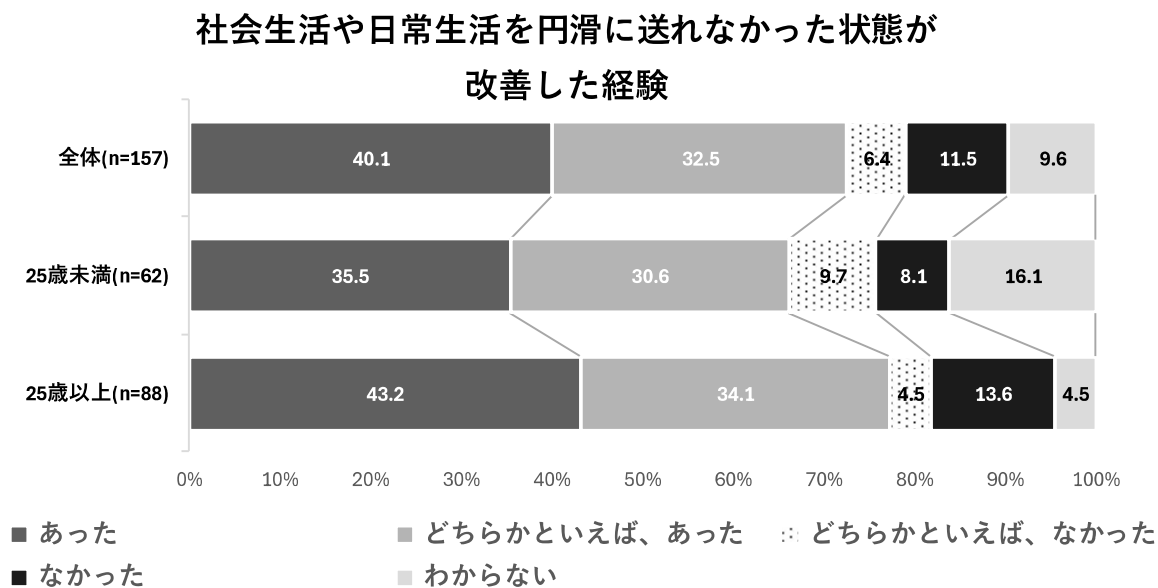
社会生活や日常生活を円滑に送れない理由（職場や仕事）



問 23-2 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験がありましたか。最もあてはまるものを選んでください。【〇は1つ】

社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験の有無については、「あった」と回答した割合が 40.1%、「どちらかといえば、あった」が 32.5%となっており、合計で7割を超えている。

年齢別にみると、25 歳以上では「あった」と回答した割合が 43.2%に達している。



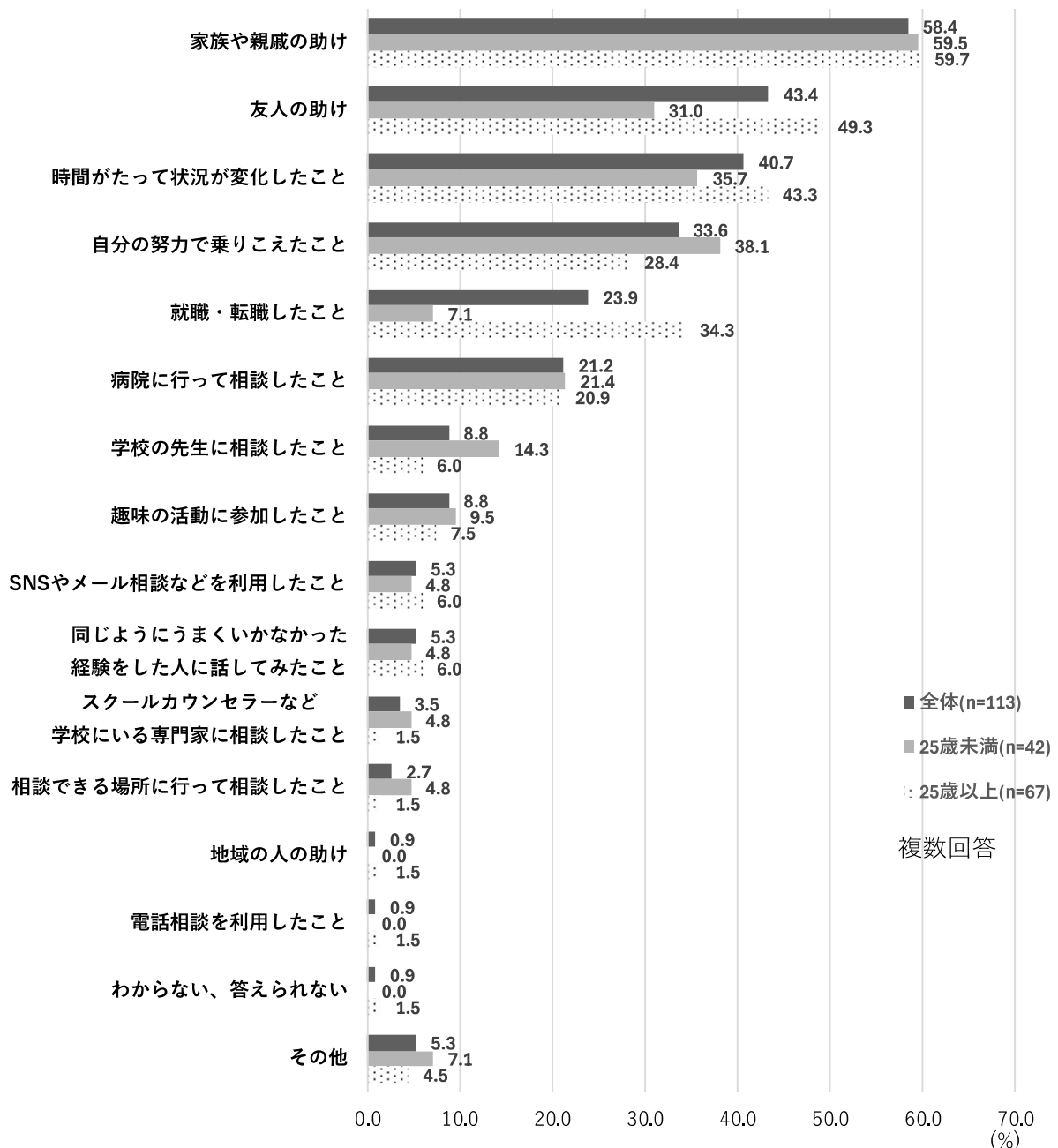
問 23-2 で「1. あった」または「2. どちらかといえば、あった」と回答した人のみ回答

問 23-3 状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思えますか。【あてはまる番号全てに○】

社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善したきっかけや改善に役立ったことについては、「家族や親戚の助け」と回答した割合が 58.4%と最も高く、次いで「友人の助け」が 43.4%、「時間がたって状況が変化したこと」が 40.7%となっている。

年齢別にみると、25 歳以上では「友人の助け」と回答した割合が 49.3%と、25 歳未満を 20 ポイント近く上回っているほか、「就職・転職したこと」が 34.3%と、25 歳未満の 5 倍近くに達している。

社会生活や日常生活を円滑に送れなかった状態が改善した きっかけや役立ったこと

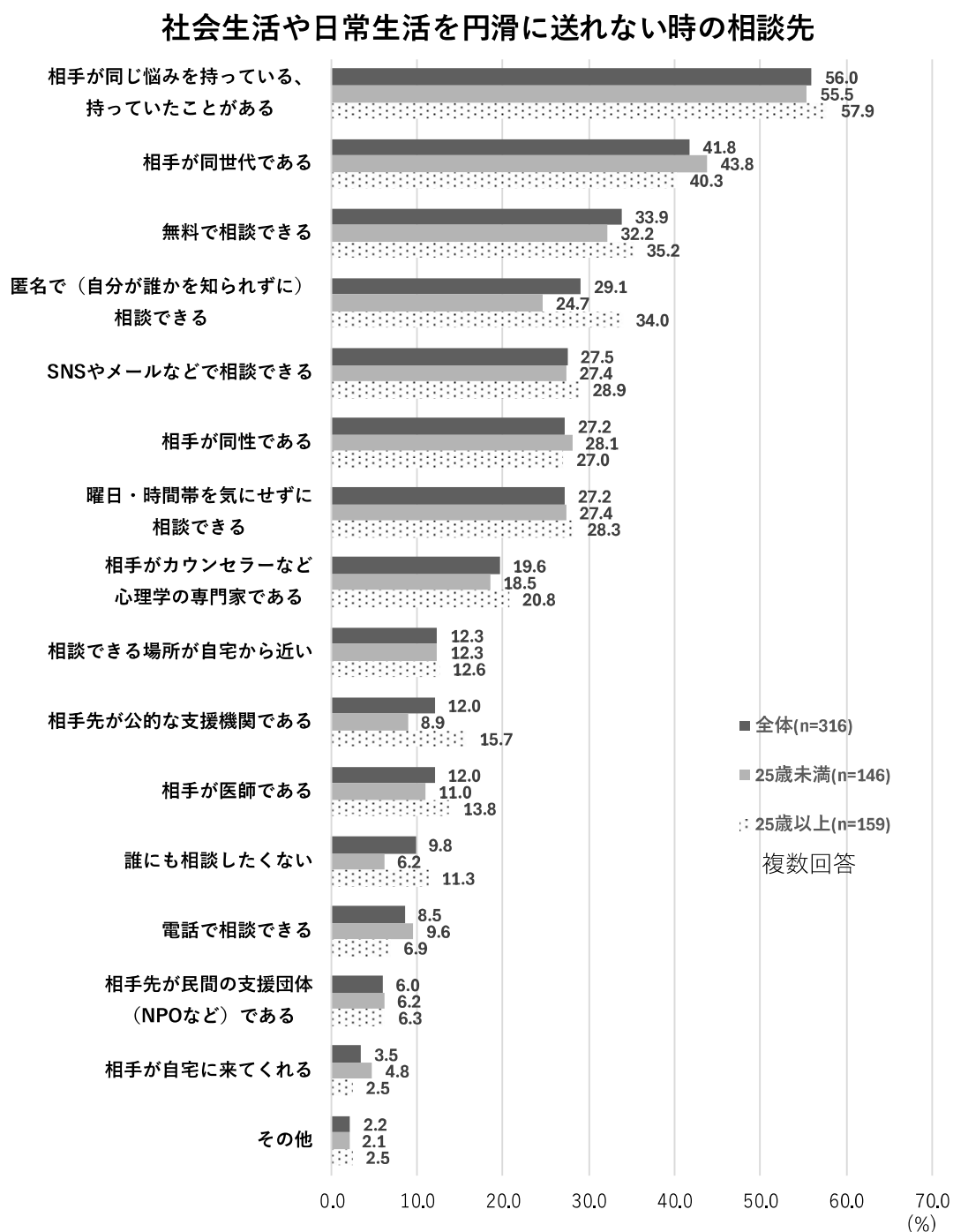


(10) 社会生活や日常生活を円滑に送れない時の相談先

問 24 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。【あてはまる番号全てに○】

社会生活や日常生活を円滑に送れない時に相談する人や場所については、「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」と回答した割合が 56.0%と最も高く、次いで「相手が同世代である」が 41.8%「無料で相談できる」が 33.9%となっている。

年齢別にみると、25 歳以上では「匿名で（自分が誰かを知られずに）相談できる」と回答した割合が 34.0%と、25 歳未満を 10 ポイント近く上回っている。



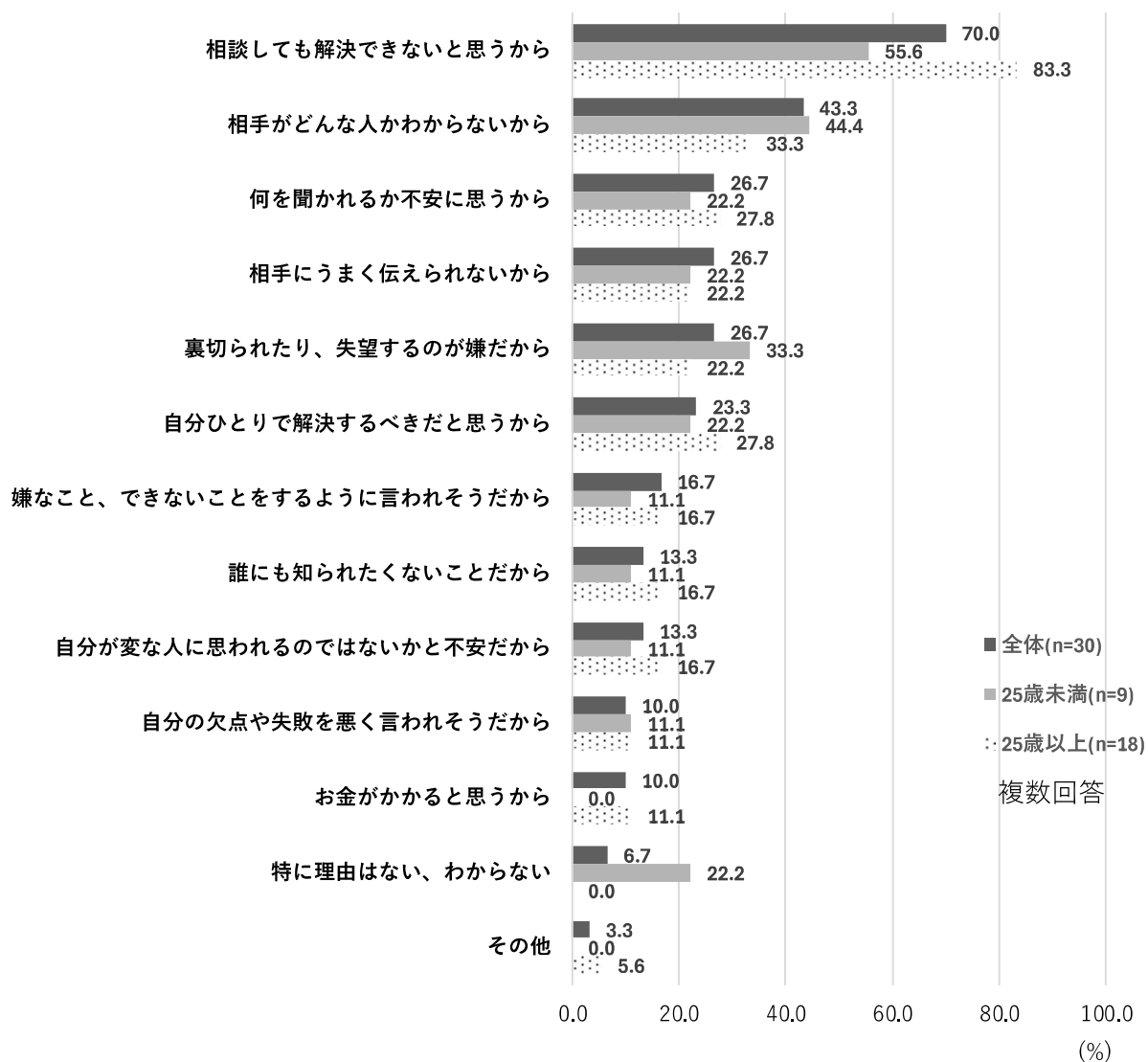
問 24 で「16. 誰にも相談したくない」と回答した人のみ回答

問 24-1 相談したくないと思う理由は何ですか。【あてはまる番号全てに○】

社会生活や日常生活を円滑に送れない時に誰にも相談したくない理由については、「相談しても解決できないと思うから」と回答した割合が 70.0%と最も高く、次いで「相手がどんな人かわからないから」が 43.3%、「何を聞かれるか不安に思うから」が 26.7%となっている。

年齢別にみると、回答数は少ないものの、25 歳以上では「相談しても解決できないと思うから」と回答した割合が 83.3%と、25 歳未満を 30 ポイント近く上回っている。

社会生活や日常生活を円滑に送れないときに
誰にも相談したくない理由



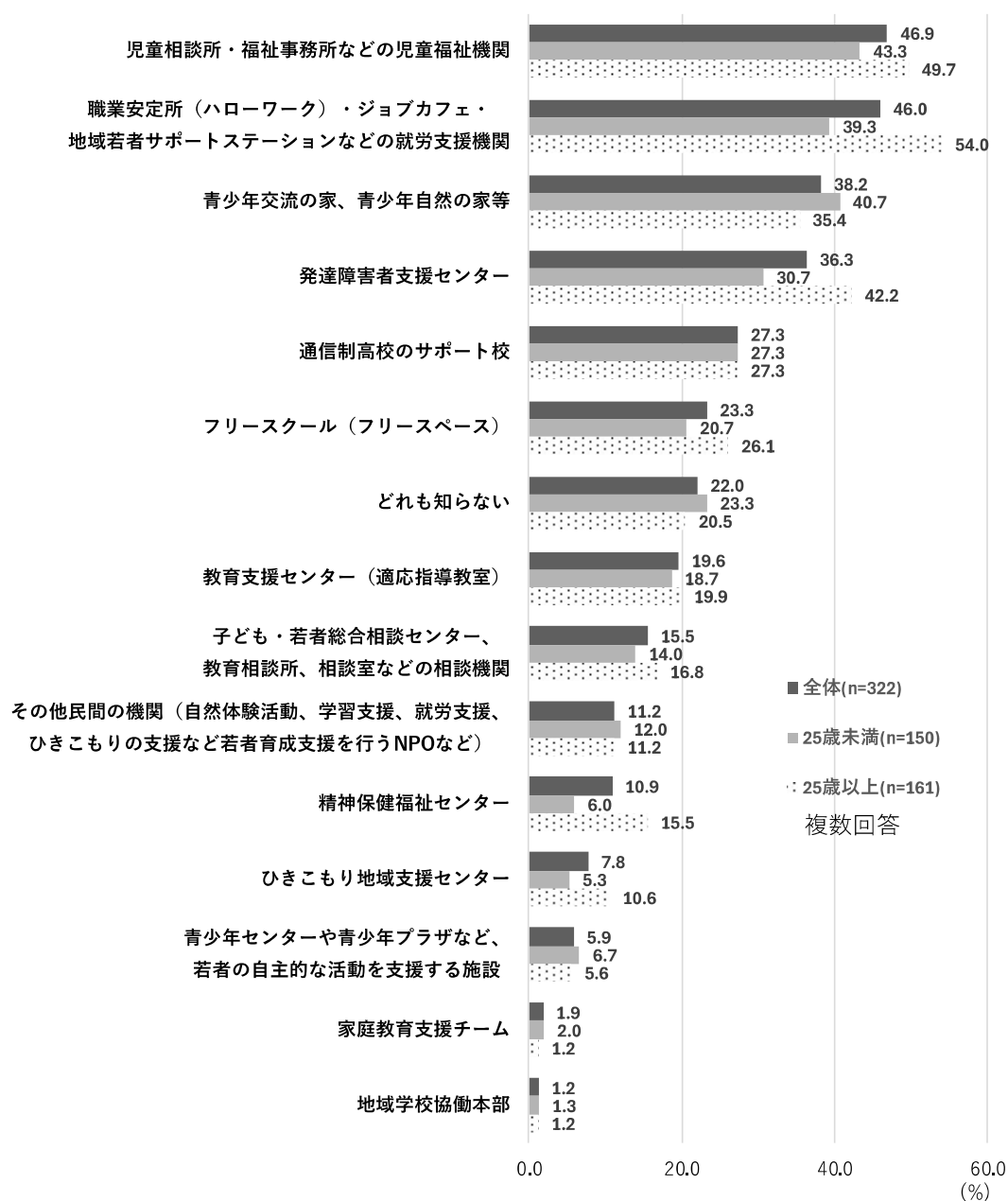
(11) 育成支援機関等の認知度

問 25 あなたは、子ども・若者を対象とした育成支援機関等を知っていますか。知っている育成支援機関等を全て選んでください。【あてはまる番号全てに○】

知っている育成支援機関等を挙げてもらったところ、「児童相談所・福祉事務所などの児童福祉機関」と回答した割合が 46.9%と最も高く、次いで「職業安定所（ハローワーク）・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」が 46.0%、「青少年交流の家、青少年自然の家等」が 38.2%となっている。

年齢別にみると、25 歳以上では、「職業安定所（ハローワーク）・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」と回答した割合が 54.0%と、25 歳未満を 15 ポイント近く上回っているほか、「発達障害者支援センター」についても 42.2%と、25 歳未満を 10 ポイント超上回っている。

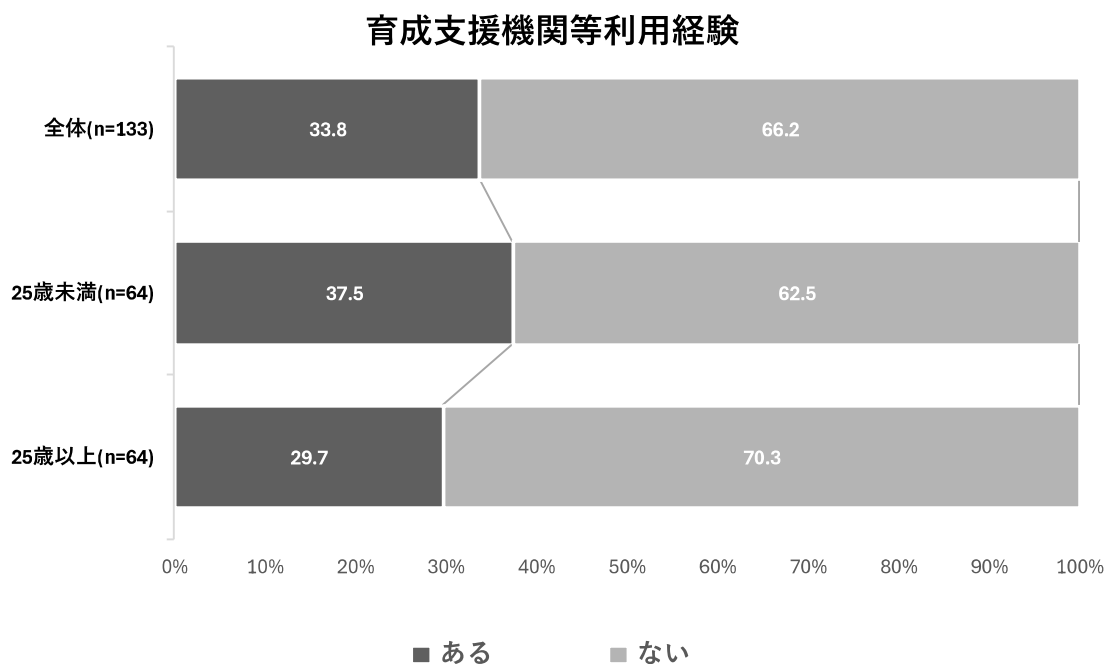
育成支援機関等の認知度



問 25 で「1. 精神保健福祉センター」から「14. その他民間の機関（自然体験活動、学習支援、就労支援、ひきこもりの支援など若者育成支援を行う NPO など）」までのいずれかに回答した人のみ回答

問 25-1 これらの機関を利用したことはありますか。【○は1つ】

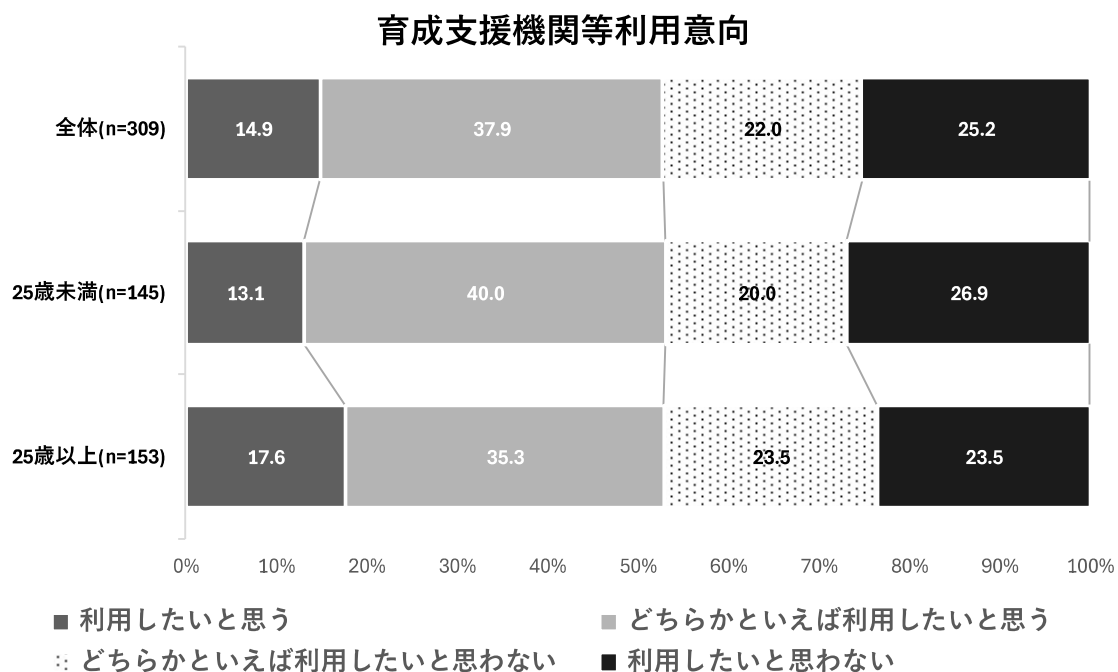
育成支援機関等の利用経験については、「ある」と回答した割合が 33.8%となっている。
年齢別にみると、「ある」と回答した割合は 25 歳未満で 37.5%、25 歳以上で 29.7%となっている。



(12) 育成支援機関等の利用意向

問 26 これらの機関について利用したいと思いますか。【〇は1つ】

育成支援機関等の利用意向については、「どちらかといえば利用したいと思う」と回答した割合が 37.9%、「利用したいと思う」が 14.9%となっており、合計では過半数に達している。年齢別にみると、大きな差はみられない。

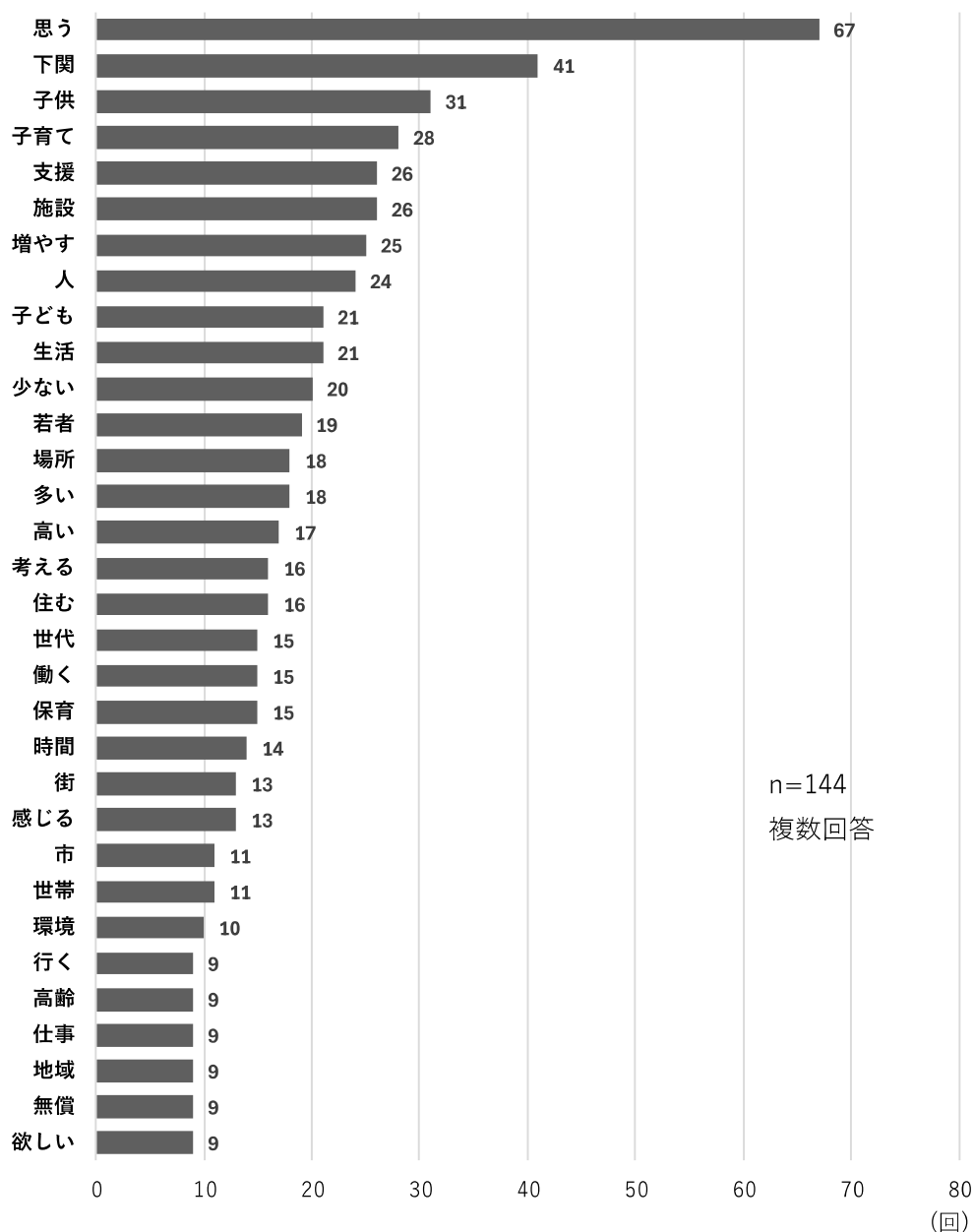


4 意見など

下関市に対する意見や生活で感じていること、将来の考えなどについて、自由記述欄において、合計 144 件の記載があった。これらの意見等について、テキストマイニングの手法により、出現頻度の高い語句を抽出したところ、以下のとおりとなった。

結果をみると、「下関」の他には、「子供」「子育て」「子ども」「支援」といった言葉に加えて、「施設」「場所」といった語句の出現回数が多かった。

18～30歳からの意見における 出現頻度の高い語句（上位30件）



前述で分析した語句の出現状況に関して、出現回数や語句同士のつながりを視覚的に表す「共起ネットワーク」という手法で分析したところ、以下の図のとおりとなった（丸の大きさは出現回数の多さを表す）。

結果をみると、「施設」と「商業」との関係が強く、商業施設に関するニーズが示されている。他には、「保育」と「高い」、「無償」、「手当」、「税金」との関係、さらには「子ども」と「保育園」や「無料」との関係が注目される。

18～30 歳からの意見における出現語句同士の関係

